

延岡市森林整備計画書

自 令和 6 年 4 月 1 日

計画期間

至 令和 16 年 3 月 3 1 日



宮 崎 県

延 岡 市

目 次

序章 延岡市森林整備計画について

■ 計画の趣旨	1
■ 計画の位置づけ	1
■ 計画の期間	2
■ 計画で目指す姿	2

I 伐採、造林、保育その他森林の整備に関する基本的な事項

1 森林整備の現状と課題	3
2 森林整備の基本方針	6
3 森林施業の合理化に関する基本方針	10

II 森林の整備に関する事項

第1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）

1 樹種別の立木の標準伐期齢	11
2 立木の伐採（主伐）の標準的な方法	11
3 主伐の時期	12
(1) 人工林	
(2) 天然林	
4 一伐区当りの伐採面積	12
5 伐採及び伐採後の造林の届出	12
6 その他必要な事項	12

第2 造林に関する事項

1 人工造林に関する事項	12
(1) 人工造林の対象樹種	
(2) 人工造林の標準的な方法	
(3) 伐採跡地の人工造林をすべき期間	
(4) 伐採跡地の人工造林の努力目標	
2 天然更新に関する事項	15
(1) 天然更新の対象樹種	
(2) 天然更新の標準的な方法	
(3) 伐採跡地の天然更新をすべき期間	
3 植栽によらなければ適切な更新が困難な森林に関する事項	16
4 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の所在	16
5 森林法第10条の9第4項の規定に基づく伐採の中止 又は造林をすべき旨の命令の基準	16
(1) 造林の対象樹種	
(2) 生育し得る最大の立木の本数	
6 所有者負担ゼロによる再造林の推進	17
7 その他必要な事項	17

第3 間伐を実施すべき標準的な林齢、間伐及び保育の標準的な方法

その他間伐及び保育の基準

1 間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法	17
2 長伐期多間伐施業の標準的な方法	18

3	保育の種類別の標準的な方法	19
	(1)時期及び回数	
	(2)方法	
	(3)留意点	
4	再造林に適さない林地における天然林化や針広混交林の推進	20
5	その他必要な事項	20

第4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

1	森林の機能別の区域及び当該区域における施業の方法	21
---	--------------------------	----

第5 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施の促進に関する事項

1	森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大に関する方針	27
2	森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大を促進するための方策	27
3	森林の経営の受委託等を実施する上で留意すべき事項	27
4	森林経営管理制度の活用に関する事項	27
5	集落ぐるみで経営管理（集落林業）するための事項	28

第6 森林施業の共同化の促進に関する事項

1	森林施業の共同化の促進に関する方針	29
2	施業実施協定の締結その他森林施業の共同化の促進方策	29
3	共同して森林施業を実施する上で留意すべき事項	29
4	その他必要な事項	30

第7 作業路網その他森林の整備のために必要な施設の整備に関する事項

1	林道等の開設及び改良に関する基本的な考え方	30
2	効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準 及び作業システムに関する事項	31
3	路網の整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域に関する事項	33
4	作業路網の整備に関する事項	34
	(1)基幹路網に関する事項	
	(2)細部路網に関する事項	
	(3)その他必要な事項	

第8 その他必要な事項

1	林業に従事する者の養成・確保及び自伐型林業に関する事項	39
	(1)林業事業体の育成強化	
	(2)林業従事者の養成・確保	
	(3)林業後継者の育成	
2	森林施業の合理化を図るために必要な機械の導入の促進に関する事項	39
3	林産物の利用の促進のために必要な施設の整備に関する事項	40
	(1)木材の利用促進	
	(2)特用林産物の生産・消費拡大	

Ⅲ 森林の植生保護に関する事項

第1 鳥獣害の防止に関する事項

1	鳥獣害防止森林区域及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法	41
---	-------------------------------	----

(1) 区域の設定	
(2) 鳥獣害防止の方法	
2 鳥獣による食害対策	42
3 その他必要な事項	42
第2 森林病虫害の駆除及び予防、火災の予防その他の森林の保護に関する事項	
1 森林病虫害等の駆除及び予防の方法	42
(1) 森林病虫害等の駆除、予防の方針及び方法	
(2) その他	
2 鳥獣による森林被害対策の方法	42
3 林野火災の予防の方法	42
4 森林病虫害の駆除等のための火入れを実施する場合の留意事項	42
5 その他必要な事項	42
IV 森林の保健機能の増進に関する事項	
1 保健機能森林の区域	43
2 保健機能森林の区域内の森林における伐採、造林、保育その他の施業の方法	43
3 保健機能森林の区域内における森林保健施設の整備	44
(1) 森林保健施設の整備	
(2) 立木の期待平均樹高	
4 その他必要な事項	45
V その他森林の整備のために必要な事項	
1 森林経営計画の作成に関する事項	46
(1) 森林経営計画の記載内容に関する事項	
(2) 森林法施行規則第33条第1号ロの規定に基づく区域	
2 生活環境の整備に関する事項	48
3 森林整備を通じた地域振興に関する事項	48
4 住民参加による森林の整備に関する事項	48
(1) 地域住民参加による取組みに関する事項	
(2) 上下流連携による取組みに関する事項	
(3) 法第10条の11の8第2項に規定する施業実施協定の参加促進対策	
(4) その他	
5 森林経営管理制度に基づく事業に関する事項	49
6 森林由来のJ-クレジットに関する事項	49
7 その他必要な事項	49
(1) 森林国営保険への加入促進	
(2) 入会林野整備の促進	
(3) 国有林の利活用に関する事項	
(4) 市有林の整備	
(5) 環境の保全等の観点から保全すべき森林に関する事項	
(6) 国土保全の観点から森林として管理する土地に関する事項	
(7) 延岡産材の活用	
(8) 延岡産材の地産地消の取組	
(9) 延岡産材の販路拡大、サプライチェーン構築の取組み	
(10) 各協議会等との連携強化に関する事項	
(11) 災害防止に関する事項	

～ 序 章 ～

延岡市森林整備計画について

■計画の趣旨

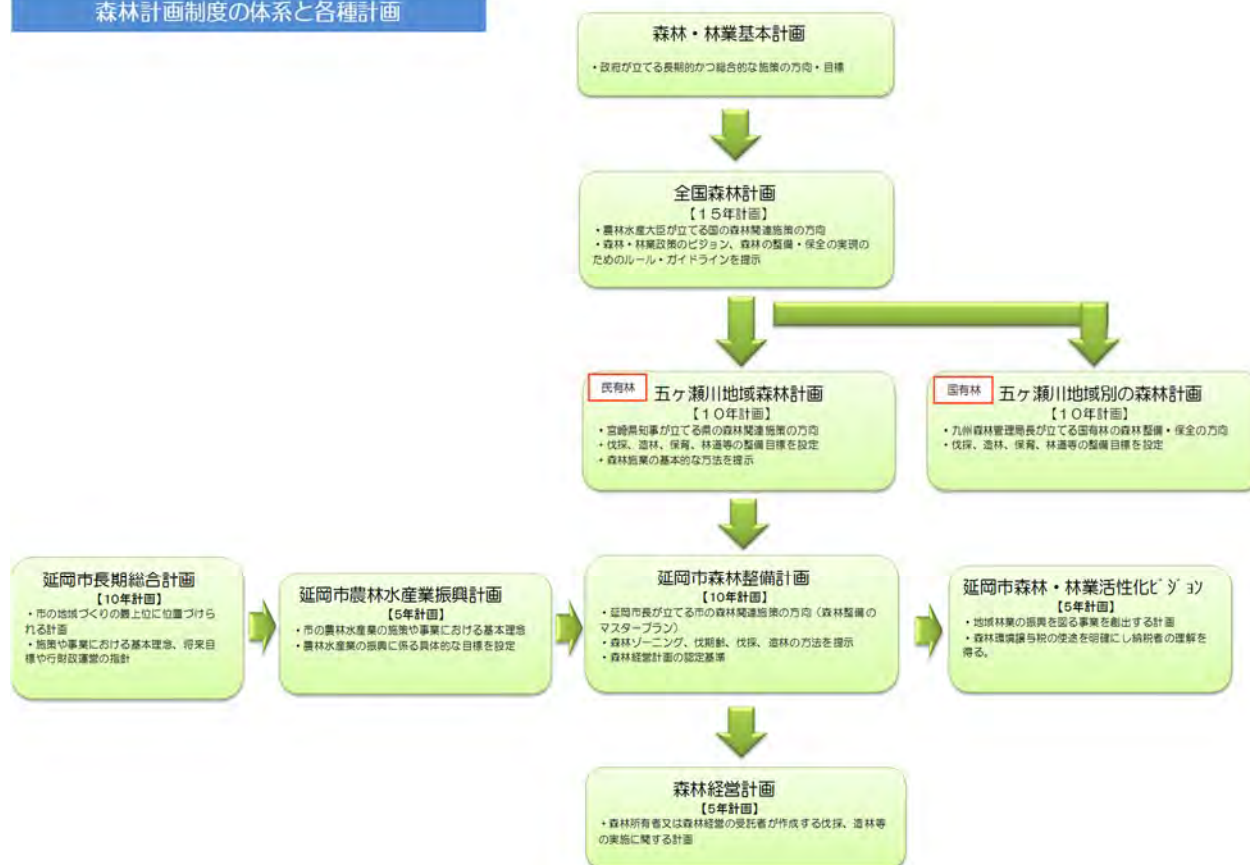
森林は、国土の保全や水源の涵養、自然環境の保全、木材の供給など様々な多面的機能を有しており、地域住民や経済活動と深く関わりのある大切な資源である。このため、無秩序で無計画な伐採や開発、植栽未済地の発生は、森林の有する多面的機能の低下を招き、市民生活や経済活動に悪影響を及ぼす。

このことを踏まえ森林法に基づく森林計画制度では、国、県、市、森林所有者等のそれぞれの立場・階層で、長期的視点に立った森林の整備及び保全の目標や基本的事項を定めた森林計画を策定することとされ、この計画に沿った森林の整備及び保全に努めるものである。

■計画の位置づけ

本計画は、宮崎県が策定した五ヶ瀬川地域森林計画に適合する形で、森林法第10条の5に基づき、民有林を対象に森林・林業に関する長期的・総合的な施策の方向や目標を定めるとともに森林整備を推進するための基本的考えや、これを踏まえたゾーニング、延岡市長期総合計画、延岡市農林水産業振興計画と関連づけ、森林施業の標準的な方法等をマスタープランとして示すものである。

森林計画制度の体系と各種計画



■計画の期間

県が作成した五ヶ瀬川地域森林計画の計画期間に合わせて、5年ごとに10年を一期として市が作成する森林整備計画である。

計画期間：2024年（令和6年）4月1日 ～ 2034年（令和16年）3月31日

■計画で目指す姿

○健全で豊かな森林環境の整備と保全

森林の持つ災害防止機能、二酸化炭素の吸収による地球温暖化防止機能などの公益的機能を持続的に発揮する健全で豊かな森林の整備が推進されている。

○資源循環型林業の確立

収穫期を迎えているスギ・ヒノキの安定供給が図られているとともに、「伐って、使って、すぐ植える」施業を進めることで、持続可能な林業が確立されている。

○担い手の確保・育成

林業を志す者への研修や就業の支援、ひなたのチカラ林業経営体等へ林業経営を集積することで、林業担い手が確保・育成されている。

○木材の利用拡大

公共施設への木材利用の促進、首都圏への木材利用に関するPR活動を通し、延岡産材の流通促進、利用拡大が図られている。



I 伐採、造林、保育その他森林の整備に関する基本的な事項

1 森林整備の現状と課題

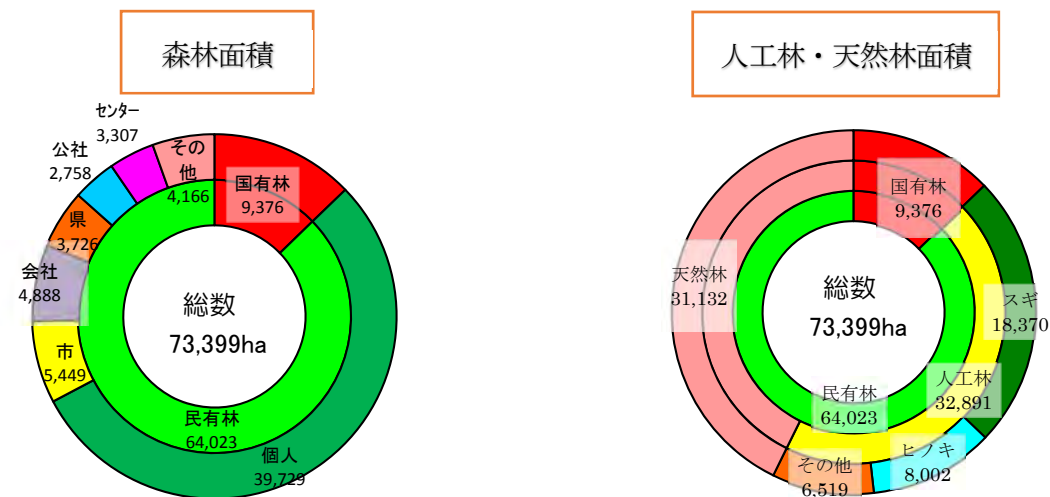
【延岡市の概要】

本市は、東九州地域の宮崎県北部に位置し、東は日向灘に面し、西は西臼杵郡日之影町、南は東臼杵郡門川町、北は大分県佐伯市に隣接する、東西約 48km、南北約 39km、総面積 868.02k㎡の九州で 2 番目に広い面積を有している。

市域を貫流する主要な河川としては、九州山地に源を発して東流する五ヶ瀬川、大崩山を源とする祝子川、大分県から南流する北川があり、河口で合流し日向灘へと注いでいる。

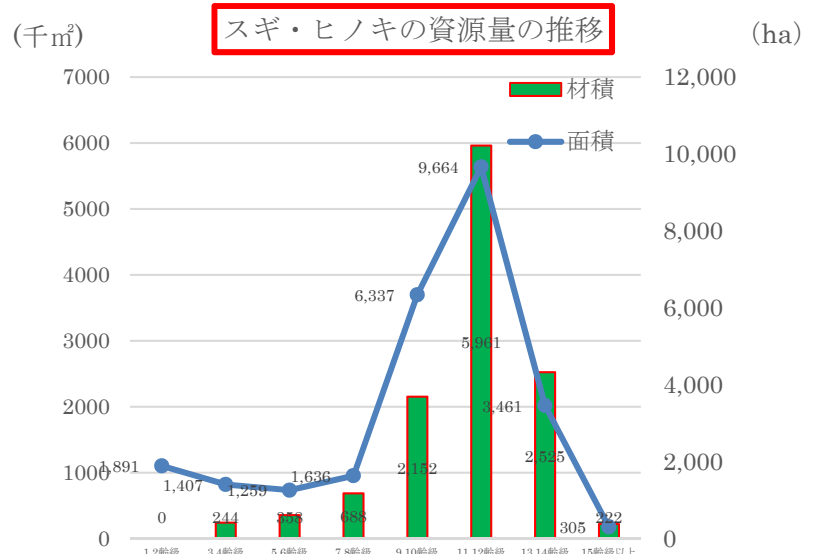
気候は、温暖多雨の南海型に属し、黒潮の影響により冬は暖かく、年間の平均気温は 17℃前後で、年間の降水量は 2,300 mm を超え平均湿度も 70% 前後と多雨多湿にあり、年間の日照時間も 2,100 時間を超える気候となっている。

森林面積は、73,399ha で市総面積の 84.6% にあたり森林資源に恵まれている。森林面積のうち 12.8% の 9,376ha が国有林、87.2% の 64,023ha が民有林で占められている。民有林のうち人工林は 51.0% の 32,891ha となっており、そのうち標準伐期齢以上のスギ・ヒノキの森林は 61.6% の 20,268ha に達し、多くの森林が伐採期を迎えている。



(出典：五ヶ瀬川地域森林整備計画)

また、産業は、東九州随一の工業都市であるとともに豊かな自然にも恵まれ、北浦灘アジやひむか本サバなどの水産物、みやざき新たまねぎ（延岡地域ブランド名：空飛ぶ新玉ねぎ）などの農産物がみやざきブランドとして認定されている。その他、金の筍は青果用として県内外に出荷されており、品質の評価も高いことから地域ブランドとして販売促進に力を入れている。これらの豊富な農林水産物を活かし、料理人や生産者の人材育成とともに、地域外からの誘客促進を図るため「食」の拠点づくりとしてバス化構想に取り組んでいる。



更に、東九州自動車道と九州中央自動車道が交差するクロスポイントとしての利点を活かし、企業誘致、7つのS（スポーツ、自然体験、神話・歴史、里帰り、食、産業、STEAM 学習）による観光振興に力を注いでいる。

大分県と宮崎県にまたがる祖母・傾・大崩山とその周辺地域は、自然林の保護や生物多様性の保全と山村地域の経済活動のあり方が「自然との共生」として評価され、平成29年6月に「ユネスコエコパーク」に登録された。

このように、森林のもつ役割は多様な分野に大きく関わっており、住民のニーズが年々多様化する中で、木材の生産機能を維持しつつ、土砂災害防止、生物多様性、水源涵養などの多面的機能を図りながら、重要な森林を次世代へ継承していくことが重要となっている。

【森林整備の現状と課題】

森林所有者の82%にあたる8,429人が5ha未満の所有者であり、都市型特有の零細経営が多いことから、農業を主体とした他産業との兼業が大半を占めている。

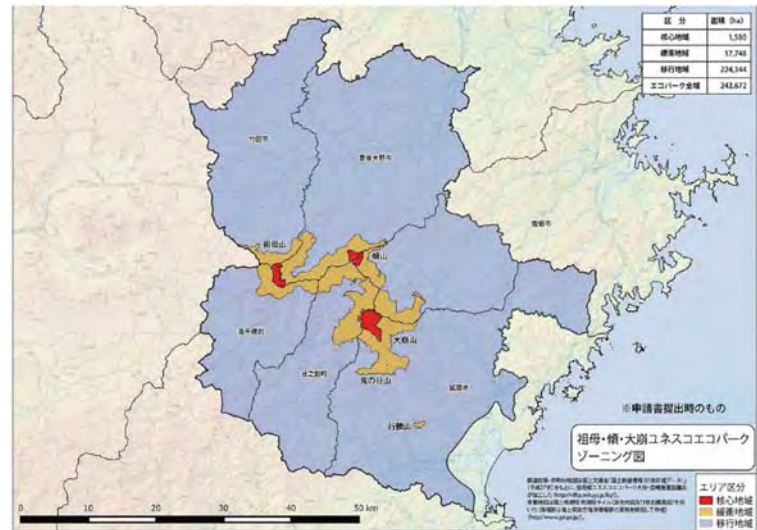
また、近年の林業を取り巻く情勢は、国内最大級の製材工場や木質バイオマス発電施設が整備されたこと、また、令和3年上期からの「ウッドショック」に伴う外材入荷の減に伴い、木材価格は1m³あたり、15,000円を超えたが、現在は、1m³あたり13,000円台で推移している。今後は、バイオマスの利用などにより木材需要は期待されるが、外材入荷の動向により木材価格の下落も懸念される。また、全国各地で多発する豪雨災害の状況は、延岡の地でも起こりうることであり、災害を未然に防ぐためにも健全な森林の維持管理に、危機感をもって取り組まなければならない。

このような中で、森林の伐採面積は令和元年度から令和4年度までの4年間の平均が377.53haとなっているが、これに対し造林の平均面積は241.38haとなっており、造林率は63.9%と低く、造林の推進による森林資源量の確保が課題となっている。

しかし、森林所有者の高齢化の進行や後継者不在の状況から森林への関心が低下し、所有森林の管理の行き届いていない状況が見られる。また、造林や下刈り、間伐などに携わる労働力の確保が厳しい状況となっている。

このため、造林の継続した支援や伐採から造林・下刈りの一貫作業システムの推進、コンテナ苗の普及による造林作業の平準化、担い手の育成、新規参入者の支援などに取り組むとともに、林道・森林作業道等の計画的な開設、高性能林業機械の導入などの生産基盤の整備、木材の需要拡大、新たな森林管理システムへの対応が求められている。

一方、祖母・傾・大崩山は2017年にユネスコエコパークに登録され、山頂付近である核心地域の周辺森林(図2)は、景観や生物多様性を保全する観点から、伐採後の植生を直ちに回復できるようにするための努力目標を設ける必要がある。また、行懸山周辺の「緩衝地域」市街地周辺の山林「移行地域」は、里山としての活用や防災林としての機能を維持しなくてはならないことから、伐採時の災害対策や伐採後の適正な管理に努め、住民が安心できる快適な環境づくりが求められている。



(図2：祖母・傾・大崩山ユネスコエコパークゾーニング図)

市有林では、間伐や造林を進めることは二酸化炭素の吸収源となることから、森林吸収活動によるオフセット・クレジット(J-V E R)の取得及びJ-クレジットの創出に取り組んでいる。また、先進的な施業を導入することで私有林の見本となる森林として管理し、財産的価値を高めていかなければならない。また、森林は二酸化炭素を吸収し、固定するとともに、木材として建築物などに利用することで炭素を長期間貯蔵可能にするなど脱炭素やカーボンニュートラルの実現に貢献することから、これらの森林の機能を活用し、脱炭素の社会づくり・産業づくりに取り組むとともに、間伐等の着実な実施に加え、「伐って、使って、植える」という資源循環型の林業を進める。

このほか、野生動物の適切な管理・保護が求められていることから、シカ・イノシシ・サル等による農林産物被害を防止するため、捕獲活動や侵入防護柵設置を継続しながら、健全な森林づくりを進める必要がある。

平成31年4月に、森林経営管理法の施行、市町村が管理することとなる林地台帳の公表、森林環境譲与税がスタートしたことから、森林環境譲与税の財源を有効かつ効果的に使途するために策定した、延岡市森林環境譲与税活用ビジョンに基づき計画的に事業を進めることが重要である。特に、境界不明瞭による立木売買への支障及び伐採に係る問題が顕在化していることから、リモートセンシング技術を用いた森林境界明確化事業により、森林GISを活用し現地と図面が突合できる精度の高い林地台帳の整備を早急に進める必要がある。

また、持続可能な森林を保全するため、新たな森林管理システムの取組みを進めるとともに、担い手の育成・支援、木材の利用拡大など、森林資源を最大限に活かすための施策を展開し、林業の成長産業化につなげていくことが求められている。

2 森林整備の基本方針

森林の有する多面的機能を高度に発揮する上で望ましい地域が目指すべき森林資源の姿と、森林整備の基本的な考え方及び森林施業の推進方策を、森林の有する機能ごとに次のとおり定める。

森林の機能	対象森林	目指すべき森林資源の姿	森林整備の基本的考え方・森林施業の推進方策
水源涵養機能	ダム集水区域や主要な河川の上流に位置する水源地周辺の森林並びに地域の用水源として重要なため池、湧水地及び溪流等の周辺に存する森林	下層植生とともに樹木の根が発達することにより、水を蓄える隙間に富んだ浸透・保水能力の高い森林土壌を有する森林であって、必要に応じて浸透を促進する施設等が整備されている森林  (浜砂ダム上流部での植樹)	ダム集水区域や主要な河川の上流に位置する森林及び地域の用水源として重要なため池、湧水地、溪流等の周辺に存する森林については、水源涵養機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進する。 洪水の緩和や良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を推進するとともに、伐採に伴って発生する裸地については、縮小及び分散を図る。また、自然条件や県民のニーズ等に応じ、奥地水源林等の人工林における針広混交の育成複層林化など天然力も活用した施業を推進する。 ダム等の利水施設上流部等において、水源涵養の機能が十分に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進することを基本とする。

森林の機能	対象森林	目指すべき森林資源の姿	森林整備の基本的考え方 ・森林施業の推進方策
山地災害防止機能／ ／土壌保全機能	山腹崩壊等により人命・人家等施設に被害を及ぼすおそれがある森林など、土砂の流出、土砂の崩壊の防備その他山地災害の防備を図る必要のある森林	下層植生が生育するための空間が確保され、適度な光が射し込み、下層植生とともに樹木の根が深く広く発達し土壌を保持する能力に優れた森林であって、必要に応じて山地災害を防ぐ施設が整備されている森林  (治山事業を終えた森林)	災害に強い森林を形成する観点から、地形、地質等の条件を考慮した上で、林床の裸地化の縮小及び回避を図る施業を推進することとする。また、自然条件や市民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進することとする。 集落等に近接する山地災害の発生の危険性が高い地域等において、土砂の流出防備等の機能が十全に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進するとともに、溪岸の侵食防止や山脚の固定等を図る必要がある場合には、谷止や土留等の施設の設置を推進することをする。
快適環境形成機能	市民の日常生活に密接な関わりを持つ里山等であって、騒音や粉塵等の影響を緩和する森林	樹高が高く枝葉が多く茂っているなど遮蔽能力や汚染物質の吸着能力が高く、諸被害に対する抵抗性が高い森林  (愛宕山から望む日向灘)	地域の快適な生活環境を保全する観点から、風や騒音等の防備や大気の浄化のために有効な森林の構成の維持を基本とし、樹種の多様性を増進する施業や適切な保育・間伐等を推進することとする。 快適な環境の保全のための保安林の指定やその適切な管理、防風、防潮等に重要な役割を果たしている海岸林等の保全を推進することとする。

森林の機能	対象森林	目指すべき森林資源の姿	森林整備の基本的考え方 ・森林施業の推進方策
保健・レクリエーション機能	観光的に魅力ある高原、溪谷等の自然景観や植物群落を有する森林、キャンプ場や森林公園等の施設を伴う森林など、市民の保健・教育的利用等に適した森林	身近な自然や自然とのふれあいの場として適切に管理され、多様な樹種等からなり、住民等に憩いと学びの場を提供している森林であって、必要に応じて保健・教育活動に適した施設が整備されている森林  (鏡山から望む日豊海岸)	市民に憩いと学びの場を提供する観点から、自然条件や市民のニーズ等に応じ広葉樹の導入を図るなどの多様な森林整備を推進することとする。 また、保健等のための保安林の指定やその適切な管理を推進することとする。
文化機能	史跡、名勝等の所在する森林や、これらと一体となり優れた自然景観等を形成する森林	史跡・名勝等と一体となって潤いのある自然景観や歴史的風致を構成している森林であって、必要に応じて文化活動に適した施設が整備されているなど、精神的・文化的・知的向上等を促す場としての森林  (比叡山)	史跡、名勝等の所在する森林やこれらと一体となり優れた自然景観等を形成する森林については、潤いのある自然景観や歴史的風致を構成する観点から、文化機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進する。 美的景観の維持・形成を考慮した森林整備を推進する。また、風致のための保安林の指定やその適切な管理を推進する。

森林の機能	対象森林	目指すべき森林資源の姿	森林整備の基本的考え方・森林施業の推進方策
生物多様性保全機能	希少な生物の保護のために必要な森林	原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林等、その土地固有の生物群集を構成する森林  (大崩山)	原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林などの属地的に機能の発揮が求められる森林については、生物多様性保全機能の維持増進を図る森林として保全することとする。また、野生生物のための回廊の確保にも配慮した適切な保全を推進することとする。
木材等生産機能	林木の生育に適した森林で、効率的な森林施業が可能な森林	林木の生育に適した土壌を有し、木材として利用する上で良好な樹木により構成され成長量が高い森林であって、林道等の基盤整備が適切に整備されている森林  (スギの山林)	林木を生育に適した森林で、効率的な森林施業が可能な森林については木材等生産機能の維持増進を図る森林として整備を推進する。 木材等の林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給する観点から、森林の健全性を確保し、木材需要に応じた樹種、径級の林木を生育させるための適切な造林、保育、間伐等を推進することを基本として、将来にわたり育成単層林として維持する森林では、主伐後の植栽による確実な更新を行う。この場合、施業の集団化や機械化を通じた効率的な整備を推進することを基本とする。

Ⅱ 森林の整備に関する事項

第1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）

1 樹種別の立木の標準伐採齢

立木の標準伐採齢は、市内に生育する主要樹種ごとに、標準的な林地条件にある森林の平均成長量が最大となる年齢を基準とし、森林の有する公益的機能、既往の平均伐採齢及び森林の構成を勘案して次のとおり定める。

なお、立木の標準伐採齢は、本市の標準的な立木の伐採（主伐）の時期に関する指標として、本計画で定めるものであるが、標準伐採齢に達した森林の伐採を促すものではない。

地 域	樹 種					
	ス ギ	ヒ ノ キ	マ ツ 類	その他の 針 葉 樹	クヌギ ナラ類	その他の 広 葉 樹
本市全域	35年	40年	30年	30年	10年	10年

2 立木の伐採（主伐）の標準的な方法

主伐に当たっては、森林の有する公益的機能の発揮と森林生産力の維持増進に配慮して行うこととし、伐採跡地が連続することのないよう、伐採跡地間には少なくとも周辺森林の成木の樹高程度の幅を確保することとし、伐採の対象とする立木は、標準伐採齢以上を目安として選定することとする。

また、伐採後の的確な更新を確保するため、あらかじめ適切な方法を定め、その方法を勘案して伐採を行う。特に、伐採後の造林が天然更新により行われる場合は、天然稚樹育成状況、母樹の保存、種子の結実等に配慮することとする。なお、自然条件が劣悪なため、伐採方法を特定する必要がある森林における伐採の方法については、択伐等適確な更新の確保が図られるよう配慮したものとする。

さらに、林地の保全、落石の防止、寒風害等の被害防止、風致の維持、生物多様性の保全等のため必要がある場合には、所要の保護樹林帯を設置することとする。



（プロセッサによる造材）

高性能林業機械等による伐採・搬出に当たっては、「環境に配慮した高性能林業機械の作業システム指針」（平成20年3月宮崎県環境森林部）及び「宮崎県伐採、搬出及び再造林ガイドライン（平成30年11月28日宮崎県森林経営課）」に基づき、地形、地質等を十分考慮し、山地の崩壊や土砂の流出などの災害の未然防止を図るよう努めるものとする。作業路を開設した場合は、山地の崩壊や土砂の流出等を起こさないよう留意し、必要に応じて、開設跡地を埋戻すものとする。また、枝条等の残材が1箇所集中しないよう配慮した集材・造材を行うとともに、木質バイオマス燃料への活用に努めるものとする。

立木の皆伐及び択伐の留意点については、下表のとおりとする。

伐採方法 の別	留 意 点
皆 伐	主伐のうち択伐以外のものとする。皆伐に当っては気候、地形、土壌等の自然条件及び公益的機能の確保の必要性を踏まえ、適切な伐採区域の形状、一箇所当たりの伐採面積の規模及び伐採区域のモザイク的配置に配慮し、伐採面積に応じて、少なくとも20haごとに保残帯を設け適確な更新を図ることとする。 また、河川や溪流周辺に天然林が存する場合は、保護樹林帯を設けるとともに、人工林内にまとまった天然林があり活用の目的がない場合は、保残するものとする。
択 伐	主伐のうち、伐採区域の森林を構成する立木の一部を伐採する方法であって、単木・帯状又は樹群を単位として、伐採区域全体ではおおむね均等な伐採率で行い、かつ、材積に係る伐採率が30%以下（伐採後の造林が人工造林による場合にあっては40%以下）であるものとする。 択伐に当たっては、森林の有する多面的機能の維持増進が図られる適正な林分構成となるよう、一定の立木材積を維持するものとし、適切な伐採率によることとする。

3 主伐の時期

(1) 人工林

人工林の主伐は、樹種ごとの生産目標に対応する径級に達した時期に行い、本市における主伐の時期は、下表を目安として定めるものとする。

地域	樹 種	主伐時期 の 目 安	標準的な施業体系		
			生産目標	仕立て方法	期待径級（胸高直径）
本市全域	ス ギ	3 5 年	一般構造用材	中庸仕立て	2 8 cm
		7 0 年以上	一般大径材		4 2 cm以上
	ヒノキ	4 0 年	一般構造用材	中庸仕立て	2 6 cm
		8 0 年以上	一般大径材		4 0 cm以上
	クヌギ ナ ラ	1 0 年	しいたけ原木	中庸仕立て	1 2 cm

(2) 天然林

地域	樹 種	主伐時期 の 目 安	留意事項
本市 全域	針葉樹 広葉樹	樹種ごとの 用途等に対 応した時期	ア 森林の生物多様性の観点から、野生生物の営巣地等の重要な空洞木について、保残等に努める。 イ 森林の多面的機能の発揮の観点から、伐採跡地が連続することがないよう、伐採跡地間の距離として少なくとも周辺森林の成木の樹高程度の幅を確保する。 ウ 伐採後の適確な更新を確保するため、あらかじめ適切な更新方法を定め、その方法を勘案して伐採を行うものとする。特に、伐採後の更新を天然更新による場合には、天然稚樹の生育状況、母樹の保存、種子の結実等に配慮する。 エ 林地の保全、落石等の防止、風害等の各種被害の防止、風致の維持等のため、住宅地周辺や溪流周辺、尾根筋等に保護樹帯を設置するものとする。 オ 伐採・搬出に当たっては、「環境に配慮した高性能林業機械の作業システム指針（平成20年3月宮崎県環境森林部）及び「宮崎県伐採・搬出及び再造林ガイドライン（平成30年11月28日宮崎県森林経営課）」に基づき、地形、地質等を十分考慮し、山地の崩壊や土砂の流出などの災害の未然防止を図るよう留意するものとする。

4 一伐区当りの伐採面積

一伐区当りの伐採面積は、木材生産機能森林、公益的機能別施業森林を含む全ての森林において20haを超えないこととし、地形、地質等林地の状況を踏まえ、自然災害、人的災害等の各種災害を起因とならない適正かつ最小の伐採面積とするものとする。

5 伐採及び伐採後の造林の届出

伐採に当っては、森林法（昭和26年法律第249号）、「延岡市伐採及び伐採後の造林の届出及び森林の状況報告に関する事務取扱要領」及び「宮崎県伐採、搬出及び再造林ガイドライン」を遵守するものとする。また、届出書の提出に当たっては、字図、登記情報、森林簿及び林地台帳等の公的資料により正確に森林の所在を把握し、隣接所有者との境界を十分に確認するなど、伐採に係る問題の発生を未然に防ぐための措置を十分に講じるものとする。万が一、伐採に係る問題が発生した場合は、その原因者において被害者に誠意をもって対処するものとする。

伐採期間中は、「伐採及び伐採後の造林の適合通知書」を常備し、「延岡市森林整備計画」に適合した伐採であることを明示できるようにしておくこと。また、「伐採適合票」及び「伐採旗」の交付を受けた場合には、周辺から見えやすい箇所に掲示し無断伐採の未然防止や無秩序な伐採を抑制するものとする。

6 その他必要な事項

伐採しようとする森林の隣接地に、人家や公共施設等の重要保全対象物がある場合には、地形、地質等林地の状況を勘案した上で一定の保護樹帯を設置する等、大面積の皆伐を避けることとし、自然災害、人的災害等の各種災害が起因しないように伐採残木の処理を適切に行い、伐採跡地についても早期の更新に努めるものとする。

第2 造林に関する事項

造林については、裸地状態を早期に解消して森林の有する公益的機能の維持を図るため、更新されるべき期間内に行うものとし、その方法については、気候、地形、土壌等の自然条件に応じて、人工造林又は天然更新によるものとする。特に伐採後に適確な更新が図られていない伐採跡地については、それぞれの森林の状況に応じた方法により早急に更新することとする。なお、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林においては、人工造林によることとする。また、更新に当たっては、労働力の平準化及び造林後の下刈りの省力化を図るため、コンテナ苗への誘導等を図ることとする。また、花粉発生源対策の加速化を図るため、花粉の少ない苗木（無花粉苗木、少花粉苗木、低花粉苗木及び特定苗木をいう。以下同じ。）の植栽、広葉樹の導入等に努める。



（再造林後の山林）

1 人工造林に関する事項

人工造林については、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林や公益的機能の発揮の必要性から植栽を行うことが適当である森林のほか、木材等生産機能の発揮が期待され、将来にわたり育成単層林として維持する森林において行うものとする。

(1) 人工造林の対象樹種

人工造林に当たっては、適地適木を旨とし、郷土樹種も考慮に入れて、気候、地形、土壌等の自然条件等に適合するとともに、木材需要にも配慮した樹種を選定することとする。

また、伐採が終了しておおむね2年以内に、効率的な施業実施の観点から、技術的合理性に基づき、現地の状況に応じた本数の苗木を植栽することとし、コンテナ苗の活用や伐採と造林の一貫作業システムの導入に努めることとする。

なお、苗木の選定については、成長に優れた特定苗木（エリートツリー）の導入や花粉の少ない苗木の増加に努めることとする。

広葉樹造林に当たっては、「宮崎県における広葉樹等の造林に関する調査報告書（1996年3月宮崎県林業総合センター）」等を参考として、地域の自然条件等に適合した樹種を選定するものとする。



（スギコンテナ苗）

区 分	針広葉樹別	樹 種 名
人工造林の対象樹種	針葉樹	スギ、ヒノキ、クロマツ、カヤ、モミ、イチョウ イヌマキ、コウヨウザン
	広葉樹	クヌギ、ナラ、カシ類、ケヤキ、ホオノキ、ヤマグワ、センダン、 クスノキ、タブノキ、シイノキ、マテバシイ、ミズメ、 ヤマザクラ、イヌエンジュ、クリ、カエデ類、クロガネモチ

上記以外の樹種を選定する場合は、森林総合監理士（フォレストラー）や林業普及指導員又は市の林務担当部局等と相談のうえ、適切な樹種を選定することとする。

(2) 人工造林の標準的な方法

ア 人工造林の樹種別及び仕立ての方法別の植栽本数

植栽本数については、施業の効率化や地位等の自然条件を踏まえ、既往の植栽本数や保安林の指定要件を勘案して、仕立ての方法別に1ヘクタール当たりの標準的な植栽本数を植栽するものとする。また、活着が良く成長に優れた特定苗木等による低密度植栽に努める。

また、複層林化を図る場合の樹下植栽については、標準的な植栽本数に下層木以外の立木の伐採率（材積による率）を乗じた本数以上を植栽するものとする。

樹 種	植栽本数（本/ha）	備 考
ス ギ	1,500 ～ 3,000	
ヒ ノ キ	1,500 ～ 3,500	
ク ヌ ギ	500 ～ 3,500	

ここに定められた標準的な植栽本数の範囲を超えて植栽しようとする場合は、森林総合監理士（フォレストラー）や林業普及指導員又は市の林務担当部局等と相談の上、適切な植栽本数を選定することとする。

イ その他人工造林の方法

区 分	標 準 的 な 方 法
地拵えの方法	伐採木及び枝条等が植栽や保育作業の支障とならないように整理することや、林地の保全に配慮するものとする。 また、高性能林業機械による伐採・搬出作業を同時並行して機械地拵えや植栽を行う伐採と造林の一貫作業システムの導入など作業工程の効率化に努めるものとする。
植付けの方法	気候その他の自然条件、既往の植付け方法等を勘案して植付け方法を定めるとともに適期に植え付けるものとする。 また、施業の効率化や植栽時期の自由度が高いコンテナ苗の活用についても取り組むものとする。
植栽の時期	苗木の活着と成長が図られるよう、適期、通常は春に植栽するものとする。 なお、コンテナ苗については、その特性から植栽時期の分散を推進するものとする。

ウ その他人工造林の方法

土壌型による植栽選定基準

土 壌 型	樹 種	備 考
弱乾性褐色森林土	ヒノキ	
適潤性褐色森林土（乾性型）	スギ、ヒノキ、クヌギ	
適潤性褐色森林土、弱湿性褐色森林土	スギ	
黒色土	スギ、ヒノキ、クヌギ	

(3) 伐採跡地の人工造林をすべき期間

森林の有する公益的機能の維持及び早期回復並びに森林資源の造成を図る観点から、3に定める植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に指定されている森林の更新など、人工造林による更新は、皆伐による伐採跡地については、当該伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して2年以内に更新を完了するものとする。

択伐による伐採に係るものについては、伐採による森林の公益的機能への影響を考慮し、伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して5年を越えない期間に更新を完了するものとする。

なお、保安林にあっては、その保安林に定める指定施業要件に従い植栽するものとする。

(4) 伐採跡地の人工造林の努力目標

将来に向け、安定的に木材供給を維持していくため、等地ごとに、再造林の努力目標を下表のとおり定める。

等 地	再造林の努力目標
1 等地	伐採した面積の 80%以上
2 等地	伐採した面積の 60%以上

※等地とは、森林毎の地位指数と地利級によって算定されたもの。具体的には次表のとおり

地 位	地 利		
	200m以内	200m～500m	500m以上
1	1等地	1等地	2等地
2	1等地	2等地	3等地
3	2等地	3等地	3等地

2 天然更新に関する事項

天然更新については、前生稚樹の生育状況、母樹の存在など森林の現況、気候、地形、土壌等の自然条件、林業技術体系、周辺の伐採跡地の天然更新の状況等から見て、主として天然力を活用することにより適確な更新が図られる森林において行うものとする。

(1) 天然更新の対象樹種

天然更新の対象樹種	「宮崎県天然更新完了基準」（平成19年10月宮崎県環境森林部、附属資料2、以下「天然更新完了基準」という。）によるものとする。
ぼう芽による更新が可能な樹種	天然更新完了基準によるものとする。

(2) 天然更新の標準的な方法

ア 天然更新の対象樹種の期待成立本数

樹 種	期 待 成 立 本 数
宮崎県天然更新完了基準によるものとする。	宮崎県天然更新完了基準によるものとする。

イ 天然更新補助作業の標準的な方法

区 分	標 準 的 な 方 法
地表処理	タケやササの繁茂、粗腐植の堆積等により更新が困難な箇所は、かき起こし、枝条整理を行うものとする。
刈出し	タケやササ、シダなどの下層植生により天然稚樹の育成が阻害されている箇所は、刈り払いを行うものとする。
植込み	天然更新が不十分な箇所について行うものとする。植え込む樹種は林地の気候、地形、土壌条件、既存の成林の生育状況、地域の経済条件等を考慮し、あわせて上層木の密度、耐陰性に配慮し適正なものを選定するものとする。植栽本数は、天然稚樹の生育状況に勘案して決めるものとする。
芽かき	ぼう芽更新した芽のうち成長が良いもの2～3本立ちを基準とし、残りは間引くものとする。

ウ その他天然更新の方法

天然更新の完了確認については、宮崎県天然更新完了基準で定める方法により行うものとし、更新が完了していないと判断される場合には植栽等により確実に更新を図るものとする。

(3) 伐採跡地の天然更新をすべき期間

伐採跡地の荒廃を防止するため、伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して5年を越えない期間に更新を完了するものとする。

なお、更新が完了していないと判断される場合には、植え込み等により確実に更新を図るものとする。

3 植栽によらなければ適切な更新が困難な森林に関する事項

ぼう芽更新に適した立木や天然下種更新に必要な母樹の賦存状況、天然更新に必要な更新樹種の立木の生育状況、林床の地表状況、病虫害害などの被害の発生状況、当該森林及び近隣の森林における主伐箇所の天然更新の状況その他の自然条件及び森林の早期回復に対する社会的要請等を勘案して定めるものとする。

(1) 植栽によらなければ的確な更新が困難な森林の基準

地域森林計画で定める「植栽によらなければ的確な更新が困難な森林に関する指針」に基づき、主伐後の的確な更新を図るため、現況が針葉樹人工林であり、母樹となり得る高木性の広葉樹林が更新対象地の斜面上方や周囲100m以内に存在せず、林床にも更新樹種が存在しない森林を基本とする。

ただし、Ⅳの1の保健機能森林の区域内であって森林保健施設の設置が見込まれるものは除く。

4 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の所在

天然下種及びぼう芽による方法等天然力によっては、更新の確保が期待できない林分とする。

森林の区域	面積 (ha)	備 考
該当なし		本表は、森林の区分を「該当なし」と記載するが、「植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の所在」が皆無で、すべての場合において天然更新で良いといういみではない。 適確な更新が行われなければ、森林が荒廃し災害の原因になる等の森林の多面的機能が低下するため、伐ったら植えて育てるサイクルにより、森林資源を持続的に循環利用することが重要となる。 このことを踏まえ、特に、木材生産機能維持増進森林及び人家や道路、河川等に隣接する森林においては、極力、天然更新ではなく人工造林による更新に努めることとする。

5 森林法第10条の9第4項の規定に基づく伐採の中止又は造林をすべき旨の命令の基準

(1) 造林の対象樹種

ア 人工造林の場合

Ⅱの第2の1の(1)による。

イ 天然更新の場合

Ⅱの第2の2の(1)による。

(2) 生育し得る最大の立木の本数

植栽によらなければ的確な更新が困難な森林以外の伐採跡地における植栽本数の基準として、天然更新の対象樹種の立木が5年生の時点で、生育し得る最大の立木の本数を10,000本/haとする。

なお、当該対象樹種のうち周辺の草丈に一定以上の余裕を加えた樹高以上のものについて

は、その本数に10分の3を乗じた本数以上の本数を成立させるものとする。

6 所有者負担ゼロによる再造林の推進

伐採後の再造林の取組や再造林後の下刈り等の保育施業等に対し、森林環境譲与税や企業版ふるさと納税制度による寄付金を活用し、所有者負担をゼロにしながら「伐って、使って、すぐ植える」資源循環型林業に取組むものとする。

7 その他必要な事項

国庫補助事業等の活用による造林の実施を促すとともに、伐採から造林・下刈りまでの一貫作業を同一経営体及び複数事業体で行うシステムを推進することとする。また、ニホンジカ等による被害に対応するため、鳥獣害防止施設（防護柵）等の整備を図ることとする。

第3 間伐を実施すべき標準的な林齢、間伐及び保育の標準的な方法その他間伐及び保育の基準

間伐及び保育は、これまで造成されてきた人工林を健全な状態に維持し、利用価値を高めていく上で必要不可欠な作業である。このため、気候、地形、土壌等の自然条件、森林資源の構成、森林に対する社会的要請、木材消費者の動向等を勘案して間伐及び保育に関する事項を定めるものとする。

1 間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法

森林の立木の生育促進、林分の健全化及び利用向上を図るため、下表に示す内容を基礎とし、地域における既往の間伐の方法を勘案して、林木の競合状態及び適度な下層植生を有する適正な林分構造が維持されるよう、間伐の実施時期、間隔、間伐率、間伐木の選定方法その他必要な事項を定めるものとする。



(間伐した山林)

樹種	施業体系	植栽本数	実施すべき標準的な林齢			標準的な方法
			初回	2回目	3回目	
スギ	一般構造用材 一般大径材	1,500 ～ 3,000	18 ～ 22	25 ～ 29	標準伐期齢 以上で間伐する 場合は概ね 20年おきに実施する。	宮崎県間伐技術指針(昭和53年3月宮崎県林務部)」、「宮崎県長伐期施業技術指針(平成20年3月宮崎県森林環境部)」及び宮崎県東臼杵農林振興局が示した育林体系により実施する。
ヒノキ	スギの施業体系に準ずる。	1,500 ～ 3,500	20 ～ 24	27 ～ 31		

2 長伐期多間伐施業の標準的な方法

公益的機能の発揮と大径材の生産を目的として、標準伐期齢の2倍以上を目安として、標準伐期齢以上に達した時点から木材を利用し、残存立木の生育促進及び林分の質的向上と健全性の維持を図る。また、地形、地位、地利等の自然条件を考慮して定性的間伐（林木の形質に重点を置いて、樹幹の優劣や樹幹の形質等をもとに間伐木を伐採する。）を主体に実施するものとする。

3 保育の種類別の標準的な方法

森林の立木の生育促進及び林分の健全化を図るため、下表に示す内容を基礎とし、既往における保育の方法を勘案して、時期、回数、作業方法その他必要な事項を定めるものとする。

(1) 時期及び回数

保育の種類	樹種	実施すべき標準的な林齢及び回数												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
下刈	スギ	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△			
	ヒノキ	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△			
	クヌギ	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△			
つる切	スギ							←△→						
	ヒノキ							←△→						
	クヌギ							←△→						
除伐	スギ										←○→			
	ヒノキ										←○→			
	クヌギ										←△→			

注) 1 ○は通常予想される実行標準
 2 △は必要に応じて実施する
 3 ← →は実行期間の範囲を示す

(2) 方法

保育の種類	標準的な方法	備考
下刈り	通常年1回、植栽木が被圧されないよう植生の繁茂状況に応じて、適切な時期及び作業方法により雑草木を刈り払う。また、雑草木の繁茂状況が著しく造林木の成長に悪影響を及ぼす場合は、年2回以上実施する。	
つる切り	つる類の繁茂状況に応じ、立木の成長に支障をきたさないように適切に実施する。	
除伐	造林木の育成が阻害されないよう目的樹種以外の不要木や成木の見込みのない不良木を対象に下刈終了後3～6年頃に1～2回程度実施する。 この場合、急激な環境変化が生じないよう配慮するとともに、目的樹種以外であっても、その生育状況、公益的機能の発揮及び将来の利用価値を勘案して、有用なものは保存・育成するなど現地の実態に応じて適切に実施する。	
枝打	通常、すそ枝打（手の届く範囲）や枯れ枝落とし等最小限度行うこととするが、優良材生産にあつては、若齢級から生産目標に応じた枝打を行うこととする。	

(3) 留意点

保育の種類	留意する点	備考
間伐	林冠が隣り合わせた樹木の葉がお互いに接してうつ閉（樹冠疎密度が10分の8以上）し、立木間の競争が生じ始めた森林において、主に目的樹種の一部を伐採するもので、伐採率（材積率）は35%以下であり、かつ、伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して5年後にその樹冠疎密度が10分の8以上に回復するよう行うものとする。 路網整備の遅れにより間伐が十分に実施されていない人工林については風害に留意し、間伐の繰り返し期間を5年程度として実施することとする。	

	間伐に当たっては、森林資源の質的向上を図るとともに、適度な下層植生を有する適正な林分構造が維持され、根の発根が促されるよう、適切な伐採率により繰り返し行う。特に高齢級の森林における間伐に当たっては、立木の成長力に留意する。また、施業の省力化・効率化の観点から、列状間伐の導入に努める。	
--	--	--

4 再造林に適さない林地における天然林化や針広混交林の推進

生育条件の良い林地では、スギ等の針葉樹による再造林の支援等に取り組むこととするが、作業道等が未整備な奥地や急傾斜地など再造林に適さない生育条件が悪い林地においては、尾根や傾斜地に带状に広葉樹を植林、または天然林化を促し、緩傾斜地には針葉樹を植林し、針葉樹と広葉樹からなる針広混交林の整備を推進する。この取組により地力の維持や水源のかん養、土砂の流失防止や生物多様性の確保など、森林の持つ公益的機能の維持・増進を図る。

5 その他必要な事項

局地的森林の生育状況の差違等を踏まえ、1又は2の「標準的な方法」に従って間伐又は保育を行ったのでは十分に目的を達成することができないと見込まれる森林については、生育状況に応じた間伐又は保育を実施するものとする。

資源循環型林業（イメージ）



第4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

1 森林の機能別の区域及び当該区域における施業の方法

【別表1】

機能別の区域	区域の設定基準	施業方法の考え方
水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (水源涵養機能維持増進森林)	水源涵養保安林や干害防備保安林、ダム集水区域や主要な河川の上流に位置する水源地周辺の森林、地域の用水源として重要なため池、湧水地、溪流等の周辺に存する森林、水源涵養機能が高い森林など水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	伐期の延長及び伐採面積の縮小・分散を図ることを基本とし、下層植生の維持（育成複層林にあっては、下層木の適確な生育）を図りつつ、根系の発達を確保することとする。 伐期の延長は、伐採林齢を標準伐期齢より10年延長することとする。
土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (山地災害防止／土壌保全機能維持増進森林)	土砂崩壊防備保安林、土砂流出防備保安林や砂防指定地周辺、山地災害危険地区等や山地災害危険地区や山地災害の発生により人命・人家等施設への被害の恐れがある森林、山地災害防止機能／土壌保全機能が高い森林、森林経営管理制度で経営管理権が設定された森林	公益的機能の維持増進を図るため地形・地質等の条件を考慮した上で伐採に伴って発生する裸地化の縮小並びに回避を図るための施業を推進する。
快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (快適環境形成機能維持増進森林)	防風保安林、潮害防備保安林や市民の日常生活に密接な関わりを持ち塵等の影響を緩和する森林、風害、霧害等の気象災害を防止する効果が高い森林、快適環境形成機能が高い森林	公益的機能の維持増進を図るため、風や騒音等の防備や大気汚染の浄化のために有効な森林の構成の維持を図るための施業を推進する。
保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (保健文化機能維持増進森林)	保健保安林、風致保安林、都市計画法に規定する風致地区、文化財保護法に規定する史跡名勝天然記念物に係る森林、キャンプ場・森林公園等の施設を伴う森林などの市民の保健・教育的利用等に適した森林、史跡等と一体となり優れた自然景観等を形成する森林、保健・レクリエーション機能、文化機能が高い森林	公益的機能の維持増進を図るため、憩いと学びの場を提供する観点からの広葉樹の導入を図る施業や美的景観の維持・形成に配慮した施業を進める。 特に地域独自の景観等が求められる森林において、風致の優れた森林の維持管理又は造成のために特定の樹種の広葉樹（以下「特定広葉樹」という。）を育成する森林施業を行うことが必要な場合には、当該森林施業を推進する。

水源の涵養機能維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (準水源涵養機能維持増進森林)	「水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林」のうち、クヌギ・ナラ類等を主林木とする森林	伐期の延長及び伐採面積の縮小・分散を図ることを基本とし、下層植生の維持を図りつつ、根系の発達及び表土の保全を確保することとする。 なお、伐期の延長は、伐採林齢を標準伐期齢より5年延長することとする。
市街地の快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (市街地快適環境形成機能維持増進森林)	市民の日常生活に密接な関わりを持ち塵等の影響を緩和する森林、風害、霧害等の気象災害を防止する効果が高い森林、快適環境形成機能が高い森林	地域の快適な生活環境を保全する観点から、風雨などの気象や騒音等の防備、大気汚染の浄化のために有効な森林の維持を図るための施業を推進する。 伐採を行う場合は、人工造林による確実な更新を図る森林施業を推進する。
生物多様性の維持増進を図るために森林施業を推進すべき森林 (生物多様性機能維持増進森林)	ユネスコエコパークの緩衝地域の周辺、北川地域の湿原の周辺で生物多様性の保全が求められる森林	自然林の保護と山村地域の経済活動や生物多様性の保全を基本として「自然との共生」ができ、地域の景観等を保全する森林において、伐採後の森林の機能回復を図るための施業を推進する。 なお、伐採後は3年を経過後に森林としての機能を回復するための施業を推進する。
海岸の景観と水産資源の環境保全を図るために森林施業を推進すべき森林 (海岸と水産資源保全機能維持増進森林)	魚つき保安林に規定する森林、日豊海岸国定公園の景観を形成する森林	景勝地としての景観の維持及び水産資源の保全を確保する森林において、景観に配慮した施業、水産資源に悪影響を与えない施業を推進する。 伐採を行う場合は、人工造林による確実な更新を図る森林施業を推進する。
木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (木材等生産機能維持増進森林)	林木の生育に適した森林及び林道等の開設状況や経営管理実施権の設定見込み等から効率的な施業が可能な森林、木材等生産機能が高い森林で、自然条件及び社会条件等から一体として森林施業を行うことが適当と認められるなど木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業をすべき森林 【付表1】 また、木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域のうち、林	森林の公益的機能の発揮に留意しつつ、路網整備、森林施業の集約化・機械化等を通じた効率的な森林整備を推進する。 また、多様な木材需要に応じた持続的な木材生産が可能となる資源構成になるよう計画的な伐採と植栽による確実な更新を推進する。 なお、特に効率的な施業が可能な森林の区域のうち、人工林については、原則として皆伐後には植栽による更新を行うこととする。

	地生産力が高く、傾斜が比較的緩やかで、林道等や集落からの距離が近い森林等を「特に効率的な施業が可能な森林」として、必要に応じて定めるものとする。その際、人工林を中心とした林分であるなど周囲の森林の状況を踏まえるとともに、災害が発生する恐れのある森林を対象としないよう十分に留意するものとする。 具体的には、林班単位で人工林が過半、かつ、木材等生産機能がH※の森林が過半、かつ、林班の傾斜区分の平均が緩又は中、かつ、路網等からの距離が200m未満の森林等から設定するものとする。ただし、災害が発生する恐れのある森林は除く。 木材等生産機能の区分の標記。H（高）M（中）L（低）	
--	--	--

【付表 1】

地位	地 利		
	200m以内	200m～500m	500m以上
1	1 等地	1 等地	2 等地
2	1 等地	2 等地	3 等地
3	2 等地	3 等地	3 等地

地位：土壌型や表層地質、標高等を基礎にスコア表を作成し判定

地利：路網からの距離から3つに区分

【別表 2】

(※森林の区域は付属資料に記載する。)

区 分	面 積 (ha)				
	延岡地域	北方地域	北浦地域	北川地域	計
水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (水源涵養機能維持増進森林)	3,980.56	674.23	1,383.82	3,929.61	9,968.22
土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (山地災害防止／土壌保全機能維持増進森林)	1,184.33	129.14	223.08	643.39	2,179.94
快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (快適環境形成機能維持増進森林)	7.40	—	1.06	—	8.46
保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (保健文化機能維持増進森林)	182.41	—	—	—	182.41
水源の涵養機能維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林に準ずる森林 (準水源涵養機能維持増進森林)	58.95	19.17	352.45	190.34	620.91
市街地の快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (市街地快適環境形成機能維持増進森林)	239.10	—	—	—	239.10
生物多様性の維持増進を図るために森林施業を推進すべき森林 (生物多様性機能維持増進森林)	1,201.51	2,398.02	—	1,959.26	5,558.79
海岸の景観と水産資源の環境保全を図るために森林施業を推進すべき森林 (海岸と水産資源保全機能維持増進森林)	1,774.55	—	1,183.01	—	2,957.56
木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (木材等生産機能維持増進森林)	13,455.18	12,596.21	7,217.52	17,765.21	51,034.12
特に効率的な施業が可能な森林	該当なし				

森林の発揮すべき機能別に伐期齢の下限を別表 3 に定め、樹種ごとの伐期齢の下限は別表 4 に定めるものとする。

【別表3】

施 業 の 方 法	
水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (水源涵養機能維持増進森林)	標準伐期齢+10 年
土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (山地災害防止／土壌保全機能維持増進森林)	択伐による複層林施業を推進すべき森林
	長伐期を推進すべき森林 標準伐期齢×2×0.8
快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (快適環境形成機能維持増進森林)	長伐期を推進すべき森林 標準伐期齢×2
保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (保健文化機能維持増進森林)	長伐期を推進すべき森林 標準伐期齢×2
水源の涵養機能維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林に準ずる森林 (準水源涵養機能維持増進森林)	標準伐期齢+5 年 クヌギ・ナラ、その他広葉樹のみ
市街地の快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (市街地快適環境形成機能維持増進森林)	標準伐期齢
生物多様性の維持増進を図るために森林施業を推進すべき森林 (生物多様性機能維持増進森林)	標準伐期齢
海岸の景観と水産資源の環境保全を図るために森林施業を推進すべき森林 (海岸と水産資源保全機能維持 増進森林)	標準伐期齢

【別表 4】

施業の方法	樹 種					
	スギ	ヒノキ	マツ類	その他の 針葉樹	クスギ ・ナラ類	その他の 広葉樹
水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (水源涵養機能維持増進森林)	45 年	50 年	40 年	40 年	20 年	20 年
土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (山地災害防止／土壌保全機能維持増進森林)	56 年	64 年	48 年	48 年	20 年	20 年
快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (快適環境形成機能維持増進森林)	70 年	80 年	60 年	60 年	20 年	20 年
保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (保健文化機能維持増進森林)	70 年 35 年	80 年 40 年	60 年 30 年	60 年 30 年	20 年 10 年	20 年 10 年
水源の涵養機能維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林に準ずる森林 (準水源涵養機能維持増進森林)	—				15 年	15 年
市街地の快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (市街地快適環境形成機能維持増進森林)	35 年	40 年	30 年	30 年	10 年	10 年
生物多様性の維持増進を図るために森林施業を推進すべき森林 (生物多様性機能維持増進森林)	35 年	40 年	30 年	30 年	10 年	10 年
海岸の景観と水産資源の環境保全を図るために森林施業を推進すべき森林 (海岸と水産資源保全機能維持増進森林)	35 年	40 年	30 年	30 年	10 年	10 年
木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (木材等生産機能維持増進森林)	35 年	40 年	30 年	30 年	10 年	10 年

第5 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施の促進に関する事項

1 森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大に関する方針

本市の民有林面積の約63%を占める私有林は、森林所有者の82%が5ha未満の小規模所有者であり、効率的な施業を行うことができないことから、市、森林組合、森林所有者等が地域ぐるみで取り組む体制づくりを推進することで、森林経営等の受委託の働きかけを積極的に行い、意欲や能力のある林業経営者（以下「ひなたのチカラ林業経営者」という。）や森林組合等への経営等の集約化を図るものとする。また、長期的な経営受委託等が円滑に進むよう、施業内容やコストを明示する提案型の施業の普及並びに定着に努めるものとする。

特に、委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施等については、施業集約化と長期施業受委託等に必要な森林情報の提供及び助言・あっせんなどを推進し、長期にわたり持続的な経営を実現できる林業経営体への委託を進めるものとする。

その際、長期の施業委託が円滑に進むよう、市町村による森林の土地所有者届出制度の情報提供や固定資産課税台帳情報の適切な利用を通じて、得られた情報を林地台帳に反映するなどして、森林所有者情報の精度向上を図り、森林施業プランの作成により施業内容やコストを森林所有者に明示するシステムを促進するほか、面的にまとまった森林での施業の促進や、自ら経営管理を実行できない森林所有者等の森林については、ひなたのチカラ林業経営者等による森林の経営管理を円滑に進めるものとする。

2 森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大を促進するための方策

不在村森林所有者や、所有面積が小さく自ら効率的な森林経営を行うことが困難な森林所有者に対し、新たな森林管理システムの活用を働きかけることとする。また、森林施業プランナーの養成と併せて、林地台帳情報の精度向上や森林GISを活用して、所有者情報を適確に把握し森林を集約することで、ひなたのチカラ林業経営者等への施業又は森林経営の委託を促進するものとする。

3 森林の経営の受委託等を実施する上で留意すべき事項

森林施業の受委託等に必要な森林所有者情報等は、林地台帳や森林GISを活用するため、個人情報の保護に十分に配慮しながら、ひなたのチカラ林業経営者等に提供するものとする。

4 森林経営管理制度の活用に関する事項

自らの森林を適切に経営管理するための責務があることを森林所有者に対し明確に発信するとともに、森林所有者自らが森林の経営管理を実行することができない場合には、新たな森林管理システム（図3）により、市は森林所有者から経営管理権を取得した上で、林業経営に適した森林については、ひなたのチカラ林業経営者に経営管理実施権を設定する。また、経営管理実施権の設定が困難な森林及び当該権利を設定するまでの間の森林については、森林環境譲与税を活用しつつ、市町村森林経営管理事業を実施することにより適切な森林の経営管理を図ることとする。

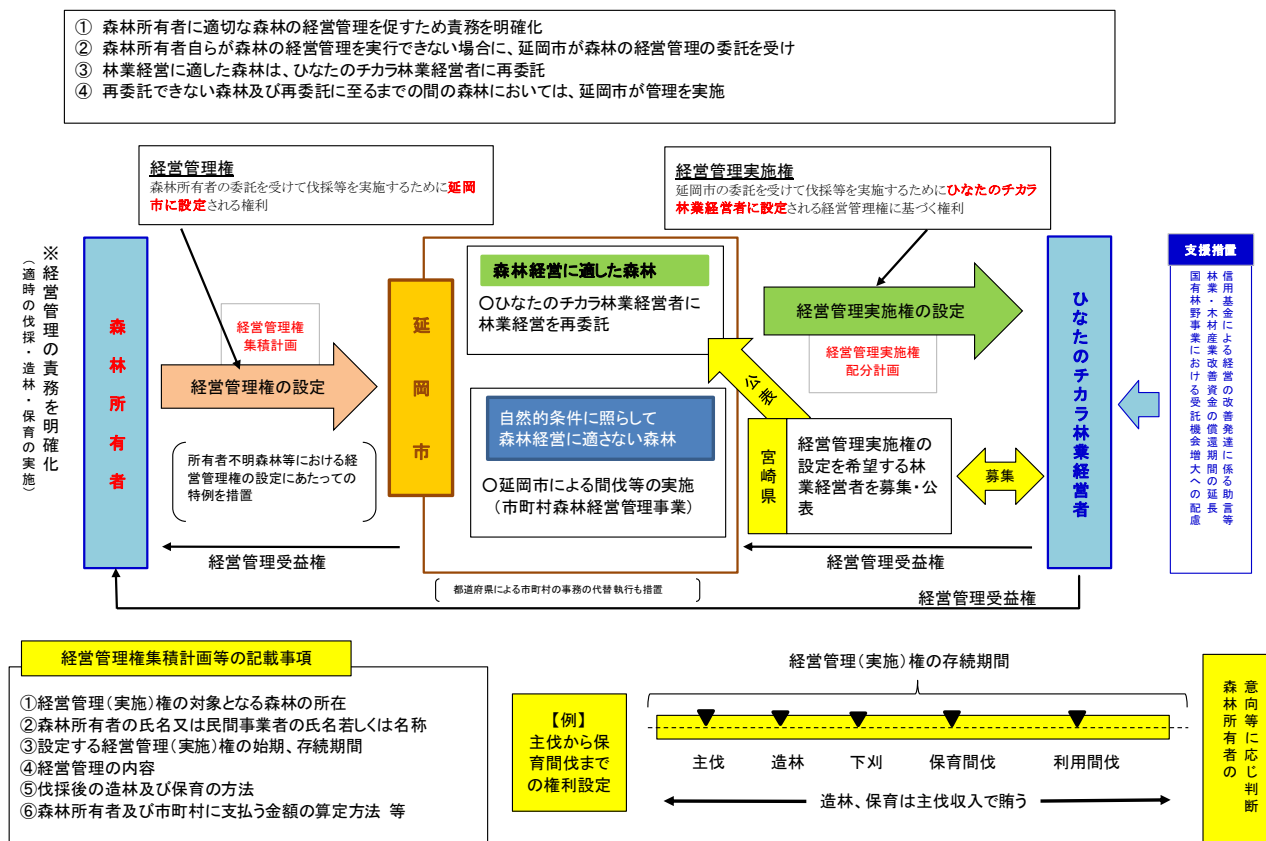
このため、令和3年2月に策定した延岡市森林経営管理制度推進方針に基づき、森林所有者の意向調査、森林現況調査、経営管理集積計画の作成等の作業を進めることとし、経営管理実施権が設定された森林については、森林経営計画への移行を推進するものとする。

なお、境界が不明確な地域については、リモートセンシング技術を用いた森林境界明確化事業により測量を実施し、林地台帳に反映することとする。

5 集落ぐるみで経営管理（集落林業）するための事項

集落の構成員や元構成員が所有する集落内の森林について集落の構成員自らが共同して一体的に森林経営管理を行うため、森林所有者情報、森林GISを活用して、集落内の森林経営計画を作成するとともに、森林経営を行うために必要な森林施業プランナーの養成、施業技術習得のための支援を行う。

森林経営管理法に基づく森林経営管理制度(新たな森林管理システム)の概要



(図3：新たな森林管理システム)

第6 森林施業の共同化の促進に関する事項

1 森林施業の共同化の促進に関する方針

流域を単位とした森林の集団化が可能な地域にあつては、市、森林組合等による地区集会等の開催、普及啓発活動等を通じて、森林施業の共同実施、路網の維持運営等を行うため森林所有者間の合意形成に努め、施業実施協定の締結等により施業の確実な実施の促進を図るものとする。

併せて、今後、間伐等の適切な整備及び保全を推進するための条件整備として、森林境界の明確化など森林管理の適正化を図るものとする。

2 施業実施協定の締結その他森林施業の共同化の促進方策

森林所有者に対して地区集会等の機会を通じて森林整備等の重要性を周知するとともに、林業経営への参加意欲の拡大を図り、施業の共同化への参画を促すこととする。

また、施業実施協定の締結を促進し、作業路網の計画的整備を図るとともに、造林、保育及び間伐等の森林施業をひなたのチカラ林業経営者等に委託することにより、計画的な森林施業を推進することとする。

3 共同して森林施業を実施する上で留意すべき事項

(1) 森林施業又は経営計画の共同作成者全員により、各年度当初に年次別の詳細な実施計画を作成して代表者による実施管理を行うこととし、間伐を中心として可能な限り共同で施業を実施する。若しくは、ひなたのチカラ林業経営者等への共同委託により実施することとする。

- (2) 作業路網その他の施設の維持運営は共同により実施することとする。
- (3) 共同作成者の一人が施業等の共同化につき遵守しないことにより、その者が他の共同作成者に不利益を被らせることがないよう、予め個々の共同作成者が果たすべき責務等を明らかにすることとする。
- (4) 共同作成者の合意の下、施業実施協定の締結に努めることとする。

4 その他必要な事項

民国連携による森林整備や路網の整備を推進するために、森林共同施業団地を次のとおり設定するものとする。

名 称	対象地		面積(ha)	施 業	備 考
延岡市祝子川森林共同施業団地	民	祝子川流域	1,053	間伐等	宮崎北部森林管理署、宮崎県、森林整備センター、日本製紙(株)
	国	祝子川流域	2,723	間伐等	

第7 作業路網その他森林の整備のために必要な施設の整備に関する事項

1 林道等の開設及び改良に関する基本的な考え方

木材の搬出を伴う間伐の実施や多用な森林への誘導等に必要な森林施業を効果的かつ効率的に実施するため、一般車両の走行を想定する「林道」、主として森林施業用の車両の走行を想定する「林業専用道」、集材や造材等の作業を行う林業機械の走行を想定する「森林作業道」のそれぞれの役割や所有者、管理者の責務等を踏まえた上で、整備等に関し必要な取組みを検討していくこととする。林道等路網の開設については、森林の整備及び保全、木材の生産及び流通を効果的かつ効率的に実施



(整備された林道)

するため、傾斜等の自然条件、事業量のまとまり等地域性に応じて、環境負荷の低減に配慮しつつ推進するものとする。

その際、高性能林業機械開発の進展状況等も考慮しながら、下表を目安に傾斜区分と導入を図る作業システムに応じた目指すべき路網整備の水準を踏まえつつ、林道(林業専用道を含む。以下同じ。)及び森林作業道を適切に組み合わせて整備(既設路網の改良を含む。)するものとする。

2 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムに関する事項

効率的な森林施業を推進するため、傾斜区分に応じた路網密度及び作業システムを構築することとし、下表を目安として林道（林業専用道を含む。以下同じ。）及び森林作業道を適切に組み合わせて整備するものとする。

区分	作業システム	路網密度 (m/ha)		
		基幹路網	細部路網	合計
緩傾斜地 (0° ~ 15°)	車両系作業システム	30以上	80以上	110以上
中傾斜地 (15° ~ 30°)	車両系作業システム	23以上	62以上	85以上
	架線系作業システム	23以上	2以上	25以上
急傾斜地 (30° ~ 35°)	車両系作業システム	16以上	44以上	60以上〈50〉
	架線系作業システム	16以上	4以上	20以上〈15〉
急峻地 (35° ~)	架線系作業システム	5以上	—	5以上

〈〉：急傾斜地の〈〉書きは、広葉樹の導入による針広混交林化など育成複層林へ誘導する森林における路網密度

3 路網の整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域に関する事項

持続可能な林業経営を実現するためには、路網整備と併せて合理的な林業機械作業システムの導入が重要であることから、傾斜、地形、地質、森林の生育状況や自然条件、森林の所有形態、事業体の規模、木材加工体制等の社会条件を踏まえ、区域を次のとおりとする。

路網整備等推進区域	面積 (ha)	開設予定路線	開設予定延長	対図番号	備考
延岡 219 ア	21.0	熊野江Ⅰ	1,300	02LF08	
延岡 125 イ	3.1	追内Ⅰ	1,000	02LF47	
延岡 111 カ	30.0	大峽	1,800	02LF35	
延岡 197 ア	10.0	行藤	1,000	02LF44	
延岡 219 ウ	20.0	熊野江Ⅱ	1,000	02LF18	
北浦 65 ア	8.8	白檜窪	1,500	02KF78	
北浦 15 オ	13.0	川内	1,500	02LF08	
延岡 129 ア	9.8	追内Ⅱ	300	02LF46	
延岡 83 ア	4.0	宮長	400	02LF24. 25	
延岡 183 オ	6.0	行藤Ⅰ	900	02LF43	
延岡 52 ア	18.0	妙	2,000	02LF33	
延岡 192 オ	7.8	行藤Ⅱ	400	02LF33	
延岡 134 ウ	7.8	下三輪	400	02LF64	
北方 17 エ	1.5	高畑	200	02LF51	
北方 17 ウ・カ	8.0	上崎	1,000	02LF51	
北方 58 ア	0.9	荒平	300	02LF40	
北方 104 ア	2.4	三ヶ村	300	02LF31	
北方 89 ア	2.2	楠平	200	02LF20	
北方 135 ア	2.0	横尾	300	02LF41	
北方 161 ア	2.0	大保下	300	02LF21	
北方 212 ウ	2.3	上ノ戸	400	02LF22	
北方 19 ア	7.7	横薮 1 号	800	02LF51	
北方 19 ア	7.6	横薮 2 号	300	02LF51	
北方 19 ア	7.6	横薮 3 号	300	02LF51	
北方 19 ア	7.6	横薮 4 号	200	02LF51	
北方 19 ア	7.6	横薮 5 号	400	02LF51	
北方 35 エ	6.0	田ノ木	700	02LF40. 50	
北方 131 ア	5.5	古屋敷	500	02LF42	
北方 148 オ	2.7	瀬ノ猿渡	300	02LF42	
北方 136 イ	18.0	横尾Ⅱ	800	02LF31	
北方 216 ア	6.5	二股	600	02LF23	
北方 210 ア	0.5	四ツ塚	500	02LF32	
北方 210 ア	12.0	四ツ塚 2 号	600	02LF32	
北方 41 ア	8.0	速日ノ峰	400	02LF50	
北方 35 ア	3.8	田ノ木Ⅱ	400	02LF50	
北方 29 イ	5.3	ウルシ藪	700	02LF51	

路網整備等推進区域	面積 (ha)	開設予定路線	開設予定延長(m)	対図番号	備考
北方 43 ア	2.4	楠八重	500	02LF50	
北方 149 ウ	3.4	倉ノ平	800	02LF32.42	
北方 203 ア	5.5	打越	500	02LF42	
北方 222 イ	3.0	鷹ノ巣	700	02LF33	
北川 175 ア	7.0	葛ヶ内山	500	02KF87	
北川 40 ウ	6.0	可愛	500	02LF25	
北川 187 イ	17.0	山ノ神山	500	02KF97	
北川 212 ア	6.0	水無山	500	02LF16	
北川 173 ウ	10.0	市ノ内山	500	02KF97	
北川 156 ア	6.5	桑ヶ内山	700	02KF67	
北川 168 ア	10.0	石渕山	800	02KF77	
北川 152 イ	13.0	野々内山	700	02KF67	
北川 44 ア	10.0	青須田	800	02LF15	
北川 180 ウ	3.5	尾平山	500	02KF96	
北浦 86 ア	1.5	山ノ口	250	02KF79	
北浦 92 ア	3.0	鉄ヶ谷	900	02KF89	
北浦 80 ア	1.3	大権田上	350	02KF79	
北浦 80 ア	3.6	大権田下	1,000	02KF79	
北浦 80 ア	8.5	大権田	1,000	02KF79	
北浦 87 イ	8.6	樋掛	1,000	02KF79	
北浦 85 イ	7.8	横瀬口	1,000	02KF79	
北浦 30 ア	8.9	太田	1,000	02KF88	
北浦 83 イ	7.2	丸山	1,000	02KF88	
延岡 79 ア.イ	21.5	宮ヶ谷	1,200	02LF14	
延岡 90 ア、87 ア	23.0	宮長	1,200	02LF24.25	
延岡 249 ア	17.9	圃場	1,200	02LF37	
延岡 236 ア	13.	長井谷	1,250	02LF27	
延岡 33 ア	9.3	小野	700	02LF64	
北方 99 エ	4.1	ジュモチ谷	300	02LF31	
北川 158 ア	7.9	門ノ内	1,500	02KF68	
北川 5 ア	35.0	祝子川	3,850	02LF03	
北浦 35 ア	8.8	走水	700	02KF88	
北浦 32 イ	12.4	日知ヶ矢内	750	02KF98	
北川 112 ア 113 ア	30.0	清蔵ヶ内	2,100	02KF95	

4 作業路網の整備に関する事項

(1) 基幹路網に関する事項

ア 基幹路網の作設にかかる留意点

林道の開設については、安全の確保、土壌の保全等を図るため、適切な規格・構造の路網の整備を図る観点から「林道規程」（昭和48年4月1日付け48林野道第107号林野庁長官通知）又は「林業専用道作設指針」（平成22年9月4日付22林整第602号林野庁長官通知）を基本として宮崎県が定める「宮崎県作業道等開設基準」（平成20年3月宮崎県環境森林部）等に則り、傾斜や降雨量等の自然条件、森林施業や木材搬出の事業量等地域の特性に応じて、環境負荷の低減に考慮し開設することとする。

なお、森林と地域内集落及び市場とを結ぶ等路網整備の骨格となる林道については、国・県・市道と連動し、移動時間の短縮等に見合った規格・構造となるよう配慮する。

イ 基幹路網の整備計画

基幹路網の開設に当たっては、自然条件や社会的条件が良好であり、将来にわたり育成単層林として維持する森林を主体に整備を加速させるなど、森林施業の優先順位に応じた整備を推進するものとする。



（開設中の林業専用道）

開設 /拡張	種類	区分	位置 (字、林班等)	路線名	延長(m)	箇所数	利用区域 面積 (ha)	前 半 5ヶ年の 計画箇所	対図 番号	備考
開設	自動車道	林道	1487	下三輪	700		46	○	02LF64	延岡
開設	自動車道	林道	1867	行藤・唐立	700		111		02LF43	延岡
開設	自動車道	林道	1751・ウ・エ、1767	黒仁田	1,800		177		02LF434	延岡
開設	自動車道	林道	1377・イ・ウ、1387・イ	青谷城	1,100		340		02LF74	延岡
開設	自動車道	林道	1111	大峽・桑平	400		507		02LF35	延岡
開設	自動車道	林道	2427・イ・ウ	新大谷	1,500		270		02LF26	延岡
開設	自動車道	林道	1357	津々良・小野	100		1,091		02LF74	延岡
開設	自動車道	林道	2577・イ	島浦	800		67		02LF29	延岡
開設	自動車道	林道	707	新檜山	500		99		02LF14	延岡
開設	自動車道	林道	1931	矢櫃	100		158		02LF52	北方
開設	自動車道	林道	931	石橋山	100		173		02LF31	北方
開設	自動車道	林道	1577	大保下	100		30		02LF21	北方
開設	自動車道	林道	1557	大中尾・石上	100		147		02LF22	北方
開設	自動車道	林道	197	上崎	100		290		02LF51	北方
開設	自動車道	林道	697、707・イ、717、 721、737、747・イ・ ウ、757・ウ・エ	下鹿川・上鹿川	200		601	○	02LF10.20 .21	北方
開設	自動車道	林道	937、941、951	須久の内・土々呂	400		417		02KF88.89	北浦
開設	自動車道	林道	947、941、951	赤木・土々呂	3,700		511	○	02KF88.89	北浦
開設	自動車道	林道	361、377	向板ヶ平	500		47		02KF88.89	北浦
開設	自動車道	林道	807	明石	1,100		188		02KF79	北浦
開設	自動車道	林道	1877	山の神	100		171		02KF97	北川
開設	自動車道	林道	51エ	森谷	1,800		120		02LF15	北川
開設	自動車道	林道	2001	深瀬	600		73		02LF06	北川
開設	自動車道	林道	651、647	千田ヶ久保	2,000		83		02LF04.05	北川
開設	自動車道	林道	2207・エ	栗道	800		38		02LF16	北川
開設	自動車道	林道	967	黒内	400		71		02KF83	北川
開設	自動車道	林道	567・ウ	木口谷	1,100		224		02LF15	北川
開設	自動車道	林道	1917・ウ	猪ノ島・惣別当	300		1,004		02KF98	北川
開設	自動車道	林道	1197	替崎	500		51		02LF05	北川
開設	自動車道	林道	281、297、311、32 7・イ、337、397・イ、 407・エ	可愛岳	9,400		507	○	02LF25.35	北川
開設	自動車道	林道	1287、2177	六条・田の原	100		163		02LF06	北川
開設	自動車道	林道	347・イ・ウ	二本杉	1,600		93		02LF26	北川
開設	自動車道	林道専用道	191・ウ、187・エ	伊形	2000		115	○	02LF74	延岡
開設	自動車道	林道専用道	1347・イ・ウ、337・ウ	小野	2000		130	○	02LF64	延岡
開設	自動車道	林道専用道	717	岡富山Ⅰ	500		67	○	02LF44	延岡
開設	自動車道	林道専用道	717・イ	岡富山Ⅱ	3,000		108	○	02LF44	延岡
開設	自動車道	林道専用道	817、827、837、84 7、857	宮ヶ谷	7,000		128		02LF15.24 .25	延岡
開設	自動車道	林道専用道	647、661、657	白樺窪	500		19		02KF68.78	北浦

区分	位置 (字、林班等)	路線名	延長(m)	箇所数	利用区域 面積 (ha)	前 半 5ヶ年の 計画箇所	対図 番号	備考
林道	71イ、207ウ・エ、208 ウ、209イ・ウ・エ・オ・カ	小峰	4,100		220		02LF44.54	延岡
林道	184イ・ウ、185フ、186 ア・イ	行藤・唐立	1,800	2	111		02LF43	延岡
林道	198イ	時広	1,600	2	161		02LF53	延岡
林道	252フ、253カ	甫場	2,000	10	70		02LF37	延岡
林道	123フ・イ・ウ、247フ・オ	追内・浦城	10,300	10	229		02LF37.46	延岡
林道	125フ	本谷	3,000	5	120		02LF47	延岡
林道	241フ・イ	大谷	700	2	107		02LF27	延岡
林道	69フ、70フ	檜山	2,000	1	838		02LF14	延岡
林道	241フ、242フ	新大谷	2,400	1	136		02LF27	延岡
林道	137フ	青谷城	4,800	1	281		02LF74	延岡
林道	72イ	岡富山	5,200	1	371		02LF44	延岡
林道	148オ・カ	下三輪	1,500	1	48		02LF64	延岡
林道	63フ、68フ	畑	2,300	1	78		02LF24	延岡
林道	72イ	鹿狩瀬行藤	2,400		95	○	02LF44	延岡
林道	230ア・イ、 231ア、232ア、 233ア・イ・ウ	須美江	6,500		239		02LF17.27	延岡
林道	131フ	下水流	500		48		02LF42	北方
林道	153フ、154フ、155フ	石上	500		33		02LF22	北方
林道	35フ・イ、39イ、40フ	早中		5	177		02LF41.50	北方
林道	33フ、34フ・イ、35フ・ イ・ウ、37イ、38フ、39 エ・オ、42フ、43フ	早中(支)	6,100		148		02LF40.41	北方
林道	158フ、159フ・イ、161 フ、162フ、160フ	大保下・猪ノ内		15	495		02LF21	北方
林道	168イ	渡瀬	1,000		682		02LF21	北方
林道	15フ・イ・ウ、17イ・ウ、 18イ	二子山東		5	538		02LF60.61 .62	北方
林道	189ウ	板ヶ平	500		41		02LF42	北方
林道	108フ、110エ、111フ・ イ、112フ、114ウ、 115イ	蔵田・下鹿川	4,500		1,146	○	02LF21.31 .41.51	北方
林道	31イ・ウ	早日渡		5	242		02LF41.51	北方
林道	135ウ、136フ、イ	岩屋ヶ平	2,600		58		02LF31	北方
林道	139フ、140フ、144 フ、156フ、157フ	上中尾	2,700		123		02LF21.31	北方
林道	157フ、158フ	大保下	1,500		30		02LF21	北方
林道	189イ・ウ、200イ、201 フ・イ	矢櫃	1,600		158		02LF42.52	北方
林道	20イ・ウ・エ・オ・カ、21フ	上崎	2,100	20	290		02LF51	北方
林道	110イ・ウ・エ、111フ	内の口	2,100		61		02LF31	北方
林道	92ウ、106フ、107フ・イ	石橋山	2,900	5	173		02LF21.31	北方
林道	115フ・イ	木落	3,200	5	77		02LF21.32	北方
林道	69フ、68フ、67イ	荒内	700		123		02LF10.11	北方
林道	61フ、60イ	穂の内	900	6	285		02KF78	北浦
林道	47フ	木和田内	900	2	147		02KF88	北浦

区分	位置 (字、林班等)	路線名	延長(m)	箇所数	利用区域 面積 (ha)	前 半 5 年 の 計 画 箇 所	対図 番号	備考
林道	76ㄱ、78ㄱ、75ㄱ、75ㄱ、 75ㄱ、80ㄱ	塩見	1,100		593		02KF69.79	北浦
林道	11ㄱ、11ㄱ	大谷	1,500		77		02LF09.19	北浦
林道	56ㄱ、57ㄱ	仏越	1,700	2	360		02KF78	北浦
林道	44ㄱ、45ㄱ、48ㄱ、49ㄱ、 50ㄱ、56ㄱ、57ㄱ、61ㄱ、 62ㄱ、63ㄱ、64ㄱ、68ㄱ、 69ㄱ、70ㄱ	下塚・大井	11,500		1,383		02KF68.69 78.87	北浦
林道	94ㄱ、94ㄱ、95ㄱ	赤木・土々呂	10,700		511		02KF88.89	北浦
林道	183ㄱ・イ	下葛	500	1	185		02KF97	北川
林道	171ㄱ	下塚	700	3	226		02KF77	北川
林道	51ㄱ	森谷	400		120		02LF15	北川
林道	200ㄱ	深瀬	500		73		02LF06	北川
林道	9ㄱ、10ㄱ・エ、11ㄱ	大野原	1,300	1	298		02LF07	北川
林道	103ㄱ、104ㄱ、106、 108、109ㄱ、110ㄱ、 111、112ㄱ、138ㄱ・ イ・ウ	鑑・上赤	6,700		1,040	○	02KF84.85 95	北川
林道	43ㄱ	日の谷	500	1	255		02LF15	北川
林道	50ㄱ、51ㄱ、61ㄱ、62 イ・ウ、63ㄱ、64ㄱ、 69ㄱ、73ㄱ、74ㄱ、77 ㄱ、78ㄱ	俵野・黒原	9,000	3	1,860	○	02LF04.14 15	北川
林道	130ㄱ	万地	200		95		02LF06	北川
林道	99ㄱ・ウ	木戸屋	500		120		02KF83.84	北川
林道	147ㄱ、168ㄱ・ウ	矢ヶ内		1	56		02KF76.77	北川
林道	152ㄱ	陸地(支)	1,000		219		02KF67	北川
林道	81ㄱ	竜子	1,500		272		02KF94	北川
林道	220ㄱ・イ・ウ・エ、 224ㄱ、225ㄱ、227ㄱ	川坂・八倉	2,000		217		02LF16	北川
林道	84ㄱ・イ、85ㄱ	竜子・下祝子	1,800		1,399		02KF94	北川
林道	187ㄱ	山の神	1,000		171		02KF97	北川
林道	239ㄱ・イ、240ㄱ	長谷	1,800		298		02LF26.36	北川
林道	96ㄱ	黒内	200		71		02KF83	北川
林道	151ㄱ	若藪	1,000		281		02KF67	北川
林道	89ㄱ	下赤・祝子川	400		1,181		02KF94	北川
林道	201ㄱ、202ㄱ・イ	橋ヶ谷	1,500		163		02LF06	北川
林業専用道	134ㄱ・イ・ウ、33ㄱ・ウ	小野	300		130	○	02LF64	延岡
林業専用道	71ㄱ	岡富山Ⅰ	300		67	○	02LF44	延岡
林業専用道	71ㄱ・イ	岡富山Ⅱ	300		108	○	02LF44	延岡

ウ 基幹路網の維持管理に関する事項

「森林環境保全整備事業実施要領」（平成14年3月2日付け13林整第885号林野庁長官通知）及び「民有林林道台帳について」（平成8年5月16日付け8林野基第158号林野庁長官通知）等に基づき台帳を作成して、適切に維持・管理するものとする。

(2) 細部路網に関する事項

ア 細部路網の作設に係る留意点

森林作業道の整備は、生産性の向上による効率的な森林経営の改善を図る上で基礎となる基盤施設であるとともに、森林空間の総合的な利用の推進、山村地域における産業の振興、生活環境の整備の上でも重要な役割を果たしている。また、林業機械の導入による労働強度の軽減のためにも重要である。

これまでも、本市では、所有形態が小規模である森林について、きめ細かな森林施業

を実施するため、基幹道からの支線としての作業路開設を推進してきたところである。

今後も、国が定める「森林作業道作設指針」（平成 22 年 11 月 17 日付け 22 林整第 656 号林野庁長官通知）を基本とし、宮崎県が定める「宮崎県作業道等開設基準」（平成 20 年 3 月宮崎県環境森林部）等に基づき、路線の選定や適正路面勾配の検討を十分に行うとともに、工事に際しては法面整形の徹底に留意しながら、必要に応じて木柵工の設置や種子吹付けを行うなど、土砂流出防止や河川の汚濁防止に万全を期し、環境に配慮した整備を推進することとする。

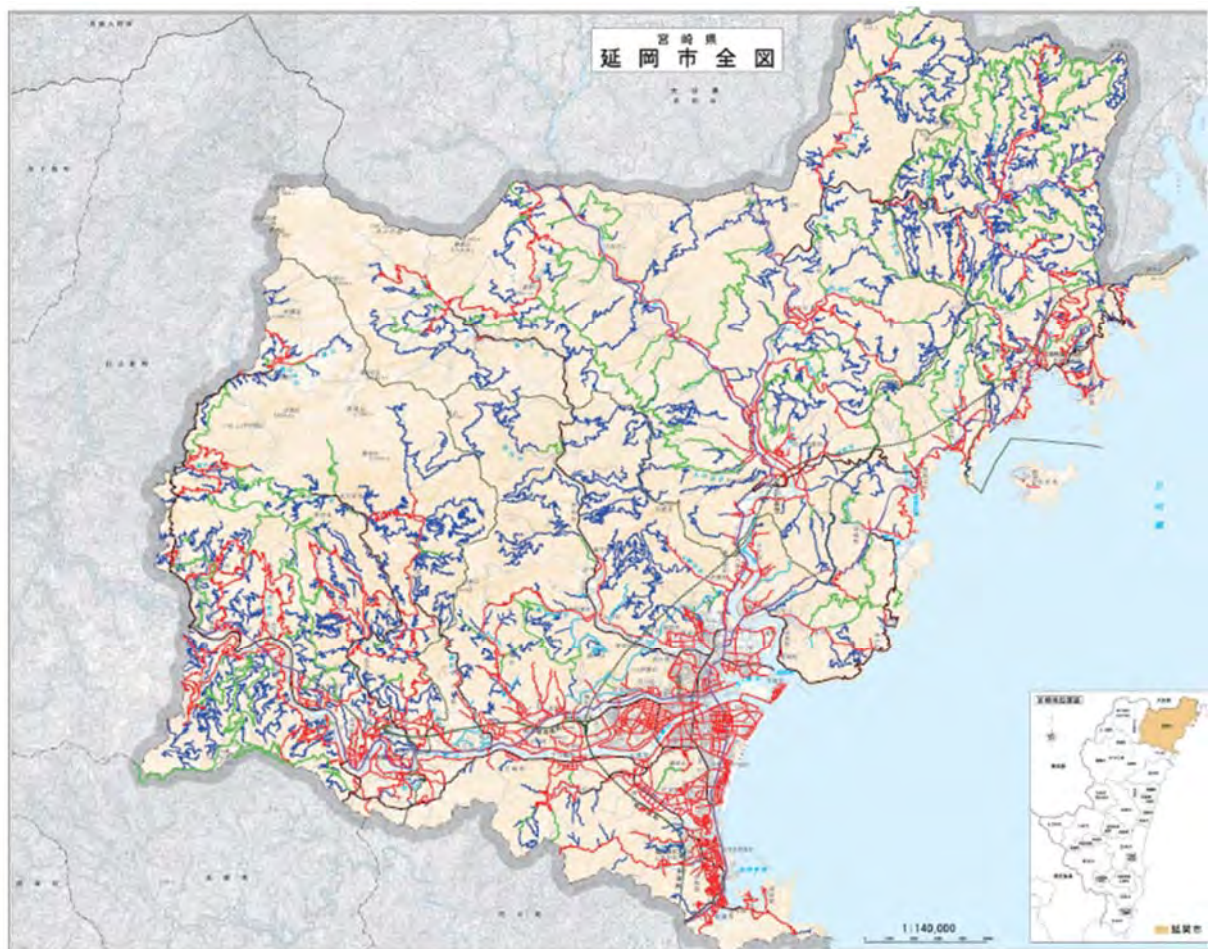
イ 細部路網の維持管理に関する事項

「森林作業道作設指針」（平成 22 年 11 月 17 日付け 22 林整第 656 号林野庁長官通知）や「宮崎県作業道等開設基準」（平成 20 年 3 月宮崎県環境森林部）に基づき、森林作業道が継続的に利用できるようにするとともに、土砂の流出対策や河川の汚濁防止のため適切に維持・管理するものとする。

(3) その他必要な事項

素材生産コストの低減に必要な山土場、中間土場、高性能林業機械等保管庫等を整備する。

また、効率的な林道、林業専用道、森林作業道の開設計画に役立つ国道・県道・市道・林道・作業道を記載した路網図を作成する。



— 延岡市管内の路網図 —

第8 その他必要な事項

1 林業に従事する者の養成・確保及び自伐型林業の育成に関する事項

本市の林家の大部分は経営規模が5ha未満の零細所有者であることから、林業経営の採算性を維持することは困難である場合が多い。

従って、森林の施業又は経営の長期委託や、森林施業の共同化・合理化を進めるとともに、林道、森林作業道等の路網整備による生産コストの低減及び労働強度の低減を図ることとする。

特に、伐採時期を迎える森林においては、高性能林業機械を積極的に導入し、作業の合理化及び効率化に努めるとともに、森林組合の作業班を拡充することにより、各種事業の受委託の拡大及び労務班の通年雇用の実現と福利厚生の実現を図ることとする。また、森林所有者から森林整備等の委託を受け施業を行う自伐型林業の取組みを支援することで、森林が適正に管理され、長伐期多間伐施業が進み、多様な森林の造成を図ることができる。また、コミュニティ林業推進事業により研修の取組みを支援することで、林業就業への誘導を図り林業の担い手確保へつなげる。

(1) 林業事業体の育成強化

森林組合や素材生産業者等の林業事業体を育成強化するため、「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づき意欲のある事業体の認定を行うとともに、認定した事業体に対して宮崎県林業労働機械化センターによる高性能林業機械の貸与や事業量の安定的確保、生産性の向上などの事業合理化や雇用改善等を推進するものとする。また、社会保険・林業退職金共済制度等の加入促進など雇用環境の改善を図るとともに、施業プランナーの研修、各種林業シンポジウムを通して林業従事者個々の能力を高めることとする。また、森林組合と林業事業体の事業連携や林業事業体の法人化・協業化の促進を通じた経営基盤及び経営力の強化等により、長期にわたり持続的な経営を実現できる林業事業体を育成する。

(2) 林業従事者の養成・確保

林業に従事して3年以内の新規就業者に対する所得支援や「みやざき林業大学校」の研修生が研修後、延岡市内の林業事業体に就業できる環境づくりに努めるとともに、高性能林業機械等の操作に必要な特別教育受講費の一部助成を通して林業従事者の育成・確保を促すこととする。さらに、製材業の担い手が必要であることから、伐採業者以外の方々への支援も積極的に取り組む。また、Webを使ったマッチングシステムの構築、林業技能研修への積極的な参加を促し、林業従事者の技能・技術の向上を図るとともに地域の実態に応じた林業への新規参入・起業など林業従事者の裾野の拡大、女性等の活躍・定着に取り組む。また、林業従事者の通年雇用化、技能等の客観的な評価の促進等により、他産業並みの所得水準の確保に向けて取り組むとともに、現場作業の省力化や効率化、軽量化に向けた資機材導入等や労働安全対策の強化等による労働環境の改善に努めるものとする。

(3) 林業後継者の育成

林家の子弟等が林業に魅力を感じ得る就業環境を整備するとともに、林業研究グループの支援等により林業後継者の育成を図るものとする。また、60代の就労可能な人材を林業後継者と位置づけ、就労機会の場を創出するものとする。

2 森林施業の合理化を図るために必要な機械の導入の促進に関する事項

本市の人工林の約78%が主伐期を迎える中、林業従事者の減少や高齢化が進行していることから生産性の向上と労働環境の改善を図ることが必要となっている。このため、林業機械の導入及びその有効活用を更に進めるため、国・県の補助事業や市単独事業の活用により、適正な林業機械の導入を支援することとする。

なお、高性能林業機械の使用にあたっては、特に林地の保全に留意するとともに、宮崎県が作成した「環境に配慮した効率的な高性能林業機械の作業システム指針」（平成20年3月宮崎県環境森林部）等を参考に施業することとする。

作業の種類		現 状	将 来
伐 倒 集 材 造 材	五ヶ瀬川流域 (緩傾斜)	チェーンソー、ハーベスタ、スイングヤーダ、グラップルソー、プロセッサ、フォワーダ	チェーンソー、ハーベスタ、グラップルソー、ロングリーチグラップルソー、プロセッサ、フォワーダ
	五ヶ瀬川流域 (急傾斜)	チェーンソー、スイングヤーダ、グラップルソー、プロセッサ	チェーンソー、ハーベスタ、グラップルソー、ロングリーチグラップルソー、プロセッサ、フォワーダ
造 林 保育等	地こしらえ 下刈り	チェーンソー、刈り払い機	チェーンソー、刈り払い機
	除伐 間伐	チェーンソー、刈り払い機、ハーベスタ、スイングヤーダ、グラップルソー、プロセッサ	チェーンソー、刈り払い機、ハーベスタ、スイングヤーダ、グラップルソー、プロセッサ、フォワーダ

3 林産物の利用の促進のために必要な施設の整備に関する事項

(1) 木材の利用促進

県北部に存する延岡地区森林組合木材流通センター、県森連細島木材流通センター等への安定的な出荷と併せ、製材所や他の納入先のニーズを的確にとらえた流通システムを構築し、主伐材及び間伐材の安定的供給体制づくりを推進するとともに、木質バイオマス発電施設や大型製材工場の木材需要に応えるため、伐倒・集材・造材までの作業及び中間土場の活用による効率化を図るものとする。



(製材工場)

製材工場等の加工施設については、急速に多様化する消費者ニーズ等に対応していく。また、再造林を推進するためにも林地残材を搬出し、バイオマスに有効に利用していく。林地残材を残さない仕組みづくりを検討し製材機能の精度向上や効率化・大規模化を支援することとする。

また、公共用施設等への木材利用を図るとともに、森林環境譲与税の使途として森林の少ない関東・関西圏の大都市が木材利用を推進することから、延岡産木材の利用についてアプローチしながら川上・川中・川下をつなぐサプライチェーンの構築を進めることとする。

更に、F S C、S G E C等の森林認証制度を導入した場合の流通や木材価格の動向を注視するとともに、J A S認証材の公共施設への活用を促すため、庁内各部局と連携を図るものとする。

(2) 特用林産物の生産・消費拡大

特用林産物の主力となるシイタケ、タケノコ、シキミの生産性の向上や安定供給を図るため、生産・出荷施設の整備や土壌改良等の支援を行うこととする。また、「金の筍」「このはなしいたけ」の地域ブランドの推進を図るとともに、消費者の安心・安全志向に応えるべく、県、市、ＪＡ、生産者等が連携し、品質の向上や販路を拡大することとする。

更に、「金の筍」の生産量の確保と併せ、新規生産者が栽培トレーニングのできる竹林を整備することで、後継者の確保と技術の習得を支援するものとする。



(金の筍)

Ⅲ 森林植生の保護に関する事項

第１ 鳥獣害の防止に関する事項

1 鳥獣害防止森林区域及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法

(1) 区域の設定

「鳥獣害防止森林区域の設定に関する基準について」（平成 28 年 10 月 20 日付け 28 林整研第 180 号林野庁長官通知）に基づき、シカ等の対象鳥獣の別に、当該対象鳥獣により、被害を受けている森林及び被害の生ずるおそれのある森林等について、その被害の状況や当該対象鳥獣の生息状況を把握できるデータに基づき、林班を単位として下表のとおり定めるものとする。

対象鳥獣の種類	森林の区域	林班番号	面積（h a）
ニホンジカ	旧延岡地域	1～257（全域）	18,897.45
	北方地域	1～228（全域）	13,419.55
	北浦地域	1～102（全域）	9,177.93
	北川地域	1～242（全域）	22,528.55
	計		64,023.48

(2) 鳥獣害の防止の方法

鳥獣被害の防止の方法について、防護柵等の設置や生息頭数の削減を図るため、ＩＣＴを活用して、効率的かつ効果的な対策を講じる。また、対象鳥獣別に、被害の防止に効果を有すると考えられる方法により、次のア及びイに掲げる鳥獣害防止対策を地域の実情に応じ実施するものとする。その際、対象鳥獣がシカの場合は、その被害対策は特に人工植栽が予定されている森林を中心に行うものとする。

なお、アに掲げる防護柵については改良等を行いながら被害防止効果の発揮に努めるとともに、鳥獣害防止対策の実施に当たっては、鳥獣保護管理施策や農業被害対策等と連携・調整を図るものとする。

ア 植栽木の保護措置

集落単位や森林の集約化により鹿ネットなどの防護柵の設置及び維持管理を一体的に行い、幼齢木保護具の設置、剥皮防止帯の設置も合わせて行う。

イ 捕獲

自衛策としてわな設置（囲いわな、箱わな等）の普及を図るため、狩猟免許費用の一部を支援するとともに、ICTを活用し効果的なワナを設置する。また、県境を越えた一斉捕獲の実施により捕獲活動を集中し適正頭数までの削減に努めることとする。

2 鳥獣による食害対策

再造林（植林）後の鳥獣による食害被害を軽減するため、有害捕獲体制の強化や侵入防護柵の整備に取り組む。また、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、国の研究機関や民間団体・企業等と連携して、「のべおか里山塾」を開講し、地域を挙げた鳥獣対策への理解と実践力を深めるとともに鳥獣被害対策に従事する人材の育成に取組み、鳥獣による食害被害の軽減を図る。

3 その他必要な事項

鳥獣害防止森林区域においては、必要に応じて、森林施業を行う林業事業者や森林所有者等からの情報収集や巡回調査などにより、県や関係機関と連携して鳥獣害防止対策の実施状況を確認する。また、狩猟者の高齢化により狩猟者が減少していることから、新規参入者の免許取得への支援をおこない人材確保に努めることとする。

第2 森林病虫害の駆除及び予防、火災の予防その他の森林の保護に関する事項

1 森林病虫害等の駆除及び予防の方法

(1) 森林病虫害等の駆除、予防の方針及び方法

保安林等公益的機能の高い森林について重点的に森林の巡視を実施し、森林病虫害等による被害の未然防止、早期発見及び早期駆除に努める。

特に、松くい虫による被害については、高度公益機能森林において、空中散布、地上散布、伐倒駆除及び樹幹注入により防除に努めることとする。また、抵抗性松の植栽や樹種転換を推進することとする。

ヤマダカレハによる椎茸原木の被害対策については、情報把握や駆除による被害拡大防止に努めるものとする。

(2) その他

国・県の駆除及び予防の支援措置を活用する。



（松くい虫の薬剤空中散布）

2 鳥獣による森林被害対策の方法

Ⅲの第1において定める対象鳥獣以外の鳥獣による森林被害については、被害の実態を把握し、被害対策を講じるとともに被害跡地の復旧に努めるものとする。

また、宮崎県第二種特定鳥獣害管理計画に基づいて、個体数管理等を行うものとする。

3 林野火災の予防の方法

林野火災については、山火事防止パレード等による市民への発生防止の啓発活動や森林巡視等を適宜実施するとともに県、消防署との連携強化を図ることとする。

4 森林病虫害の駆除等のための火入れを実施する場合の留意事項

「延岡市火入れに関する条例」に基づき申請し、許可の要件を満たした場合に許可する。

火入れを実施する場合は、火入れを行う日の気象状況を判断して消火器具の準備、防火帯の設置、消防団及び火入従事者等の防火体制を確保した上で実施することとする。

5 その他必要な事項

(1) 病虫害の被害を受けている等の理由により伐採を促進すべき森林

病虫害の被害を受けている等の理由により伐採を促進すべき林分は、風害、病虫害等の被害を受けているもの又は老齢林等のため被害を受けやすいものであって、地理的条件からみて伐採が容易なものについて、次のとおり定める。

ただし、病虫害の蔓延のために緊急に伐倒駆除する必要がある場合には、ここに定める森林以外であっても、伐採を促進することにつき、市長が個別に判断するものとする。

区域	伐採を促進すべき理由	備 考
須美江町 熊野江町	平成 20 年から松くい虫薬剤空中散布を中止した松林及び散布地内の松の被害木について、健全な松林に悪影響を与えることから伐採を促進する。	

IV 森林の保健機能の増進に関する事項

森林の保健機能の増進を図るため、次に掲げる森林について次に示す事項に従って適切な施業と施設の整備を一体として推進することとする。

1 保健機能森林の区域

岡富山区域等の森林のうち次に掲げる森林について、森林浴・自然観察キャンプ・エコツアーリズム等に適した森林として広く利用に供するための適切な施業を推進することとする。

区域名	森林の所在		森林の林種別面積(ha)						備考
	位置	林小班	合計	人工林	天然林	無立木地	竹林	その他	
岡富山	岡富山	72 7 2~4	99.25	44.21	40.29	14.75			
愛宕山	愛宕山	35 1 10 3510-1	28.58	2.00	26.58				
熊野江町	鏡 山	225 1 1 225 1 2	47.43	34.62	12.81				

2 保健機能森林の区域内の森林における伐採、造林、保育その他の施業の方法

保健機能森林の区域内の森林においては、自然環境の保全等に配慮しつつ、森林の特色を踏まえて多様な施業を積極的に実施することとする。

特に、岡富山区域については、次に示す方法に従って積極的な施業を実施するものとする。

区 域 名	施 業 の 方 法
岡 富 山	① 伐採の方法
	ア 保健機能森林については、施設の設置に伴う水源涵養、国土保全等の機能の低下を補完し、森林の保健機能を一層増進させるため、原則として皆伐以外の方法とすること。
	イ 択伐に当たっては、伐採木が形質良好な優良木に偏らないこととし、多様な樹種、林齢からなる森林に誘導するよう配慮することとする。なお、この場合において、カエデ・サクラ等の四季の色調に変化を与える樹木の積極的な保残に努める。
	ウ 複層林施業を行う林分については、適切な林内照度を確保するため必要に応じて受光伐を行う。
	エ 皆伐に当たっては、原則としてⅡの第４の１の別表３の伐期齢以上の林分を対象に極力小面積とし、かつ、伐採箇所の分散を図るとともに、森林の四季の色調に変化を与える樹木は保残するよう努める。
	② 造林の方法
	ア 択伐を行った林分については、必要に応じて植込み等の更新補助作業を行う。 なお、植え込みに当たっては、サクラ・ケヤキ等の広葉樹の導入を図る。
	イ 複層林の植栽に当たっては、林内照度との関係から、スギ・ヒノキ等を主体とするが、場合によっては、サクラ・ケヤキ等の広葉樹の導入を図る。
	ウ 皆伐林分については、原則として伐採後２年以内に更新を完了する。
	エ ぼう芽更新を行う林分については、必要に応じて芽かき等を行い、後継樹の速やかな育成を図る。
	③ 保育の方法
	ア 複層林及び植込みを行った林分については、植栽木の生育を図るため下刈り、つる切り及び除伐等の保育を適切に行う。なお、複層林については、適切な林内照度を確保するため上木の枝打ち等を積極的に行う。
	イ 施設周辺で林木と身近に接して利用する箇所については、開放的で親しみやすい印象を与える必要があり、森林内の明るさを維持するよう、強度の除間伐、枝打ち、林床の整理を積極的に行う。
	④ その他の方法
	法令等により、伐期齢、伐採方法について制限を設けられている場合は当該法令に定めるところによるほか、保健機能の増進に配慮した施業を行うこととする。

3 保健機能森林の区域内における森林保健施設の整備

保健機能森林の岡富山区域内においては、次に示すところに従い、適正な施設の整備を推進するものとする。

(1) 森林保健施設の整備

区域名	施 設 の 整 備
岡 富 山	整備することが望ましい施設のタイプ及び主な施設の種類
	①施設タイプ
	森林ふれあい自然休養施設
	②主な施設の種類
	管理道、遊歩道、休憩舎、展望台その他必要な施設

(2) 立木の期待平均樹高

区域名	樹 種	期待平均樹高	備 考
岡富山	その他広葉樹	18 m	

注) その立木が標準伐期齢に達したときに期待される樹高
(すでに標準伐期齢に達している立木にあってはその樹高)

4 その他必要な事項

- (1) 森林の巡視、施設の保守点検等日常の管理を通じて、森林の保護及び施設の維持管理並びにその体制の確立を図る。
- (2) 利用者の防火意識の啓発等によって、林野火災の未然防止に努める。
- (3) 林道等を使用する場合は、安全施設の設置等利用者の安全確保に努める。
- (4) 山地災害の未然防止等の国土保全を図るため、必要に応じて治山施設等の整備に努める。

V その他森林の整備のために必要な事項

1 森林経営計画の作成に関する事項

自然的条件や林業生産基盤の整備状況及び地域性を踏まえた森林の団地化を行い、効率的な森林施業計画や路網整備計画を策定することとする。また、森林所有者等との話し合い活動を積極的に行うことで、森林経営計画の参加へ誘導するとともに、森林境界が不明瞭な地域においては境界の明確化活動を推進することとする。

(1) 森林経営計画の記載内容に関する事項

森林経営計画の作成にあたり、次に掲げる事項について適正に計画するよう指導する。

ア IIの第2の3の植栽によらなければ的確な更新が困難な森林における主伐後の植栽

イ IIの第4の公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

ウ IIの第5の3の森林の経営の受託等を実施する上で留意すべき事項及びIIの第6の3の共同して森林施業を実施する上で留意すべき事項

エ IIIの森林の保護に関する事項

森林経営管理実施権が設定された森林については、経営管理実施権配分計画が公告された後、ひなたのチカラ林業経営者は、当該森林について森林経営計画の作成に努めるものとする。

(2) 森林法施行規則第33条第1号ロの規定に基づく区域

自然的条件や路網の整備状況をからみて、造林、保育、伐採及び木材の搬出を一体として効率的に行うことができる区域を下表及び図4のとおり設定する。

【旧延岡地域】

番 号	区域名称	林班番号	区域面積(ha)
1	南 浦	218～257	3,475.90
2	東 海	117～133	1,631.46
3	祝 子	99～116	1,606.49
4	宮 長	73～98	1,952.68
5	桧 山	45～70	1,998.37
6	岡 富	38～44、71～72、207～212	1,459.83
7	南 方	166～206、215～217	2,453.50
8	三 輪	134～165	1,773.04
9	恒 富	31～37	725.09
10	伊 形	10～11、13～29	1,252.82
11	土々呂	1～9	478.81
計			18,807.99

【北方地域】

番 号	区域名称	林班番号	区域面積
1	早中・上崎	1～61	2,847.60
2	鹿 川	62～81	1,842.82
3	三ヶ村・蔵田	82～127	3,038.72
4	板ヶ平・曾木	128～202	4,199.19
5	二股・唐立	203～228	1,491.22
計			13,419.55

【北浦地域】

番 号	区域名称	林班番号	区域面積(ha)
1	古江・歌糸	1～35、96～102	3,878.86
2	梅木・下塚	36～65、83、94～95	2,437.83
3	大井・市尾内	66～82、84～93	2,861.24
計			9,177.93

【北川地域】

番 号	区域名称	林班番号	区域面積(ha)
1	松 葉	140～178	4,588.01
2	小 川	127～139、179～223	5,333.84
3	本 川	1～27、51～126	9,371.42
4	長 井	28～50、224～242	3,235.28
計			22,528.55

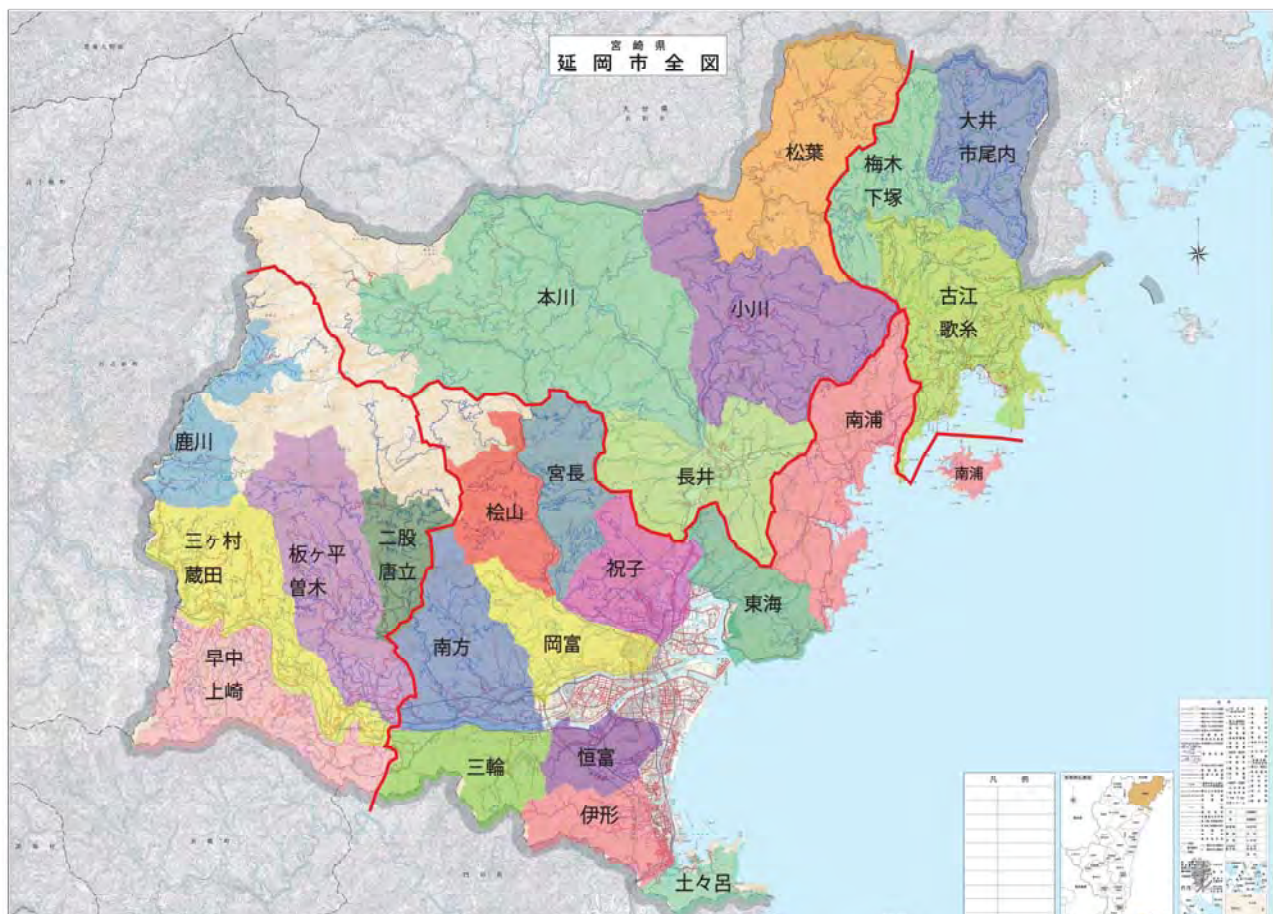


図4 森林経営計画の区域計画エリア

2 生活環境の整備に関する事項

東九州自動車道の開通により人的交流や物流が活性化していることから、県道や市道とともにその役割を補完する林道の整備・管理を充実することとする。

3 森林整備を通じた地域振興に関する事項

山間地域に住む市民は、地域ごとに伝承された神楽などの歴史や文化を継承し、地域の絆を深めながら地域に根ざした活動を展開している。

一方、市民生活が多様化する中で、森林のもつ多様な機能が理解され、ボランティアが参加する植樹活動やみどりの少年団の学習の場として森林が利用されている。特に、毎年3月中旬に開催される延岡アースデイでは、地球環境の保全を目的として植樹活動や間伐・下刈りなどの環境活動が実施され、多くの市民が参加している。

今後も、既存事業を継続しながら、多くの市民が森林をフィールドとしてふれ合える機会を創出し、地域の活性化に努めることとする。また、南方地域や黒岩地域における地域の特色を活かした地域振興策としての施設整備（交流施設整備）等においても延岡産材を利用し、木材利用の更なる促進と延岡産材のブランド力向上を図る。

4 住民参加による森林の整備に関する事項

(1) 地域住民参加による取組みに関する事項

ア 小・中・高校の在学中に森林体験学習が行えるよう、体験の場となる森林を活用し、指導者や年齢層に応じたプログラム開発など受入体制の整備を推進することとする。

イ 高齢者の健康づくりや生涯学習に資する森林体験の機会を提供できるよう、バリアフリーに配慮した森林や歩道等を整備し、福祉分野と連携して受入体制の整備を推進することとする。

ウ 森林ボランティア活動や里山林の保全・利用活動に多くの住民が参加できるよう、対象森林の拡大や活動の高度化に向けた人材育成などの条件整備を推進するとともに、市の木である「くろがねもち」を広く市民に周知することとする。

(2) 上下流連携による取組みに関する事項

本市を流れる主要3河川は流域市町（五ヶ瀬川：1市3町、祝子川：1市、北川：2市）の水源として重要な役割を果たしている。特に五ヶ瀬川流域の市町とは（本市を含む3町）五ヶ瀬川流域森林・林業活性化センターを設置し、流域林業の振興や森林保全活動を実施している。

また、市内企業が積極的に「企業の森」を整備し、五ヶ瀬川流域となる五ヶ瀬町や日之影町、延岡市北方町で植林活動に取り組んでいる。今後もこれらの活動を継続し、下流の住民団体等へ水源の森林造成に参加してもらうように働き掛けることとする。

(3) 法第10条の11の8第2項に規定する施業実施協定の参加促進対策

本市では、林業従事者の高齢化、不在村森林所有者の増加等により、造林、保育、間伐等の手入れが不足し、水源涵養機能、山地災害防止機能等の森林が有する公益的機能の低下が懸念されている。

一方、住民参加の森林づくりの気運が高まっていることから、ボランティアによる作業を実施することで森林の公益的機能を発揮し、本市の生活環境・自然環境を保全していく必要がある。このため、普及啓発活動を通じて、自治会組織や森林ボランティア活動を行っている特定非営利活動法人等と森林所有者間の合意形成を図り、施業実施協定締結への参加を促すこととする。



(市民参加の植樹祭)

(4) その他

市内の小学生をはじめとしたみどりの少年団の育成に重点を置き、自然の大切さやふるさとへの愛着を育むための教育の場の創設に努めていくこととする。

また、「緑の募金」による森林の整備にも重点を置き、自治会やボランティア団体等からの協力、市民の自発的な活動が高まるよう当募金の啓蒙啓発に努めながら森林の整備を図っていくものとする。

5 森林経営管理制度に基づく事業に関する事項

計画期間内における市町村森林経営管理事業計画

区域	作業種	面積	備考
	該当なし		

6 森林由来のJークレジットに関する事項

SDGsの達成やカーボンニュートラルの実現に向けて、森林を活用したJークレジットの推進を図り、脱炭素社会づくりへの貢献及び森林の公益的機能の維持・増進につなげる。

また、市内で発行された森林由来Jークレジットを市内企業にオフセットとして活用してもらうことによりカーボンクレジットの地産地消を行うとともに、森林による新たな収入源を造林等の森林整備に利用することで循環型林業の構築を推進する。

7 その他必要な事項

不在村所有者の森林が適切に管理されていないことから、伐採後、放置されている林分や間伐が不十分な林分で森林の多面的機能が十分に発揮されない箇所については、森林経営管理法の主旨を踏まえ、経営管理権等の設定や公有林化を含め、適切な森林整備の推進を図るものとする。

さらに、森林管理署、森林組合、ひなたのチカラ林業経営者、林研グループ、林業普及指導員、森林所有者等の連携を一層密にし、研修会等を通して、技術指導、啓発活動に努めるとともに、新たな成長戦略として位置付け、国・県等の補助事業「森林・山村対策」及び「国土保全対策」等の地方財政措置等の高い有利な事業を積極的に活用し、適切な森林整備の推進を図るものとする。

また、次の事項にも取り組むこととする。

(1) 森林国営保険への加入促進

森林国営保険と連動して加入促進を図るものとする。

(2) 入会林野整備の促進

入会林野の整備を促し、利権関係の近代化と整備後の土地及び立木等の資源の活用を図ることとする。

(3) 国有林の利活用に関する事項

市内の国有林は、森林生態系保護区域及び国定公園第3種地域特別地域に指定され、貴重な天然林と野生動植物を有し、大崩山や祝子川溪谷等の自然環境に恵まれている。この条件を活かした都市との交流を促進しつつ、森林レクリエーションや森林教育及び文化的活動等の活用を要望していくこととする。

(4) 市有林の整備

市有・市行林は、人工林を中心とする約6,000haの森林を有しており、保有面積は県内で最大である。この市有林の多くは標準伐期齢を迎え長伐期施業へ移行し、現在、森林組合への長期施業委託により適切な保育管理を実施している。今後とも公有林としての森林資源や公益的機能の維持増進を図る観点から適切な整備に努めていくこととする。

(5) 環境の保全等の観点から保全すべき森林に関する事項

岡富山は、市民が身近に接することのできる森林として、保健機能を維持する観点から適正な管理に努めており、今後とも推進していくこととする。また、不健全な森林の情報収集に努め、森林資源の循環利用を続けることで森林の健全化を推進する。

祖母傾連山を抱える北方町上鹿川地区及び北川町上祝子地区、行藤町地区においては、ユネスコエコパークに登録されたこともあり、今後一層の登山者等の増大が想定されるため、景観・環境を保全する森林施業を行うこととする。

北浦町の下阿蘇海岸の松林については、地域住民参加により松林環境の保全に努めていくこととする。

(6) 国土保全の観点から森林として管理する土地に関する事項

須美江川、八重川流域の熊野江地区、須美江地区や北浦町の小川の源流地区を含む大井地区の森林においては、水土保全機能が高く両地区の水源として重要であることから森林の保全に努めることとする。

また、愛宕山地区や北方町の久保山地区周辺においては、市街地等に近接した保健機能の高い森林であるため、市民の憩いの場として歩道整備等の整備を進めていくこととする。

(7) 延岡産材の活用

新たな木材の需要拡大を図るため、近年、市の公共施設に積極的に延岡産材を使用してきたが、今後も例えば、市営住宅をはじめさまざまな公共施設及び公共性の高い民間施設についても、引き続き譲与税の活用による延岡産材の利用を促進することで、林業の振興を図るとともに、脱炭素の取組を進めるものとする。

(8) 延岡産材の地産地消の取組

市内で伐採された木材は、市場を通じて市内外で利用されているが、市産材の市内での活用を図る観点から、素材生産事業者や木材市場等が連携・協力し、搬出された木材が市産材であることの認証制度の導入検討や、市産材を活用した木材製品の活用推進など、市内で生産された木材が市内で消費される「延岡産材の地産地消」の取組を推進する。

(9) 延岡産材の販路拡大、サプライチェーン構築の取組み

延岡産材の利用は、市内での公共施設や戸建住宅等での活用を図るとともに、大都市圏での活用を図る必要がある。これまで、東京都港区や神奈川県川崎市との連携により、延岡産材の活用につなげるため、また、延岡産材製品の普及を図るため、延岡産木材製品の展示等に係る支援や大都市圏への輸送費用の支援に取り組んでいるが、引き続きこの取組を支援し延岡産材の利用を促進し販路の拡大を図る。

また、延岡産材の利用促進を進めるため、生産・加工・流通・建築などの各事業体が参画するサプライチェーンの構築を推進し、延岡産材の更なる活用や本市木材産業の振興に努める。

(10) 各協議会等との連携強化に関する事項

五ヶ瀬川流域森林・林業活性化センターと連携し、伐採パトロールを実施し、路網開設、伐採方法、伐採残材の処理等について指導するとともに適切な再生林を推進する。

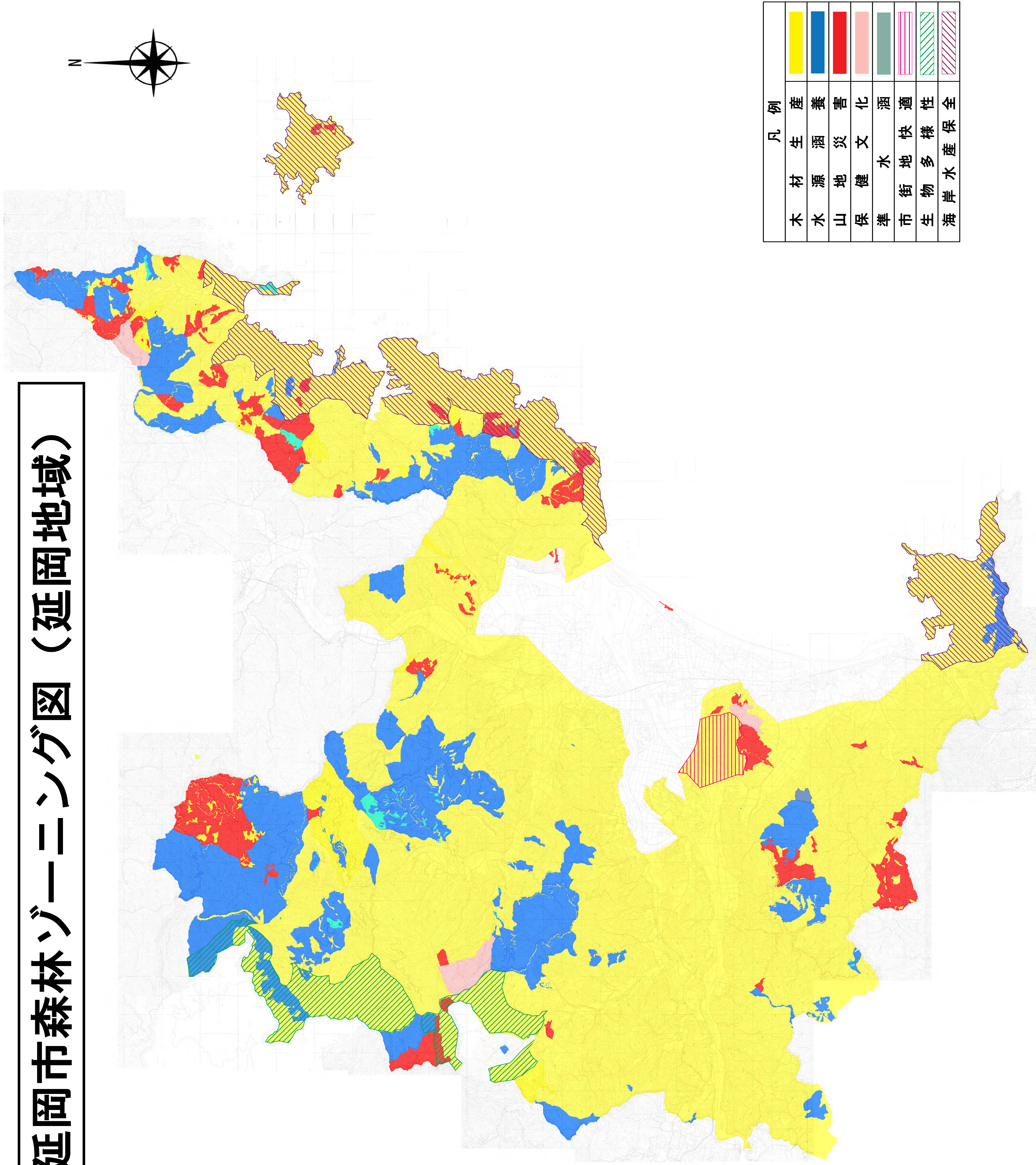
また延岡・日向地区資源循環型推進協議会、山村地域の持続的発展推進東臼杵地区協議会との連携強化により林業の成長産業化、持続可能な林業の構築を推進する。

(11) 災害防止に関する事項

近年、山崩れ等の災害や豪雨、台風などが多発し、人命、財産に甚大な被害が及んでいる。そのような山地に起因する災害から市民の生命・財産を守るため、水資源の涵養、生活環境の保全・形成を図り、安全で住みよい市土の確保・定住条件の整備をおこなう必要がある。特に山地の崩壊により、人家等に被害を及ぼす恐れがある箇所には落石防止網や防護網などを設置するなど早急に対策を行うことによって、被害拡大防止に努めることとする。また、近年の大規模太陽光発電設備の設置の動きの中、災害防止や環境保全等の観点からの懸念等も高まっていることを踏まえ、脱炭素の推進と災害防止、環境保全等との調和のとれた対応が求められていることから、市独自の条例制定の必要性も含め、市としての在り方について検討を行っていく。

付属資料

延岡市森林ゾーニング図（延岡地域）



別表2 森林の区分

【延岡地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域															
水源の涵養の機能 の維持増進を図る ための森林施業を 推進すべき森林 (水源涵養機能維持 増進森林)	2	ウ	9	1	32	ウ	7	43	エ	6	69	ア	1	2		
	2	ウ	9	2	32	ウ	12	43	エ	8	69	ア	1	2		
	2	ウ	23		32	ウ	13	43	エ	8	1	69	ア	1	3	
	2	ウ	23	1	32	ウ	14	43	エ	14		69	ア	5		
	2	ウ	23	2	32	ウ	15	43	エ	14	1	69	ア	5	1	
	2	ウ	23	3	32	ウ	15	43	エ	15		69	ア	15		
	2	ウ	23	4	32	エ	1	56	ア	1		69	ア	19		
	2	ウ	23	5	32	エ	2	56	ア	2		70	ア	1		
	2	ウ	23	6	32	エ	8	56	ア	5		70	ア	2		
	2	ウ	23	7	32	エ	9	56	ア	6		70	ア	3		
	2	ウ	23	8	32	エ	10	1	56	ア	7		70	ア	4	
	2	ウ	23	9	33	ア	4		56	ア	8		70	ア	5	
	2	ウ	23	10	33	ア	5		56	ア	10		70	ア	6	
	2	ウ	23	11	33	ア	6		56	ア	10	1	70	ア	7	
	2	ウ	23	12	33	ア	8		56	ア	11		70	ア	8	
	2	ウ	23	13	33	イ	5		56	ア	14		70	ア	9	
	2	ウ	23	14	34	イ	4	1	56	ア	16		70	ア	10	
	2	ウ	23	15	35	イ	20		56	ア	17		70	ア	11	
	2	ウ	23	16	35	イ	21		57	エ	4	2	70	ア	12	
	2	ウ	23	17	41	イ	1		57	エ	4	4	70	ア	13	
	2	ウ	26	2	41	イ	1	1	58	ア	8		70	ア	14	
	6	ア	17		41	イ	1	2	58	ア	9		70	ア	15	
	6	ア	17	1	41	イ	1	3	58	ア	10		70	ア	16	
	6	ア	17	2	41	オ	4		59	ア	9		70	ア	17	
	6	ア	18		41	オ	6		59	ア	10		70	ア	18	
	7	ア	13		41	オ	7		59	ア	11		70	ア	19	
	8	オ	1		41	オ	7	2	59	ア	12		70	ア	20	
	8	オ	1	1	41	オ	7	5	59	ア	13		70	ア	21	
	8	オ	1	2	41	オ	7	7	59	ア	14		70	ア	22	
	8	オ	2		41	オ	8		59	ア	15		70	ア	23	
	8	オ	3		41	オ	8	2	59	ア	16		70	ア	24	
	8	オ	4		43	イ	1		59	ア	17		70	ア	25	
	8	オ	4	1	43	イ	1	1	60	ア	4		70	ア	26	
	8	オ	4	2	43	イ	2		60	ア	5		70	ア	26	1
	8	オ	5		43	イ	2	2	66	ア	1		70	ア	27	
		18	エ	1	1	43	イ	3	67	ア	1		70	ア	28	
		18	エ	1	2	43	イ	6	68	ア	1		70	ア	29	
		18	エ	1	3	43	エ	1	68	ア	4		70	ア	30	
		26	ウ	1		43	エ	2	68	ア	4	1	71	ア	1	
		26	ウ	1	1	43	エ	3	69	ア	1		71	ア	2	
		31	ウ	1		43	エ	4	69	ア	1	1	71	ア	3	

別表2 森林の区分

【延岡地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域									
(水源涵養機能維持 増進森林)	71 ア 3 2	74 ア 2 1	75 ア 22	82 ア 14						
	71 ア 3 5	74 ア 2 2	75 ア 23	82 ア 15						
	71 ア 3 6	74 ア 3	75 ア 24	82 ア 16						
	71 ア 4	74 ア 3 1	75 ア 24 1	82 ア 16 1						
	71 ア 5	74 ア 4	75 ア 25	82 ア 17						
	71 ア 6	74 ア 5	75 ア 26	82 ア 17						
	71 イ 1	74 ア 6	75 ア 27	82 ア 18						
	71 イ 1 1	74 ア 7	75 ア 27 1	82 ア 19						
	71 イ 3	74 ア 8	76 ア 1	82 ア 20						
	71 イ 3 2	74 ア 8 1	76 ア 2	82 ア 21						
	71 イ 3 3	74 ア 8 1	76 ア 3	82 ア 22						
	71 イ 3 4	74 ア 9	76 ア 5	82 ア 23						
	71 イ 4	74 ア 10	76 ア 5 1	82 ア 24						
	71 イ 5	74 ア 11	76 ア 7	82 ア 25						
	71 イ 6	74 ア 11 1	77 ア 1	82 ア 26						
	71 イ 6 1	74 ア 12	77 ア 2	82 ア 26 1						
	71 イ 7	74 ア 13	77 ア 4	83 ア 1						
	71 イ 8	74 ア 13 1	77 ア 4 1	83 ア 1 1						
	71 イ 8 1	74 ア 14	77 ア 5	83 ア 2						
	71 イ 9	74 ア 15	77 ア 6	83 ア 3						
	71 イ 10	74 ア 16	77 ア 7	83 ア 4						
	71 イ 19	75 ア 1	77 ア 8	83 ア 5						
	72 イ 1	75 ア 2	77 ア 9	83 ア 5 1						
	72 イ 1 1	75 ア 3	77 ア 10	83 ア 6						
	72 イ 1 2	75 ア 4	77 ア 10 1	83 ア 7						
	72 イ 2	75 ア 5	77 ア 11	83 ア 7 1						
	72 イ 3	75 ア 5 1	77 ア 12	83 ア 7 2						
	72 イ 4	75 ア 6	77 ア 12 1	83 ア 7 3						
	72 イ 5	75 ア 6 1	77 ア 13	83 ア 7 4						
	72 イ 6	75 ア 7	77 ア 14	83 ア 8 1						
	72 イ 7	75 ア 7 1	77 ア 14 1	83 ア 8 2						
	72 イ 8	75 ア 7 2	77 ア 15	83 ア 8 3						
	72 イ 8 2	75 ア 8	77 ア 15 1	83 ア 9						
	72 イ 8 3	75 ア 9	77 ア 16	83 ア 10						
	73 ア 1	75 ア 9 1	77 ア 18	83 ア 11						
	73 ア 2	75 ア 9 2	77 ア 18 1	83 ア 12						
	73 ア 3	75 ア 9 3	78 ア 1	83 ア 12						
	73 ア 4	75 ア 11	78 ア 2	83 ア 12						
	73 ア 5	75 ア 12	78 ア 4	83 ア 12 1						
	73 ア 6	75 ア 12 1	78 ア 5	83 ア 12						
	73 ア 7	75 ア 13	78 ア 6	83 ア 12 3						
	73 ア 8	75 ア 14	78 ア 6 1	83 ア 13						
	73 ア 9	75 ア 15	78 ア 7	84 ア 1						
	73 ア 10	75 ア 15 1	78 ア 7 1	84 ア 1 1						
	73 ア 10 1	75 ア 15 2	78 ア 8	84 ア 2						
	73 ア 11	75 ア 16	78 ア 15	84 ア 2 1						
	73 ア 12	75 ア 17	78 ア 16	84 ア 2 2						
	73 ア 13	75 ア 17 1	78 ア 17	84 ア 3						
	73 ア 14	75 ア 18	78 ア 18	84 ア 4						
	73 ア 15	75 ア 18	82 ア 5	84 ア 4 1						
	73 ア 15 1	75 ア 18 1	82 ア 10	84 ア 5						
	73 ア 16	75 ア 19	82 ア 10 1	84 ア 6						
	73 ア 17	75 ア 20	82 ア 10 2	84 ア 7						
	73 ア 18	75 ア 20	82 ア 11	84 ア 8						
	73 ア 19	75 ア 20	82 ア 12	84 ア 10						
	74 ア 1	75 ア 20 1	82 ア 13	84 ア 10 1						
	74 ア 2	75 ア 21	82 ア 14	84 ア 11						

別表2 森林の区分

【延岡地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域									
(水源涵養機能維持 増進森林)	84 ア 11 1	92 イ 16 1	98 ア 9	111 カ 4						
	84 ア 11 2	92 イ 16 2	98 ア 10	111 カ 4	1					
	84 ア 11 3	92 イ 17	98 ア 12	111 カ 5						
	84 ア 12	92 イ 19	98 ア 13	111 カ 5	1					
	84 ア 12 1	92 イ 19 1	98 ア 14	111 カ 6	1					
	84 ア 12 2	92 イ 19 2	98 ア 14 1	111 カ 6	2					
	84 ア 13	92 カ 1	98 ア 15	113 ア 1						
	84 ア 13 1	94 ア 18 1	98 ア 16	113 ア 2						
	84 ア 14	94 ア 19 1	98 ア 18	113 ア 3						
	84 ア 15	94 ア 19 2	98 ア 19	113 ア 3	1					
	84 ア 16 1	94 イ 14	98 ア 20	113 イ 1						
	84 ア 16 2	94 イ 15	102 ア 1	113 イ 2						
	84 ア 17	94 イ 15 1	102 ア 3	113 イ 3						
	84 ア 17 1	94 イ 17	102 ア 4	113 イ 4						
	85 ア 3	94 イ 18	102 ア 6	113 イ 4	1					
	85 ア 3 1	94 イ 19	102 ア 7	114 ウ 1						
	85 ア 4	95 ア 1	103 ア 1	114 ウ 2						
	85 ア 5	95 ア 2	103 ア 1 1	114 ウ 3						
	85 ア 6 1	95 ア 3	103 ア 6	114 ウ 4						
	85 ア 6 2	95 ア 4	103 ア 6 1	115 キ 1						
	85 ア 6 3	95 ア 5	103 ア 6 3	116 カ 5						
	85 ア 6 4	95 ア 7	103 ア 8	116 ケ 6						
	85 ア 7	95 ア 8	103 イ 1	116 ケ 6	1					
	85 ア 8	95 ア 9	103 イ 2	118 イ 1						
	85 ア 9	95 ア 9 1	103 イ 2 1	118 イ 2						
	85 ア 10	96 ア 1	103 イ 4	118 イ 3						
	85 ア 11	96 ア 2	103 ウ 1	118 イ 4						
	85 ア 12	96 ア 3 1	103 ウ 4	118 イ 5						
	85 ア 12 1	96 ア 4	103 ウ 4 1	118 イ 6						
	85 ア 13	96 ア 4 1	103 ウ 5	118 イ 7						
	85 ア 14	96 ア 6	103 ウ 6	125 ア 1						
	85 ア 14 1	96 ア 9	103 ウ 7	125 ア 1	1					
	85 ア 14 2	96 ア 10	103 エ 2	125 ア 1	2					
	85 ア 15	96 ア 12	103 エ 3	125 ア 1	3					
	85 ア 16	96 ア 13	103 エ 3 1	125 ア 1	4					
	85 ア 16 1	96 ア 15	103 エ 4	125 ア 2						
	85 ア 16 2	96 ア 17	103 エ 4 1	125 イ 16						
	85 ア 16 3	97 ア 1	104 ア 16	125 イ 17						
	86 ア 14	97 ア 3	104 イ 1	125 イ 17	1					
	86 ア 15 1	97 ア 4 1	104 イ 2	125 イ 18						
	86 ア 15 2	97 ア 6	104 イ 3	125 イ 18	1					
	86 ア 27	97 ア 8	104 ウ 2	125 イ 19						
	87 ア 1 5	97 ア 9	104 ウ 3	125 イ 20						
	88 ア 2	97 ア 11	104 ウ 4	125 イ 20	1					
	88 ア 2 1	97 ア 11 1	104 ウ 6	125 イ 20	2					
	88 ア 3	97 ア 13	104 ウ 7	125 イ 21						
	88 ア 4	97 ア 15	104 エ 1	125 イ 22						
	88 ア 4 1	97 ア 16	104 オ 1	125 ウ 1						
	88 ア 5 2	97 ア 17	104 オ 3	125 ウ 3						
	90 ア 1	97 ア 18	109 エ 1	125 ウ 5						
	90 ア 1 1	98 ア 2	109 オ 1 1	125 ウ 6						
	90 ア 1 2	98 ア 2 1	109 カ 3 2	128 ア 1						
	90 ア 2 8	98 ア 3	109 カ 3	128 ア 1	2					
	90 ア 4	98 ア 4	109 カ 3	128 ア 1	3					
	92 イ 15	98 ア 5	111 カ 1	128 ア 2						
	92 イ 15 2	98 ア 6	111 カ 2	128 ア 4						
	92 イ 16	98 ア 7	111 カ 3	134 ア 1						

別表2 森林の区分

【延岡地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域											
(水源涵養機能維持 増進森林)	134 ア	11		190 ア	4		218 イ	1	2	223 イ	3	4
	134 イ	1	1	190 ア	5		218 イ	1	3	223 イ	3	5
	134 イ	1	2	190 ア	6		218 イ	2		223 イ	3	6
	134 イ	4		190 ア	6	1	218 イ	2	1	223 イ	3	7
	134 イ	5	1	190 ア	6	2	218 イ	2	2	223 ウ		14
	134 ウ	3	1	190 ア	7		218 イ	2	3	223 ウ		15
	134 ウ	3	2	190 ア	8		218 イ	2	4	223 ウ		15 1
	134 ウ	3	3	190 ア	9		218 イ	2	5	223 ウ		15 2
	134 ウ	5	1	190 ア	10		218 イ	2	6	223 ウ		15 3
	134 ウ	5	2	191 ア	1	1	218 イ	2	7	223 ウ		15 4
	138 ウ	4		191 ア	1	2	218 イ	2	8	223 ウ		15 5
	138 ウ	4	1	191 ア	1	3	218 イ	2	9	223 ウ		15 6
	138 ウ	5	2	191 ア	1	4	218 イ	2	10	223 ウ		15 7
	138 ウ	5	2	196 ウ	8	1	218 イ	2	11	223 ウ		15 8
	138 エ	1	1	196 エ	1		218 イ	4		223 ウ		15 9
	138 エ	4		196 エ	2		218 イ	4	1	223 ウ		15 10
	140 イ	9		196 エ	3		218 イ	5		223 ウ		15 11
	140 イ	10		196 エ	4		218 イ	7		223 ウ		15 12
	140 イ	11		196 オ	1		219 ア	5	2	223 ウ		15 13
	140 イ	12		196 オ	1	1	219 ア	5	3	223 ウ		15 14
	140 ウ	21		196 オ	1	2	219 ア	5	4	223 ウ		15 15
	140 ウ	22		196 オ	2		219 ア	7	1	223 ウ		15 16
	140 ウ	22	1	196 オ	3		219 ア	15		223 ウ		15 17
	140 ウ	22	2	196 オ	4		219 ア	15	1	223 ウ		25
	140 ウ	22	3	197 ア	20		219 イ	1	1	223 ウ		49
	140 ウ	22	4	197 ア	20	1	219 イ	14		224 ア		17
	151 ウ	16		197 ア	20	2	219 イ	14	1	224 ア		17 1
	154 イ	1		200 ウ	1	1	219 イ	14	2	224 ア		20
	161 エ	1	1	201 カ	4		219 イ	14	3	224 ア		20 1
	161 エ	1	2	202 カ	9		219 イ	14	4	224 ア		20 2
	166 エ	1		202 カ	9		219 イ	14	5	226 ア		1 1
	166 エ	1	1	209 カ	1		219 イ	14	6	226 ア		1 2
	166 エ	2		209 カ	1		219 イ	14	7	226 ア		1 3
	166 エ	3		210 ウ	1		219 イ	14	8	226 ア		1 4
	171 ウ	15		211 ク	1		219 イ	14	10	226 ア		1 5
	171 ウ	16		212 サ	1		219 イ	14	11	226 ア		2
	171 ウ	17		212 サ	1	1	219 イ	14	12	226 ア		3
	172 イ	9		212 サ	1	2	219 ウ	5		226 ア		3 1
	172 イ	9		212 サ	1	3	219 ウ	6		226 ア		4
	173 イ	2		212 サ	1	4	219 ウ	37		226 ア		4 1
	173 イ	3	1	212 サ	1	5	219 ウ	37	1	226 ア		5 1
	173 イ	5	2	212 サ	1	6	219 ウ	37	2	226 ア		5 2
	173 オ	1	1	218 ア	1		219 ウ	37	3	226 ア		5 3
	173 オ	1	2	218 ア	1	1	219 ウ	37	4	226 ア		5 4
	173 オ	1	3	218 ア	1	2	219 ウ	37	5	226 ア		7
	173 オ	2		218 ア	1	3	219 ウ	37	6	226 ア		7 1
	173 オ	2	1	218 ア	1	4	219 ウ	38		226 ア		7 2
	173 オ	3		218 ア	1	5	220 ア	41	3	226 ア		8
	173 オ	4		218 ア	1	6	221 ウ	14	1	226 イ		14
	173 オ	5		218 ア	1	7	223 イ	1		226 イ		16
	187 イ	1		218 ア	1	8	223 イ	1	1	226 イ		16
	187 イ	2		218 ア	1	10	223 イ	1	2	232 ア		35
	187 イ	2	2	218 ア	1	11	223 イ	2		233 イ		1
	190 ア	1		218 ア	1	13	223 イ	3		233 ウ		1 1
	190 ア	1	1	218 ア	1	17	223 イ	3	1	233 ウ		1 2
	190 ア	2		218 ア	1	18	223 イ	3	2	233 ウ		2
	190 ア	3		218 イ	1	1	223 イ	3	3	233 ウ		2 1

別表2 森林の区分

【延岡地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域											
(水源涵養機能維持 増進森林)	233 ウ	3		237 ウ	30		242 イ	4		245 イ	28	
	233 ウ	4		237 ウ	30	1	242 イ	5		245 イ	29	
	233 ウ	5		237 ウ	31		242 イ	5	2	245 イ	31	1
	233 ウ	5	1	237 ウ	32		242 イ	6		246 ア	52	
	233 ウ	5	2	237 ウ	33		242 イ	7		246 ア	52	1
	233 ウ	6		237 ウ	33	1	242 ウ	1		246 ア	67	
	233 ウ	6	1	237 ウ	34		242 ウ	2		246 ア	67	1
	233 ウ	6	2	237 ウ	35		242 ウ	3		246 ア	67	2
	234 ア	1		237 ウ	36		242 ウ	4		246 ア	67	3
	234 ア	2		237 ウ	36	1	242 ウ	5		246 ア	67	4
	234 ア	3		237 ウ	36	2	243 ア	56		246 ア	68	
	234 イ	30	1	237 ウ	38		243 ア	56	1	246 ア	68	2
	235 ア	5		237 ウ	38	1	243 ア	56	2	246 ア	68	3
	235 ア	5	1	237 ウ	39		244 ウ	1		247 オ	1	1
	235 イ	5		237 ウ	39	1	244 ウ	2		247 オ	1	2
	235 イ	5	3	237 ウ	39	2	244 エ	1	1	247 オ	2	
	235 イ	7	1	238 ア	21		244 エ	2		247 オ	4	
	235 イ	10	1	238 ア	50		245 イ	23		247 オ	6	1
	236 イ	1	1	242 イ	1		245 イ	24		247 オ	6	2
	236 イ	1	2	242 イ	2		245 イ	26		247 オ	6	3
	236 イ	1	3	242 イ	3		245 イ	27		247 オ	8	
	237 ウ	29								255 イ	5	2

別表2 森林の区分

【延岡地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域											
土地に関する災害 の防止及び土壌の 保全の機能の維持 増進を図るための森 林施業を推進すべ き森林 (山地災害防止／ 土壌保全機能維持 増進森林)	14 オ	22		35 ア	3	5	79 イ	4	3	116 カ	2	3
	16 イ	35		35 ア	4		79 イ	4	5	120 イ	1	
	16 イ	35	1	35 ア	5		80 ア	1		120 イ	1	1
	16 ウ	1		35 ア	6		80 ア	1	1	120 イ	1	2
	16 ウ	1	1	35 ア	6	1	80 ア	2		120 イ	93	
	16 ウ	25		35 ア	7		80 ア	3		120 イ	93	1
	16 ウ	25	1	35 ア	8		80 ア	4		120 イ	93	2
	17 ア	1		35 ア	9		80 ア	4	1	120 ウ	3	
	17 ア	1	3	35 ア	10		80 ア	4	3	120 ウ	3	3
	17 ア	2	4	35 ア	11		80 ア	5		120 ウ	8	1
	18 ウ	1		35 ア	12		80 ア	5	1	120 エ	1	
	18 ウ	1		35 ア	13		80 ア	6		120 エ	1	1
	18 ウ	2	1	35 ア	14		80 ア	6	1	120 エ	1	3
	18 ウ	2	2	35 ア	15		80 ア	6	2	120 エ	3	
	18 ウ	2	3	35 ア	16		80 ア	7		120 エ	4	
	18 ウ	3		35 ア	17		80 ア	7	1	121 ア	9	
	18 エ	1	4	35 ア	18		80 ア	8		121 ア	9	1
	22 エ	4		35 ア	19		80 ア	8	1	121 ア	9	2
	22 エ	4	3	35 ア	20		80 ア	9		121 ア	18	
	22 エ	4	4	35 イ	12		80 ア	10		121 ア	18	1
	22 エ	4	5	35 イ	13		80 ア	10	1	121 ア	18	2
	22 エ	16		35 イ	19		80 ア	10	2	121 ア	18	3
	22 エ	16	1	35 ウ	43		80 ア	11		121 ア	18	4
	22 エ	16	2	35 ウ	44		80 ア	11	1	121 ア	18	5
	22 エ	16	3	35 ウ	44	1	80 ア	13		121 ア	45	
	32 ウ	4		38 コ	12		80 ア	13	1	121 ア	45	1
	32 ウ	5		43 オ	1		81 ア	1		121 ア	45	2
	32 ウ	6		43 オ	2		81 ア	2		121 ア	45	3
	32 ウ	8		43 オ	3		81 ア	2	1	121 ウ	9	
	32 ウ	9		43 オ	4		81 ア	3		121 ウ	9	1
	32 ウ	10		43 オ	5		81 ア	4		121 ウ	10	
	32 ウ	11		43 オ	5	1	81 ア	4	1	121 ウ	10	
	32 ウ	11	1	43 オ	6		82 ア	9		121 ウ	13	
	32 ウ	11	2	43 オ	7		82 ア	9	1	121 ウ	13	2
	32 ウ	16		43 オ	7	1	82 ア	9	3	121 ウ	13	6
	32 ウ	17		43 オ	7	2	82 イ	2		121 ウ	14	
	32 エ	3		43 オ	7	3	82 イ	2	1	127 イ	1	
	32 エ	4		77 ア	11	1	82 イ	2	3	127 イ	1	1
	32 エ	5		78 ア	1	1	84 ア	16		127 イ	1	3
	32 エ	6		78 ア	1	2	85 ア	1		127 イ	2	
	32 エ	7		78 ア	3		85 ア	1		127 イ	3	
	33 ア	1	1	78 ア	3	1	85 ア	1		127 イ	3	1
	33 ア	1	2	78 ア	11		85 ア	2		127 イ	5	
	33 ア	2		78 ア	14		87 ア	3	2	128 イ	1	
	33 ア	3		79 ア	1		87 ア	3	3	128 イ	1	1
	33 ア	5		79 ア	1	1	87 ア	3	6	128 イ	3	
	33 ア	6	1	79 ア	2		116 エ	3		128 イ	3	1
	33 ア	6	2	79 イ	1		116 エ	3	1	128 イ	6	
	33 ア	7		79 イ	2		116 エ	3	3	128 イ	6	1
	33 ア	7	1	79 イ	3		116 エ	3	5	128 イ	7	
	33 ア	7	2	79 イ	3	1	116 エ	4		128 イ	7	1
	33 ア	8	1	79 イ	3	2	116 エ	4	1	133 イ	6	1
	33 ア	8	2	79 イ	3	3	116 エ	4	2	133 イ	7	1
	33 ア	9		79 イ	3	4	116 カ	1		133 イ	9	1
	35 ア	2		79 イ	3	5	116 カ	1	1	133 イ	9	2
	35 ア	3		79 イ	4		116 カ	2		133 イ	9	3
	35 ア	3	4	79 イ	4	1	116 カ	2	1	145 イ	3	

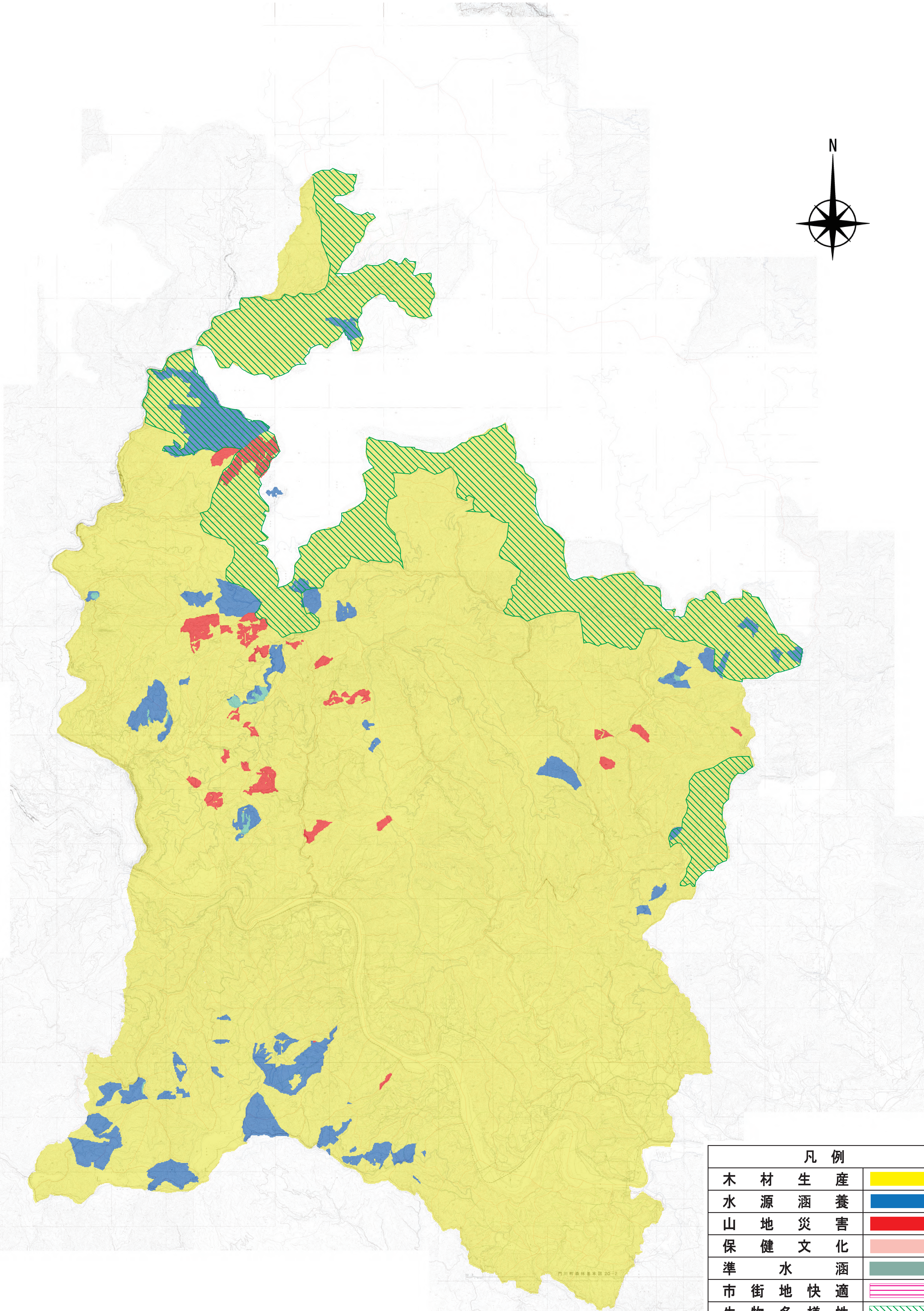
機能別の区域	森 林 の 区 域											
(山地災害防止／ 土壌保全機能維持 増進森林)	145	イ	3	1	222	ア	30		236	ア	1	
	145	イ	4		222	ア	30	1	236	ア	3	
	145	イ	4	1	222	ア	32		236	ア	4	
	184	イ	1		222	ア	34		236	ア	13	
	184	イ	1	1	222	ア	35		236	ア	15	1
	184	イ	2		222	イ	4		236	ア	18	
	188	ア	2		222	イ	4	1	236	ア	18	1
	188	イ	1		222	イ	5		236	イ	1	
	188	イ	2		222	イ	5	1	236	イ	1	4
	188	イ	3		222	イ	5	3	237	イ	8	3
	188	イ	4		222	イ	21		238	ア	4	
	188	イ	4	1	222	イ	21	1	238	ア	4	1
	189	ア	1		222	イ	21	2	238	ア	17	
	189	ア	1	1	222	イ	22		238	ア	17	1
	189	ア	2		222	イ	24		244	イ	1	2
	189	ア	3		222	イ	24	1	244	イ	1	3
	189	ア	4		222	イ	24	2	244	イ	2	
	189	ア	5		222	イ	24	3	244	イ	2	1
	189	ア	6		222	イ	25		248	エ	7	
	189	ア	7		222	イ	25	1	248	エ	7	1
	189	ア	8		222	ウ	16		248	エ	8	
	189	ア	9		222	ウ	16	1	248	エ	9	
	191	ア	3		222	ウ	16	2	248	エ	9	1
	191	ア	3	1	222	ウ	16	3	248	エ	9	3
	191	ア	4		222	ウ	16	4	248	エ	9	4
	191	ア	5		222	ウ	16	5	249	ア	5	
	191	イ	2		222	ウ	16	6	249	ア	5	1
	191	イ	3		222	ウ	16	7	249	ア	6	
	191	イ	4		222	ウ	16	8	249	ア	6	1
	191	イ	5		222	ウ	16	9	255	ア	6	1
	191	イ	6		222	ウ	16	10	255	ア	6	2
	191	イ	7		222	ウ	19		255	ア	6	3
	218	ア	1	9	222	ウ	19	1	255	ア	6	5
	218	ア	1	12	222	ウ	28		255	ア	16	
	218	ア	1	14	222	ウ	28	1	255	ア	16	1
	218	ア	1	15	222	ウ	33		255	ア	17	
	218	ア	1	16	222	ウ	33	2	255	ア	17	1
	219	ア	8		222	ウ	33	3	255	ア	17	2
	219	ア	8	3	222	ウ	33	4	255	ア	17	3
	219	ア	8	4	222	ウ	55		255	ア	17	4
	219	ア	8	6	223	ア	29	1	255	ア	17	5
	219	イ	7	2	225	ア	3		255	イ	5	
	219	イ	7	3	225	ア	3	1	255	イ	5	1
	219	イ	7	5	225	ア	3	2	255	イ	5	3
	219	イ	9	2	225	ア	3	6	257	ア	13	
	220	イ	9		225	ア	8	3	257	ア	20	
	220	イ	9	1	231	ア	12		257	ア	26	
	220	イ	9	2	231	ア	12	1				
	220	イ	9	3	231	ア	12	2				
	220	イ	9	4	233	ア	11					
	220	イ	10		234	イ	29	1				
	220	イ	10	1	235	ア	9					
	220	ウ	15		235	ア	9	1				
	220	ウ	15	1	235	イ	14					
	220	ウ	15	2	235	イ	14	1				
	220	ウ	15	3	235	イ	25					
	220	ウ	48	1	235	イ	26					

別表2 森林の区分

【延岡地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域											
快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (快適環境形成機能維持増進森林)	30	エ	1		221	ウ	26		221	ウ	26	4
	30	エ	2		221	ウ	26	1	221	ウ	26	5
	30	エ	3		221	ウ	26	2	221	ウ	26	6
	30	エ	4		221	ウ	26	3	221	ウ	26	7
									229	ア	15	
											229	イ
											46	
保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (保健文化機能維持増進森林)	35	イ	10	1	225	イ	1		225	イ	1	6
	72	ア	2		225	イ	1	1	225	イ	1	7
	72	ア	2	1	225	イ	1	2	225	イ	1	8
	72	ア	3		225	イ	1	3	225	イ	2	
	72	ア	3	1	225	イ	1	4	225	イ	2	1
	72	ア	4		225	イ	1	5	225	イ	2	2
水源の涵養機能維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林に準ずる森林 (準水源涵養機能維持増進森林)	43	イ	1	2	95	ア	10		97	ア	4	
	43	エ	14	2	95	ア	11		97	ア	5	
	56	ア	2	1	96	ア	3		97	ア	7	
	56	ア	2	2	96	ア	5		97	ア	10	
	86	ア	15	3	96	ア	7		97	ア	12	
	92	イ	15	1	96	ア	8		97	ア	14	
	94	ア	18		96	ア	11		98	ア	8	
	94	ア	19		96	ア	14		98	ア	11	
	94	イ	16		96	ア	16		98	ア	17	
	94	イ	20		97	ア	2		138	ウ	5	
	95	ア	6									
市街地の快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (市街地快適環境形成機能維持増進森林)	35	ア	1	1	～	36	オ	4				
生物多様性の維持増進を図るために森林施業を推進すべき森林 (生物多様性機能維持増進森林)	52	ア	1		～	53	ア	6				
	60	ア	1		～	61	ア	5				
	64	ア	5		～	69	ア	20				
	74	ア	1		～	74	ア	16				
	185	ア	1		～	188	イ	4	1			
	191	ア	1	1	～	193	ウ	15				
海岸の景観と水産資源の環境保全を図るために森林施業を推進すべき森林 (海岸と水産資源保全機能維持増進森林)	1	ア	1		～	8	オ	5				
	30	エ	1		～	30	エ	4				
	126	ア	1		～	127	イ	7				
	130	ア	1		～	130	ア	13				
	221	ア	1	2	～	221	ウ	26	7			
	228	ア	1		～	229	ウ	69				
	237	ア	1		～	239	ア	101				
	248	ア	1		～	248	オ	39				
	250	ア	1		～	257	イ	80				

延岡市森林ゾーニング図（北方地域）



別表2 森林の区分

【北方地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域															
水源の涵養の機能 の維持増進を図る ための森林施業を 推進すべき森林 (水源涵養機能維 持増進森林)	10	ア	10	1	25	イ	5	44	イ	3	2	70	イ	20	3	
	14	ア	89		25	イ	6	44	イ	3	3	70	イ	21		
	14	ア	91		25	イ	7	46	ア	1		70	イ	42		
	17	イ	4		25	イ	8	46	ア	2		70	イ	42	1	
	17	イ	5		25	イ	9	46	ア	2	1	71	ア	1		
	17	ウ	1		25	イ	9	1	46	ア	3		71	ア	2	
	17	ウ	1	2	25	イ	10		46	ア	4		71	ア	3	
	17	ウ	2		25	イ	10	1	46	ア	5		71	ア	4	
	17	オ	3	1	25	イ	11		46	ア	6		71	ア	5	
	17	オ	4	1	25	イ	12		46	ア	6	1	71	ア	6	
	17	カ	1		25	イ	12	1	46	ア	7		71	ア	6	1
	17	カ	1	1	25	イ	13		48	ア	6		71	ア	6	2
	17	カ	1	3	26	ア	2		48	ア	7		71	ア	7	
	17	カ	2		26	イ	1		48	ア	7	1	71	ア	8	
	18	ア	1		26	イ	1	1	49	ア	7		71	ア	9	
	18	ア	1	1	26	イ	2		49	ア	9		71	イ	1	
	18	ア	8		26	イ	3		49	ア	11		71	イ	2	
	18	ア	8	1	26	ウ	1		49	ア	11		71	イ	3	
	18	ア	9		26	エ	3		49	ア	11	1	78	ウ	1	
	18	ア	10		26	エ	3	1	49	ア	12		78	ウ	1	1
	18	ア	13		26	エ	4	1	49	ア	12		78	ウ	2	
	18	ア	19		26	エ	4	2	49	ア	12	1	78	ウ	3	
	19	ア	9		26	エ	4	3	50	ア	2		78	エ	1	
	19	ア	11		26	エ	4	4	50	ア	2	1	78	エ	3	
	19	ア	23		26	オ	4		50	ア	2	2	78	エ	4	
	19	ア	53		26	オ	4	2	50	ア	3		78	エ	5	
	19	ア	53	1	26	オ	6		50	ア	3		78	エ	6	
	19	ア	55		26	オ	7		50	ア	5		78	エ	7	
	19	ア	55	1	26	オ	8		50	ア	5	1	78	エ	8	
	19	ア	55	2	27	ア	1	6	50	ア	7		78	エ	9	
	19	ア	56		27	ア	1	7	50	ア	8		81	ア	1	
	19	ア	56	1	27	ア	1	8	50	ア	9		87	ア	6	1
	19	ア	56	3	27	ア	1	9	54	イ	9	4	87	ア	6	2
	19	ア	57		27	ア	1	10	54	イ	10		87	ア	6	3
	21	ア	1	1	27	ア	1	11	54	イ	11		87	ア	6	4
	21	ウ	8		27	ア	1	12	54	イ	12		87	ア	6	5
	21	ウ	9		27	ア	2		54	イ	12	1	87	ア	6	6
	21	ウ	9	1	27	ア	2	1	54	イ	13	1	87	ア	8	1
	24	ア	4		27	ア	2	2	64	エ	22		87	ア	8	2
	24	ア	5		27	ア	2	3	64	エ	23		87	ア	8	3
	24	ア	6		27	ア	2	4	64	エ	24		87	ア	8	4
	24	ア	7		28	イ	15	2	64	エ	25		87	ア	8	5
	24	ア	8		28	イ	15	3	64	エ	26		87	ア	8	6
	24	ア	9		35	エ	2	1	64	エ	27		87	ア	8	7
	24	ア	10		35	エ	2	3	67	ア	2		87	ア	9	
	24	ア	11		39	エ	3	1	67	ア	3		87	ア	9	1
	24	ア	12		39	エ	30		67	ア	5		87	ア	9	4
	24	ア	13		39	オ	8	1	67	ア	6		88	ア	22	
	24	ア	14		39	オ	9		67	ア	7		88	ア	22	1
	24	ア	15		40	ア	2	2	67	ア	9		88	ア	22	2
	24	ア	15	1	40	ア	2	3	67	ア	10		88	ウ	1	
	24	ア	16		43	ア	36	5	67	ア	11		88	ウ	1	1
	24	ア	17		43	ア	36	6	67	ア	12		88	ウ	1	2
	25	イ	1		43	ア	36	7	70	ア	34		88	ウ	2	
	25	イ	2		43	ア	36		70	ア	35		88	ウ	9	
	25	イ	3		43	ア	36	9	70	イ	20		92	ウ	7	1
	25	イ	4		44	イ	3	1	70	イ	20	2	92	ウ	7	2

別表2 森林の区分

【北方地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域											
(水源涵養機能維持増進森林)	92 ウ	7	3	149 カ	7	1	200 ア	22	2	219 イ	8	5
	92 エ	12		149 カ	7	2	200 ア	32	1	219 イ	9	3
	92 エ	12	1	149 カ	7	3	200 ア	33		219 イ	9	4
	92 エ	14	1	149 カ	7	4	200 ア	37		219 イ	9	5
	92 エ	14	3	149 カ	7	5	200 ア	38		219 イ	9	6
	92 エ	15		149 カ	7	6	200 ア	39		219 イ	15	
	92 エ	15	1	149 カ	7	7	201 ア	7	10	220 イ	17	1
	92 エ	17		149 カ	7	8	201 ア	7	10	220 イ	17	2
	92 エ	18		149 カ	7	9	203 ア	41	2	220 イ	34	1
	92 エ	23		149 カ	7	10	203 ア	41	9	220 イ	36	
	99 ア	24	4	149 カ	7	11	204 ア	38		220 イ	36	1
	99 ア	24	6	149 カ	11	3	216 ア	31		220 イ	36	2
	99 イ	1		149 カ	11	4	216 ア	31	1	220 イ	36	3
	99 イ	1	2	159 イ	25	1	216 ア	31	1	220 イ	36	4
	99 イ	1	4	159 イ	25	2	217 イ	6		227 ア	49	
	99 イ	1	5	159 イ	26	1	217 イ	6	1	227 ア	49	1
	99 イ	1	6	159 イ	26	2	217 イ	6	2	227 ア		
	99 イ	1	7	160 ア	1	1	217 イ	6	3			
	99 イ	1	8	160 ア	1	2	217 イ	6	4			
	99 イ	1	11	160 ア	1	3	217 イ	6	5			
	99 イ	1	12	160 ア	1	4	217 イ	6	6			
	99 イ	2	1	160 ア	1	5	217 イ	19	1			
	99 イ	2	4	160 ア	1	6	217 イ	19	2			
	99 イ	3	2	160 ア	1	7	217 イ	19	3			
	107 ア	2	3	160 ア	2		217 イ	19	4			
	110 エ	18	1	160 ア	2	1	219 イ	5	1			
	110 エ	18	2	160 ア	3	1	219 イ	7	1			
	111 ア	14	5	160 ア	3	2	219 イ	7	2			
	111 ア	14	6	161 ア	8	4	219 イ	7	3			
	111 ア	14	8	161 ア	8	5	219 イ	7	4			
	111 ア	14	9	161 ア	8	6	219 イ	8	1			
	130 イ	27		200 ア	17	1	219 イ	8	2			
	130 ウ	5		200 ア	22		219 イ	8	3			
	149 カ	7		200 ア	22	1	219 イ	8	4			

別表2 森林の区分

【北方地域】

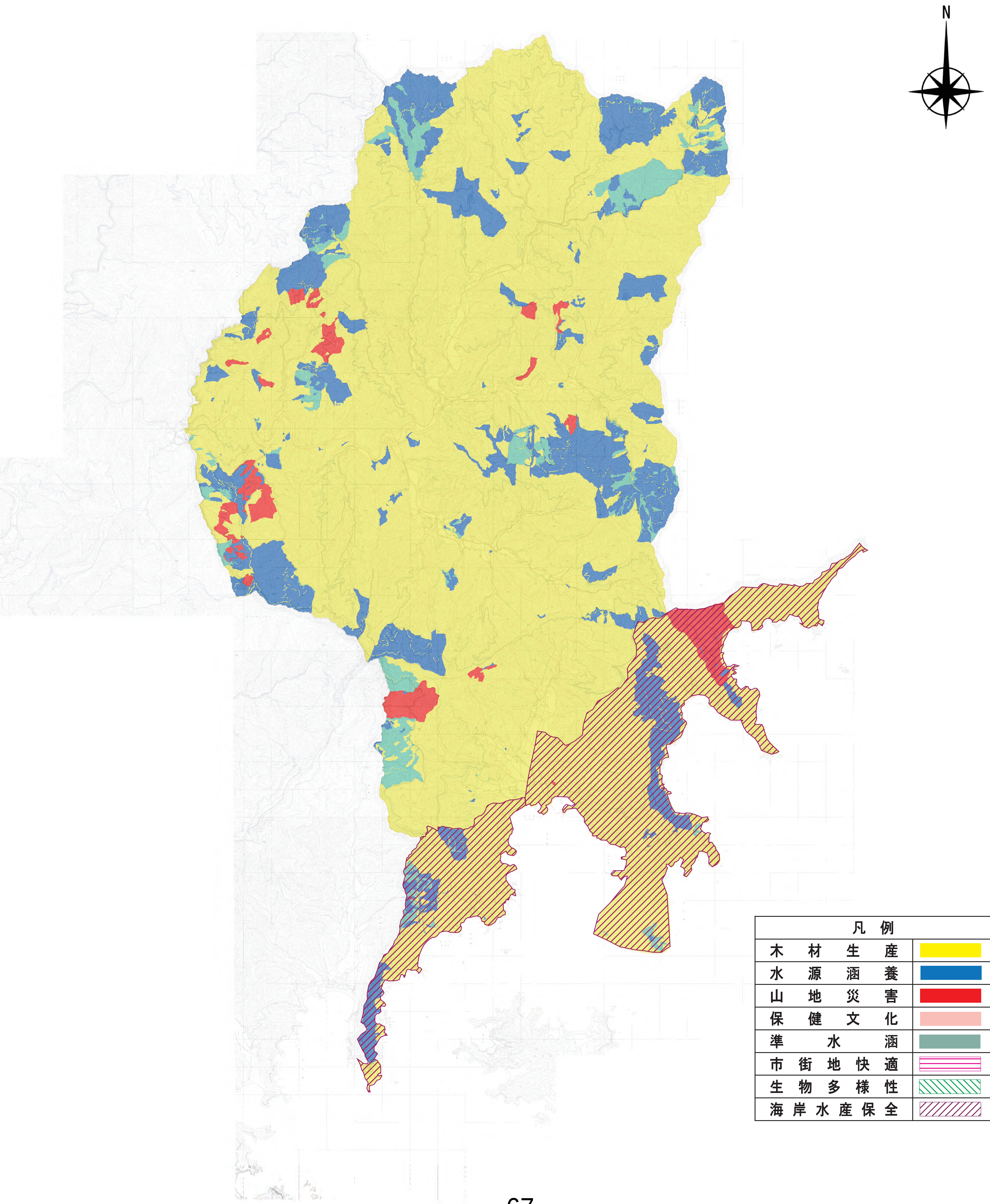
機能別の区域	森 林 の 区 域											
土地に関する災害 の防止及び土壌の 保全の機能の維持 増進を図るための 森林施業を推進す べき森林 (山地災害防止／ 土壌保全機能維 持増進森林)	26	オ	4	1	89	イ	1	4	91	イ	18	8
	74	ウ	45		89	イ	1	5	91	イ	18	9
	74	ウ	46		89	イ	1	6	91	イ	18	10
	74	ウ	50		89	イ	1	7	91	イ	18	11
	74	ウ	51		89	イ	1	8	91	イ	18	12
	75	イ	2		89	イ	1	9	91	イ	21	
	75	イ	3		89	イ	2		91	イ	21	1
	75	イ	3	1	89	イ	2	1	92	ウ	7	
	75	イ	4		89	イ	2	3	93	イ	9	
	75	イ	16		89	イ	2	4	93	イ	9	1
	75	イ	16	1	89	イ	2	5	93	イ	13	
	75	イ	16	2	89	イ	4	5	93	イ	13	1
	75	イ	16	3	89	イ	4	6	94	ア	2	
	75	イ	16	4	89	イ	7		94	ア	2	1
	75	イ	18		89	イ	7	1	94	ウ	4	
	75	イ	18	1	91	イ	7	1	94	ウ	4	2
	75	イ	20		91	イ	7	2	94	ウ	4	4
	75	イ	20	1	91	イ	13		94	ウ	4	5
	75	イ	22		91	イ	13	1	103	イ	21	
	75	イ	22	1	91	イ	13	2	103	ウ	22	
	75	イ	22	2	91	イ	13	3	106	ア	15	
	75	イ	24		91	イ	13	4	106	ア	15	1
	75	イ	25		91	イ	13	5	108	ア	2	
	75	イ	25	1	91	イ	14		108	ア	2	1
	75	イ	27		91	イ	18	1	109	ウ	8	
	75	イ	27	1	91	イ	18	2	109	ウ	8	1
	75	イ	27	2	91	イ	18	3	109	ウ	10	
	75	イ	27	3	91	イ	18	4	109	ウ	14	
	89	イ	1		91	イ	18	5	110	エ	24	1
	89	イ	1	2	91	イ	18	6	113	ア	4	
	89	イ	1	3	91	イ	18	7	113	ア	4	1

別表2 森林の区分

【北方地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域										
水源の涵養機能維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林に準ずる森林 (準水源涵養機能維持増進森林)	50	ア	10		92	エ	14		99	イ	3
	81	ア	1	1	92	エ	14	2	220	イ	34
	87	ア	8	8	92	エ	23	2			
	87	ア	8	9	92	エ	23	2			
	87	ア	9	2	99	ア	24	3			
	87	ア	9	3	99	イ	1	3			
	92	エ	13		99	イ	1	9			
	92	エ	13	1	99	イ	1	10			
生物多様性の維持増進を図るために森林施業を推進すべき森林 (生物多様性機能維持増進森林)	62	ア	1	～	71	イ	3				
	75	ア	1	～	77	ウ	1	4			
	107	ア	1	～	107	イ	6				
	161	ア	1	～	164	ア	15	1			
	167	ア	1	～	167	ア	10				
	171	ア	1	～	176	ア	23	1			
	180	ア	1	～	182	ア	26	1			
	212	ア	1	～	218	ア	47				
	227	イ	1	～	228	イ	31				

延岡市森林ゾーニング図（北浦地域）



別表2 森林の区分

【北浦地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域																
水源の涵養の機能 の維持増進を図る ための森林施業を 推進すべき森林	2	イ	2	8	12	ア	1	3	12	ウ	1	42	13	ア	1	17	
	2	イ	2	10	12	ア	2		12	ウ	1	43	13	ア	1	18	
	2	イ	2	11	12	ア	2	1	12	ウ	1	44	13	ア	1	20	
	2	イ	3	9	12	ア	2	2	12	ウ	1	45	13	ア	1	21	
	2	イ	3	16	12	ア	2	3	12	ウ	1	46	13	ア	1	22	
(水源涵養機能維 持増進森林)	2	イ	3	18	12	ア	2	4	12	ウ	1	47	13	ア	1	23	
	3	ア	4		12	ア	3		12	ウ	2	2	13	ア	1	25	
	3	ア	7		12	ア	3	1	12	ウ	4	4	13	ア	1	26	
	4	ウ	1		12	ア	3	2	12	ウ	4	5	13	ア	1	29	
	4	ウ	2		12	ア	3	3	12	ウ	6		13	ア	2		
	4	ウ	2	1	12	ア	3	4	12	ウ	8	1	13	ア	2	1	
	4	ウ	2	2	12	ア	3	5	12	ウ	8	3	13	ア	2	2	
	4	ウ	2	4	12	ア	4		12	ウ	8	4	13	イ	5		
	4	ウ	2	5	12	ア	4	1	12	ウ	8	6	13	イ	5	1	
	4	ウ	3		12	ア	4	2	12	ウ	8	11	13	イ	36	3	
	4	ウ	3	1	12	ア	4	3	12	ウ	8	17	14	ア	15	16	
	4	ウ	3	2	12	ア	4	4	12	ウ	8	18	14	ア	15	18	
	4	ウ	3	3	12	ア	4	5	12	ウ	8	32	14	ア	15	19	
	4	ウ	3	4	12	ア	4	6	12	ウ	8	34	14	ウ	22	5	
	4	ウ	3	5	12	ア	4	7	12	ウ	8	36	14	ウ	22	6	
	4	ウ	3	6	12	ア	4	8	12	ウ	11		14	エ	12	1	
	4	ウ	4		12	ア	4	9	12	ウ	11	4	15	イ	15	5	
	4	ウ	4	3	12	ウ	1	2	12	ウ	11	5	15	イ	15	6	
	4	ウ	4	4	12	ウ	1	3	12	ウ	11	6	15	イ	15	7	
	4	ウ	4	5	12	ウ	1	8	12	ウ	11	7	15	エ	2	2	
	4	ウ	4	6	12	ウ	1	9	12	ウ	11	8	15	エ	2	3	
		10	ア	1		12	ウ	1	10	12	ウ	11	11	15	オ	1	1
		10	ア	1	3	12	ウ	1	11	12	ウ	11	15	16	イ	18	2
		10	ア	1	4	12	ウ	1	12	12	エ	1	2	18	ア	21	5
		10	ア	1	6	12	ウ	1	13	12	エ	1	3	21	ア	1	
		10	ア	1	7	12	ウ	1	14	12	エ	1	5	21	ア	2	
		10	ア	1	8	12	ウ	1	15	12	エ	1	6	21	ア	3	
		10	ア	1	9	12	ウ	1	16	12	エ	1	7	21	ア	4	
		10	ア	1	10	12	ウ	1	17	12	エ	2	3	21	ア	5	
		10	ア	1	11	12	ウ	1	18	12	エ	2	7	21	ア	26	
		10	ア	1	12	12	ウ	1	20	12	エ	2	8	21	ア	28	
		10	ア	1	13	12	ウ	1	21	12	エ	2	17	21	ア	28	1
		10	ア	1	14	12	ウ	1	23	12	エ	6	1	21	ア	30	
		10	ア	1	15	12	ウ	1	24	12	オ	2	4	21	イ	40	1
		10	ア	1	16	12	ウ	1	27	12	オ	2	6	22	ア	11	2
		10	ア	1	17	12	ウ	1	28	12	オ	2	7	23	ア	1	1
		10	ア	1	18	12	ウ	1	29	13	ア	1		25	ウ	14	
		10	ア	1	18	12	ウ	1	30	13	ア	1	2	25	ウ	15	
		10	ア	1	19	12	ウ	1	31	13	ア	1	4	25	ウ	16	
		10	ア	1	21	12	ウ	1	32	13	ア	1	7	25	ウ	18	
	10	ア	1	22	12	ウ	1	33	13	ア	1	8	25	ウ	19		
	11	イ	93		12	ウ	1	34	13	ア	1	9	25	ウ	20		
	11	イ	94		12	ウ	1	35	13	ア	1	10	25	ウ	21		
	11	オ	3		12	ウ	1	36	13	ア	1	11	25	ウ	22		
	12	ア	1		12	ウ	1	37	13	ア	1	12	25	ウ	23		
	12	ア	1	1	12	ウ	1	38	13	ア	1	15	25	ウ	36		
	12	ア	1	2	12	ウ	1	41	13	ア	1	16	25	ウ	36	1	

別表2 森林の区分

【北浦地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域											
(水源涵養機能維持増進森林)	25ウ	38		31ア	2		38ア	10	1	43ア	20	1
	25ウ	40		31ア	2	1	38ア	10	2	43ア	20	2
	25エ	27		31ア	3		38ア	11		43ア	20	3
	25エ	27	1	31ア	3	1	38ア	11	1	43ア	25	
	25エ	27	2	31ア	4		38ア	11	2	43イ	1	
	25エ	27	3	31ア	5		38ア	11	3	43イ	2	
	25エ	27	4	31ア	6		38ア	11	4	43イ	2	1
	25エ	27	5	31ア	7		38ア	12		43イ	2	2
	25エ	27	6	31ア	8		38ア	14		43イ	2	4
	25エ	28		32イ	18		38ア	15		43イ	2	5
	25エ	28	1	32イ	18	1	38ア	15	1	43イ	2	6
	25エ	28	2	32イ	18	2	38ア	15	2	43イ	2	7
	25エ	28	3	32イ	19		38ア	15	3	44ア	10	
	25エ	29		32イ	20		38ア	16		44ア	11	
	25エ	29	1	32イ	20	1	38ア	17		44ア	12	
	25エ	29	2	32イ	20	2	38ア	18		44ア	12	1
	25エ	29	3	32イ	20	3	38ア	18	1	44ア	29	
	26ア	1		32イ	20	4	38ア	18	2	45ア	8	
	26ア	1	1	32イ	20	5	38ア	18	3	45ア	9	
	26ア	1	2	32イ	20	6	38ア	18	4	45ア	9	1
	26ア	1	3	32イ	20	7	38ア	18	6	45ア	9	2
	26ア	2		32イ	21		38ア	18	9	45ア	10	
	26ア	2	1	33イ	7		38ア	18	10	45ア	11	
	26ア	3		33イ	8		40ア	1		45ア	11	1
	26ア	3	1	33イ	9		40ア	3		45ア	12	
	26ア	4		33イ	10		40ア	4		45ア	13	
	26ア	4	1	35ア	2		40ア	4	2	45ア	14	
	26ア	4	2	35ア	18		40ア	4	3	45ア	15	
	26ア	4	3	35ウ	19		40ア	4	4	45ア	15	1
	26ア	4	4	35ウ	19	1	40ア	4	5	45ア	15	2
	27ア	23		35ウ	19	2	40ア	4	6	45ア	16	
	27ア	27		35ウ	19	3	40ア	5		45ア	21	1
	27ア	27	2	35ウ	21		40ア	5	1	45ア	21	2
	27ア	28		36ア	17	2	40ア	7		46ア	50	
	27ア	29		36ア	22		40ア	7	1	46ア	50	1
	27ア	29	3	36ア	24		40ア	8		46ア	51	
	27ア	29	4	36イ	1		40ア	9		47ア	53	
	27ア	29	5	38ア	1	1	41ア	15		47ア	53	1
	28ア	33		38ア	1	2	41ア	16		49ア	10	
	29ア	8		38ア	1	3	42ア	4		49ア	10	1
	29ア	8	1	38ア	1	5	42ア	4	1	49ア	27	
	29ア	8	2	38ア	1	6	42ア	5		49ア	27	1
	30ア	33		38ア	3		42ア	5	1	49ア	27	2
	30ア	34		38ア	3	1	42ア	7	1	50ア	14	1
	30ア	35		38ア	3	7	42ア	7	2	51ア	8	
	30ア	35	1	38ア	3	8	42ア	7	3	51ア	10	
	30ア	36		38ア	3	9	42ア	7	4	51ア	10	1
	30ア	36	1	38ア	3	10	42ア	7	5	51ア	10	2
	30ア	36	2	38ア	3	11	42ア	11		51ア	11	
	30ア	37		38ア	3	12	43ア	13		51ア	12	
	30ア	50		38ア	3	13	43ア	14		51ア	14	
	30ア	50	1	38ア	5		43ア	15		51ア	14	2
	30ア	50	2	38ア	6		43ア	15	1	51ア	14	8
	30ア	50	3	38ア	7		43ア	17	1	51ア	15	
	30ア	50	4	38ア	8		43ア	18		52ア	5	
	31ア	1		38ア	9		43ア	19		52ア	5	1
	31ア	1	1	38ア	10		43ア	20		52ア	6	

別表2 森林の区分

【北浦地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域															
(水源涵養機能維持増進森林)	52	ア	9	1	65	ア	3	75	イ	1	1	85	イ	5		
	52	ア	11		66	オ	1	75	イ	2		85	イ	6	1	
	52	ア	12		66	オ	2	75	イ	2	2	85	イ	6	2	
	52	ア	14		66	オ	2	1	75	イ	3		85	イ	6	3
	52	ア	16	1	66	オ	2	2	75	イ	4		85	イ	24	
	52	ア	16	2	66	オ	3		75	ウ	2	2	87	イ	1	
	52	ア	16	3	66	オ	3	1	75	ウ	2	4	87	イ	2	
	53	ア	20		66	オ	3	2	76	ア	1	2	87	イ	2	1
	53	ア	21		66	オ	3	3	76	ア	2		87	イ	3	
	53	ア	22		66	オ	5		76	ア	2	1	87	イ	4	
	55	ア	18		66	オ	5	1	76	ア	2	2	87	イ	5	
	55	ア	19		66	オ	5	2	76	ア	2	3	87	イ	6	
	55	ア	19	1	66	オ	5	3	76	ア	2	4	88	ウ	2	
	55	ア	19	2	66	オ	6		76	イ	4	1	88	ウ	2	1
	55	ア	23		67	イ	22		76	イ	4	2	89	ア	29	
	55	ア	23	1	68	ア	1		76	イ	4	3	89	ア	30	
	56	ア	4	1	69	イ	9		76	イ	5	4	89	ア	31	
	56	ア	4	2	69	イ	21		77	ア	1	1	89	ア	32	
	56	ア	4	4	69	イ	22		77	ア	1	2	89	ア	33	
	56	ア	4	5	70	ア	1		77	ア	1	5	90	ア	1	
	56	ア	4	6	70	ア	1	1	77	ア	1	6	90	ア	1	1
	56	ア	4	15	70	ア	1	2	77	ア	6	2	90	ア	1	3
	56	ア	4	16	70	ア	8		77	ア	6	4	90	ア	1	4
	56	ア	4	17	70	ア	8	1	77	ア	6	5	90	ア	1	5
	57	ア	1	1	70	ア	8	2	77	ア	6	6	90	ア	1	6
	57	ア	1	5	71	ア	13		77	イ	3	1	90	ア	1	9
	57	ア	1	6	71	ア	13	1	77	イ	3	2	90	ア	1	13
	57	ア	1	7	72	ア	16		77	イ	4	1	90	ア	1	14
	57	ア	1	8	72	ア	17		77	イ	5		90	ア	1	16
	57	ア	1	9	73	ウ	2		78	ア	6		90	ア	1	18
	57	ア	1	10	73	ウ	2	1	78	ア	6	2	90	ア	1	20
	57	ア	1	11	73	ウ	2	3	78	ア	6	4	90	ア	1	21
	57	ア	1	14	73	ウ	2	4	78	ア	6	5	90	ア	1	22
	62	ア	12	3	74	ア	3		78	ア	6	6	90	ア	1	23
	63	ア	1	1	74	ア	4		80	ア	8		90	ア	1	24
	63	ア	1	2	74	イ	1		80	ア	8	1	90	ア	1	26
	63	ア	1	3	74	イ	2		80	ア	8	2	90	ア	1	27
	63	ア	1	4	74	イ	3		80	ア	9		90	ア	2	1
	63	ア	2		74	イ	4		80	ア	9	1	90	ア	4	
	63	ア	2	1	74	イ	5		80	ア	55		90	ア	4	2
	63	ア	3		74	イ	6		80	ア	56		90	イ	1	
	64	ア	3	1	74	イ	7		80	ア	57		90	イ	1	1
	64	ア	3	2	74	ウ	1		80	ア	59		90	イ	1	3
	64	ア	3	3	74	ウ	2		82	ア	3		90	イ	1	4
	64	ア	3	4	74	ウ	3		82	ア	4		90	イ	1	5
	64	ア	3	5	74	ウ	4		82	ア	4	1	90	イ	1	6
	64	ア	3	6	74	ウ	6		82	イ	18	3	90	イ	1	7
	64	ア	3	6	74	ウ	8		84	ウ	2	4	90	イ	1	9
	64	ア	3	7	74	ウ	11		85	ア	22		90	イ	10	
	64	ア	6		75	ア	8		85	ア	22	1	90	ウ	15	4
	64	ア	6	1	75	ア	9		85	ア	23		90	ウ	15	5
	64	ア	6	2	75	ア	10	1	85	ア	23		90	ウ	15	6
	64	ア	7		75	ア	11		85	ア	23	1	90	ウ	15	8
	65	ア	1		75	ア	11	1	85	ア	23	1	90	エ	6	
	65	ア	2		75	ア	13		85	イ	1		90	エ	7	
	65	ア	2	1	75	ア	15	1	85	イ	1	2	91	ア	1	
	65	ア	2	2	75	イ	1		85	イ	3		91	ア	1	1

別表2 森林の区分

【北浦地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域										
(水源涵養機能維持増進森林)	91 ア	2		92 ウ	9		93 ウ	2	5	97 イ	28
	91 ア	2	1	92 ウ	9	1	93 ウ	2	8	97 イ	29
	91 ア	4		92 ウ	10		93 ウ	2	9	97 イ	29
	91 ア	4	2	92 ウ	10	1	93 ウ	2	10	97 イ	30
	91 ア	6		92 ウ	10	2	93 ウ	2	11	97 イ	30
	91 ア	6	1	92 ウ	11		93 ウ	2	12	97 イ	30
	91 ア	6	2	92 ウ	11	1	93 ウ	2	13	97 イ	31
	91 ア	7		92 ウ	12		93 ウ	5	2	97 イ	31
	91 ア	7	1	92 ウ	13		93 ウ	8	1	97 イ	31
	91 ア	10		92 ウ	13	1	93 ウ	9		97 イ	31
	91 ア	10	1	92 ウ	13	2	93 ウ	10	1	97 イ	31
	91 ア	11		92 ウ	14		93 ウ	11	1	97 イ	32
	91 ア	13		92 ウ	15		93 ウ	12		97 イ	34
	91 ア	14		92 ウ	16		93 ウ	12	5	97 イ	34
	91 ア	15		92 ウ	16	1	93 ウ	12	6	97 イ	35
	91 ア	16	1	92 ウ	16	2	93 ウ	12	7	97 イ	35
	91 ア	19	2	92 ウ	17		94 ア	11		98 イ	8
	91 ア	19	3	92 ウ	17	1	94 イ	21	1	99 ア	1
	91 ア	19	4	92 ウ	17	2	94 イ	21	2	99 ア	38
	91 ア	19	6	92 ウ	18		94 イ	21	3	99 ア	38
	91 ア	20	1	92 ウ	18	1	94 イ	21	4	99 ア	38
	91 ア	20	2	92 ウ	19		94 イ	21	6	99 ア	38
	91 ア	21		92 ウ	19	1	94 イ	22		99 ア	38
	91 ア	21		92 ウ	20		94 イ	22	1	100 ア	11
	91 イ	1	2	92 ウ	20	1	94 イ	23	1	100 ア	11
	91 イ	1	3	92 ウ	21		94 イ	23	2	100 ア	11
	91 イ	1	4	92 ウ	21	1	94 イ	23	3	100 ア	11
	91 イ	2	2	92 ウ	21	2	95 イ	24		100 ア	11
	91 イ	2	3	93 イ	16	1	95 イ	24	1	101 ウ	20
	91 イ	2	4	93 イ	19		95 イ	25		102 ア	15
	91 イ	2	5	93 イ	19	1	95 イ	25	1		
	91 イ	2	10	93 イ	20		95 イ	25	2		
	91 イ	3	1	93 イ	20	1	95 イ	26			
	91 イ	3	2	93 イ	20	2	95 イ	26	1		
	91 イ	3	3	93 イ	27	1	95 イ	27			
	91 イ	3	4	93 イ	35		95 ウ	33			
	91 イ	4		93 イ	35	1	95 ウ	34			
	92 ア	29		93 イ	39		95 ウ	35			
	92 ア	29	1	93 イ	39	1	95 ウ	36			
	92 ア	29	2	93 イ	39	2	95 ウ	38			
	92 ア	30		93 イ	39	3	97 イ	10	2		
	92 ア	30	1	93 イ	39	6	97 イ	10	3		
	92 ア	30	2	93 イ	40		97 イ	16			
	92 ア	39	1	93 イ	41		97 イ	16	2		
	92 ア	39	2	93 イ	43	1	97 イ	17	1		
	92 ア	40		93 イ	43	2	97 イ	18			
	92 ア	40	1	93 イ	43	3	97 イ	19			
	92 ウ	1		93 イ	43	5	97 イ	20			
	92 ウ	1	1	93 イ	43	7	97 イ	21			
	92 ウ	2		93 イ	43	9	97 イ	23			
	92 ウ	3		93 イ	43	10	97 イ	24			
	92 ウ	4		93 イ	43	11	97 イ	24	1		
	92 ウ	5		93 イ	43	12	97 イ	25			
	92 ウ	6		93 イ	43	14	97 イ	25	1		
	92 ウ	7		93 イ	43	16	97 イ	25	2		
	92 ウ	7	1	93 ウ	1	1	97 イ	25	3		
	92 ウ	8		93 ウ	2	4	97 イ	26			

別表2 森林の区分

【北浦地域】

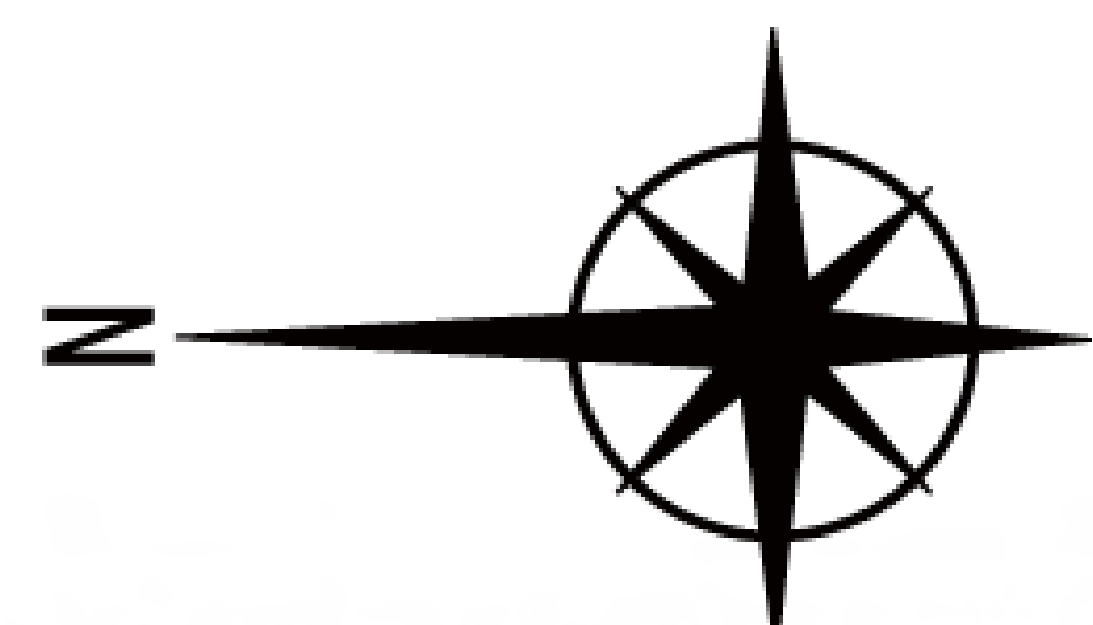
機能別の区域	森 林 の 区 域																
土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (山地災害防止／土壌保全機能維持増進森林)	2	イ	1		15	オ	1	5		43	ア	2		84	イ	35	
	2	イ	1	1	15	オ	1	6		43	ア	2	1	84	イ	35	1
	2	イ	1	2	15	オ	1	7		43	ア	2	2	85	イ	6	
	2	イ	1	3	15	オ	2			43	ア	2	4	92	ア	33	
	2	イ	1	4	15	オ	3			43	ア	2	5	92	ア	33	2
	2	イ	1	5	15	オ	3	1		43	ア	2	6	92	ア	33	3
	2	イ	1	7	15	オ	4			44	ア	4		92	ア	33	5
	2	イ	2		15	オ	5			44	ア	4	2				
	2	イ	2	1	15	オ	6			48	ア	16	3				
	2	イ	2	2	15	オ	7			48	ア	16	4				
	2	イ	2	3	15	オ	8			49	ア	11					
	2	イ	2	4	18	ア	21	1		49	ア	11	1				
	2	イ	2	5	18	ア	21	2		49	ア	11	2				
	2	イ	2	5	18	ア	21	3		49	ア	11	3				
	2	イ	2	6	39	ア	10			49	ア	12					
	2	イ	2	7	39	ア	10	1		49	ア	12	1				
	2	イ	2	9	39	ア	10	2		50	ア	7	1				
	2	イ	3		39	ア	11			50	ア	7	2				
	2	イ	3	1	39	ア	14			50	ア	7	6				
	2	イ	3	2	39	ア	15			50	ア	7	7				
	2	イ	3	3	39	ア	15	1		50	ア	7	8				
	2	イ	3	4	40	ア	1	1		50	ア	7	11				
	2	イ	3	5	40	ア	2			50	ア	7	12				
	2	イ	3	6	40	ア	2	1		50	ア	7	13				
	2	イ	3	7	40	ア	4	1		50	ア	7	14				
	2	イ	3	8	40	ア	4	7		51	ア	5					
	2	イ	3	10	40	ア	4	8		51	ア	5	1				
	2	イ	3	11	40	ア	5	2		51	ア	5	2				
	2	イ	3	12	40	ア	5	3		51	ア	5	3				
	2	イ	3	13	40	ア	5	4		51	ア	5	4				
	2	イ	3	14	40	ア	6			51	ア	5	5				
	2	イ	3	15	40	ア	6	1		51	ア	5	7				
	2	イ	3	17	40	ア	7	2		51	ア	6					
2	イ	3	19	42	ア	1	1		51	ア	6	1					
2	イ	3	20	42	ア	1	4		51	ア	6	3					
8	イ	7		42	ア	7			51	ア	6	4					
8	イ	7	1	42	ア	8			84	イ	12	3					
	12	ウ	8	14	42	ア	10		84	イ	15						
	15	オ	1		42	ア	13		84	イ	16						
	15	オ	1	2	42	ア	13		84	イ	16						
	15	オ	1	3	42	ア	13	1	84	イ	35						
	15	オ	1	4	42	ア	13	10	84	イ	35						
快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (快適環境形成機能維持増進森林)	12	ウ	8	23													
	12	ウ	8	24													
	12	ウ	8	25													
	12	ウ	8	26													
	12	ウ	8	27													

別表2 森林の区分

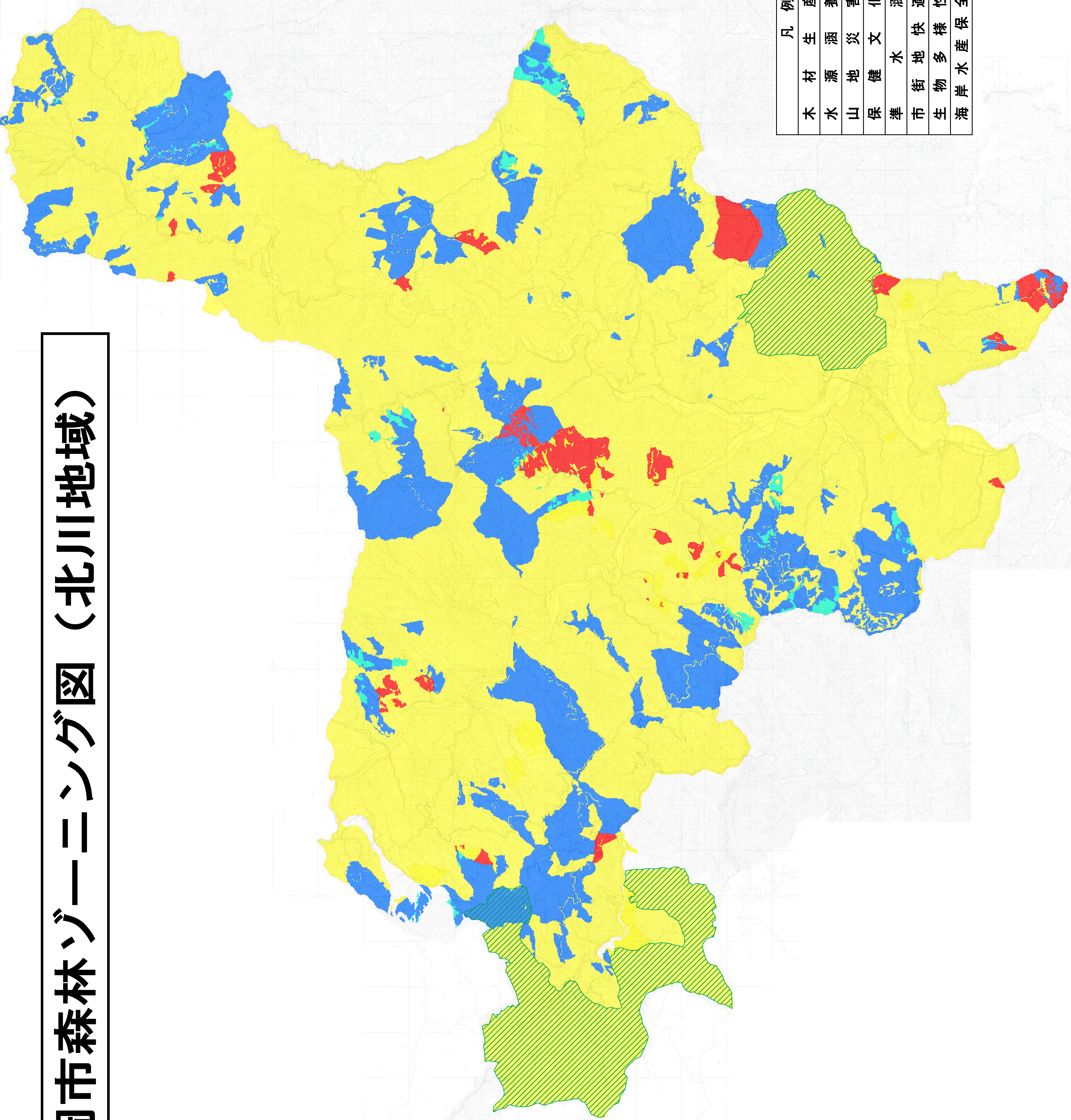
【北浦地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域																
水源の涵養機能維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林に準ずる森林 (準水源涵養機能維持増進森林)	11	エ	8		13	ア	1	28		56	ア	4		90	ア	4	4
	11	オ	1		14	ア	17	6		56	ア	4	3	90	イ	1	2
	11	オ	2		14	エ	12	2		56	ア	4	8	90	イ	2	
	11	オ	2	1	14	オ	28	4		56	ア	4	10	91	ア	2	2
	11	オ	4		14	オ	28	6		56	ア	4	11	91	ア	3	
	12	ウ	1		15	ウ	1			56	ア	4	14	91	ア	4	1
	12	ウ	1	25	15	エ	2			57	ア	1		91	ア	5	
	12	ウ	1	26	25	ウ	17			57	ア	1	4	91	ア	8	1
	12	ウ	1	39	25	ウ	37			62	ア	12	2	91	ア	12	
	12	ウ	1	40	25	ウ	39			63	ア	1		91	ア	12	1
	12	ウ	2		36	ア	17			63	ア	1	5	91	ア	16	
	12	ウ	4	2	36	ア	17	1		63	ア	2	2	91	ア	17	
	12	ウ	4	3	36	ア	23			63	ア	4	1	91	ア	22	
	12	ウ	4	6	36	ア	25			74	イ	8		91	ア	23	
	12	ウ	7		38	ア	1	4		74	ウ	5		91	イ	2	1
	12	ウ	8	5	38	ア	3	2		74	ウ	7		91	イ	2	6
	12	ウ	8	9	42	ア	3			75	ア	10		91	イ	2	8
	12	ウ	8	10	42	ア	9			75	ア	12		91	イ	2	9
	12	ウ	8	13	43	ア	11	1		75	ア	14		91	イ	2	11
	12	ウ	8	15	43	ア	16			75	ア	15		91	イ	6	
	12	ウ	8	20	43	ア	17			75	イ	5		92	ア	39	3
	12	ウ	8	29	43	ア	18	1		75	イ	6		93	イ	17	2
	12	ウ	8	30	43	ア	20	4		75	ウ	1		93	イ	25	1
	12	ウ	8	31	43	ア	21			75	ウ	1	1	93	イ	29	1
	12	ウ	8	33	43	ア	22			75	ウ	2		93	イ	43	6
	12	ウ	8	35	43	ア	23			75	ウ	2	1	93	イ	43	8
	12	ウ	8	37	43	ア	23	1		75	ウ	2	3	93	イ	43	18
	12	ウ	8	38	43	ア	23	2		76	ア	1		93	ウ	2	
	12	ウ	8	39	43	ア	24			76	イ	7		93	ウ	2	7
	12	ウ	10		43	イ	5	1		77	ア	1	3	93	ウ	3	
	12	ウ	11	18	43	イ	8			77	ア	1	4	93	ウ	4	
	12	エ	4	2	43	イ	9			77	ア	4		93	ウ	5	1
	12	エ	5	1	43	イ	9	1		77	ア	6	3	93	ウ	6	1
	12	エ	7		43	イ	11			77	ア	6	7	93	ウ	12	2
	12	エ	7	1	43	イ	15			77	イ	3	3	93	ウ	12	3
	12	エ	8	1	43	イ	16			78	ア	6	1	97	イ	15	
	12	エ	26	2	46	ア	52			78	ア	6	3	97	イ	16	1
	12	オ	1	3	46	ア	52	1		90	ア	1	2	97	イ	17	
	12	オ	1	4	51	ア	15	1		90	ア	1	7	97	イ	17	2
	12	オ	2	3	52	ア	7			90	ア	1	8	97	イ	21	1
	13	ア	1	1	52	ア	8			90	ア	1	10	97	イ	22	
	13	ア	1	3	52	ア	9			90	ア	1	15	97	イ	27	
	13	ア	1	5	52	ア	10			90	ア	2		97	イ	30	3
	13	ア	1	6	52	ア	10	1		90	ア	2	2	97	イ	33	
	13	ア	1	19	52	ア	13			90	ア	3					
	13	ア	1	24	52	ア	15			90	ア	4	1				
	13	ア	1	27	52	ア	16			90	ア	4	3				
海岸の景観と水産資源の環境保全を図るために森林施業を推進すべき森林 (海岸と水産資源保全機能維持増進森林)	1	ア	1	～	4	ウ	4	6									
	8	ア	1	～	13	オ	28	12									

延岡市森林ゾーニング図（北川地域）



凡 例	
木材生産	生産
水源涵養	涵養
山地災害	災害
保健文化	文化
準水涵	水涵
市街地快適	市街地
生物多様性	生物多様性
海岸水産保全	海岸水産保全



別表2 森林の区分

【北川地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域														
水源の涵養の機能 の維持増進を図る ための森林施業を 推進すべき森林 (水源涵養機能維 持増進森林)	1	ア	17	2	20	イ	4	40	エ	38	44	ア	12	2	
	8	ア	3	1	24	ア	10	40	エ	39	44	ア	12	4	
	8	ア	33		39	ア	1	40	オ	1	45	ア	4	1	
	8	ア	33	1	39	ア	1	40	オ	1	45	ア	4	2	
	8	ア	33	2	39	ア	2	40	オ	1	45	ア	4	4	
	14	イ	4	1	39	ア	2	40	オ	1	45	ア	4	7	
	14	イ	4	2	39	イ	1	40	オ	1	45	ア	4	8	
	14	イ	5		39	イ	1	40	オ	2	45	ア	4	12	
	14	イ	5	2	39	イ	2	40	オ	2	45	ア	4	17	
	14	イ	6		39	イ	2	40	オ	2	45	ア	10		
	15	イ	1		39	イ	2	40	オ	2	46	ア	1		
	15	イ	2		39	イ	2	40	オ	2	46	ア	1	1	
	15	ウ	1		39	イ	2	40	オ	2	46	ア	1	2	
	15	ウ	2		39	イ	3	40	オ	2	46	ア	1	3	
	15	ウ	3		39	イ	3	2	40	オ	2	46	ア	1	4
	15	ウ	4		39	イ	3	4	40	オ	2	46	ア	2	1
	16	ア	57		39	イ	3	5	40	オ	3	46	ア	2	6
	16	ア	57	1	39	イ	3	6	40	オ	3	46	ア	2	7
	16	ア	57	2	39	イ	3	7	40	オ	3	46	ア	2	8
	16	ア	57	3	39	イ	5	1	40	オ	4	46	ア	2	9
	16	ア	57	4	40	ア	1		40	オ	5	46	ア	2	11
	16	ア	58		40	ア	2		40	オ	6	46	ア	2	12
	16	ア	59		40	ア	2	1	40	オ	7	46	ア	2	14
	16	ア	65		40	ア	2	2	40	オ	8	46	ア	2	16
	16	ア	66		40	ア	3		40	オ	9	46	ア	2	17
	16	イ	71		40	ア	4		40	オ	10	46	ア	3	
	16	イ	72		40	ア	5		40	オ	11	46	イ	6	1
	16	ウ	1		40	ア	6		40	オ	11	46	イ	6	3
	16	ウ	2		40	ア	6	1	40	オ	11	46	イ	6	5
	16	ウ	3		40	ア	7		40	オ	15	46	イ	6	6
	16	ウ	4		40	ア	8		40	カ	1	46	イ	6	8
	16	ウ	4	1	40	ア	8	1	40	カ	2	47	ア	1	
	16	ウ	5		40	ア	8	2	40	カ	2	47	ア	1	1
	16	ウ	6		40	ア	8	3	40	カ	3	47	ア	1	2
	17	ア	24		40	ア	8	4	40	カ	3	47	ア	1	3
	17	ア	25		40	ア	8	5	40	カ	4	47	ア	1	4
	17	ア	26		40	ア	8	6	42	イ	26	47	ア	1	5
	17	ア	26	1	40	イ	1		42	イ	26	47	ア	1	6
	18	ア	34		40	イ	1	1	42	イ	33	47	ア	1	7
	18	ア	34	2	40	イ	4	1	42	イ	33	47	ア	2	
	18	ア	35	2	40	イ	8		42	イ	33	47	ア	2	1
	19	ア	1		40	ウ	1		42	イ	33	47	ア	3	
	19	ア	2		40	ウ	1	1	42	イ	34	47	ア	3	1
	19	ア	3		40	ウ	2		42	イ	42	47	ア	4	1
	19	ア	7	1	40	ウ	4		43	ア	16	47	ア	4	2
	19	イ	1		40	ウ	4	1	43	ア	19	47	ア	4	3
	19	イ	1	1	40	エ	1		44	ア	1	47	ア	5	
	19	イ	2		40	エ	3		44	ア	1	49	ウ	1	
	19	イ	3		40	エ	3	1	44	ア	1	49	ウ	1	1
	20	ア	16		40	エ	3	2	44	ア	1	49	ウ	7	
	20	ア	16	1	40	エ	7	2	44	ア	1	49	ウ	13	2
	20	ア	17		40	エ	7	3	44	ア	1	49	ウ	14	
	20	ア	18		40	エ	7	4	44	ア	1	49	ウ	15	
	20	イ	1		40	エ	7	5	44	ア	2	50	ア	1	
	20	イ	1	1	40	エ	35		44	ア	2	50	ア	1	1
	20	イ	2		40	エ	36		44	ア	2	50	ア	1	2
	20	イ	3		40	エ	37		44	ア	12	50	ア	1	4

別表2 森林の区分

【北川地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域										
(水源涵養機能維持増進森林)	50 ア	1	5	54 イ	1	2	63 ア	9	76 ア	2	1
	50 ア	1	6	54 イ	2		63 ア	9	76 ア	2	3
	50 ア	3		54 イ	4		63 ア	10	76 ア	2	4
	50 ア	3	1	54 イ	4	1	63 ア	11	76 ア	2	5
	50 ア	3	2	54 イ	5		63 ア	11	76 ア	3	
	50 ア	4		56 ア	8		63 ア	12	76 ア	5	
	50 ア	4	1	56 ア	18		63 ア	12	76 ア	6	
	50 ア	4	2	56 ア	29		63 ア	15	76 ア	8	
	50 ア	5		56 ア	29	1	63 ア	19	76 ア	8	1
	50 ア	5	1	61 ア	6	1	63 ア	23	76 ア	9	
	50 イ	1		61 ア	7	1	63 ア	23	76 ア	9	1
	50 イ	3	1	61 ア	7	2	64 ア	1	76 ア	9	2
	50 イ	3	2	61 ア	7	3	64 ア	1	76 ア	10	
	50 ウ	4		61 ア	7	4	64 ア	1	76 ア	11	
	50 ウ	7		61 ア	12	1	64 ア	2	76 ア	12	
	50 ウ	8		61 ア	13	1	64 ア	2	76 ア	13	
	50 ウ	9		61 ア	14		64 ア	2	76 ア	14	
	50 ウ	10		61 ア	14	4	64 ア	3	76 ア	14	1
	51 ア	1	1	62 ア	1		64 ア	3	76 ア	15	
	51 ア	2		62 ア	1	1	64 ア	3	76 ア	16	
	51 ア	3		62 ア	2	1	64 ア	4	76 ア	17	
	51 ア	6	3	62 ア	3		64 ア	6	76 ア	18	
	51 ア	6	4	62 ア	4		64 ア	7	76 ア	18	1
	51 ア	6	5	62 ア	5		64 ア	9	77 ア	1	
	51 ア	7		62 ア	6		64 ア	10	77 ア	1	2
	51 ア	7	2	62 ア	7		64 ア	11	77 ア	2	
	51 ア	7	3	62 ア	7	1	64 ア	12	77 ア	2	1
	51 ア	8		62 ア	8		64 ア	12	77 ア	2	2
	51 イ	1		62 イ	1		64 ア	12	77 ア	3	
	51 イ	1	1	62 イ	1	1	64 ア	15	77 ア	4	
	51 イ	2		62 イ	2		64 ア	15	77 ア	5	
	51 イ	2	1	62 イ	3		64 ア	16	78 ア	1	
	51 イ	2	2	62 イ	3	1	64 ア	16	78 ア	1	1
	51 イ	2	3	62 イ	4		64 ア	17	78 ア	2	
	51 イ	3		62 イ	5		64 ア	19	78 ア	2	1
	51 イ	3	1	62 イ	6		68 ア	68	78 ア	2	2
	51 イ	4	1	62 イ	6	1	68 ア	69	78 ア	2	4
	51 イ	4	2	62 イ	7		68 ア	70	78 ア	2	5
	51 イ	5		62 イ	7	1	68 ア	71	78 ア	2	6
	51 イ	5	1	62 イ	8		68 ア	72	78 ア	3	
	51 ウ	1		62 ウ	1		68 ア	72	79 ア	1	1
	51 ウ	1	1	62 ウ	1	1	68 ア	72	79 ア	2	1
	51 ウ	1	2	62 ウ	2		68 ア	73	79 ア	3	
	51 ウ	2		63 ア	1		69 ア	1	79 ア	5	
	51 ウ	5		63 ア	1	1	69 ア	2	79 ア	7	1
	51 ウ	5	1	63 ア	1	2	69 ア	2	79 ア	9	1
	51 ウ	5	3	63 ア	1	3	69 ア	2	79 ア	10	1
	51 ウ	9		63 ア	1	4	69 ア	2	79 ア	10	4
	51 ウ	9	1	63 ア	1	5	69 ア	2	79 ア	10	6
	51 ウ	9	2	63 ア	2		69 ア	3	79 ア	18	
	53 ア	30		63 ア	2	1	70 イ	1	80 ア	13	
	53 ア	31		63 ア	3		70 イ	2	80 ア	21	
	53 ア	31	1	63 ア	4		71 ア	9	80 ア	21	1
	53 ア	32		63 ア	5		76 ア	1	80 ア	22	
	54 ア	15		63 ア	6		76 ア	1	80 ア	24	
	54 ア	46	2	63 ア	7		76 ア	1	80 ア	24	1
	54 イ	1		63 ア	8		76 ア	2	80 ア	24	2

別表2 森林の区分

【北川地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域											
(水源涵養機能維持増進森林)	80 ア	24	3	102 イ	5		117 イ	32		133 オ	6	
	80 ア	24	4	103 ア	11	2	117 イ	34		134 ア	13	
	80 ア	24	5	103 ア	12		117 イ	35		134 ア	14	
	80 ア	24	6	103 ア	14		117 イ	36		134 ア	18	
	80 ア	25		103 ア	15		117 イ	37		134 ア	19	
	82 イ	6	5	103 ア	16		117 イ	38		134 ア	19	1
	82 イ	6	13	103 ア	16	1	117 イ	39		134 ア	21	
	84 イ	16	9	103 ア	16	2	117 イ	40		134 ア	22	
	84 イ	19		103 ア	16	3	122 ア	1	1	135 イ	2	2
	84 イ	19	3	103 ア	16	4	122 ア	1	3	135 イ	3	2
	84 イ	48		103 ア	16	5	122 ア	1	4	135 イ	6	
	84 イ	48	1	103 ア	20	13	122 ア	2	3	135 イ	6	3
	84 イ	48	2	103 ア	20	14	123 ア	1	3	135 ウ	1	
	84 イ	48	3	103 ア	20	19	123 ア	1	4	135 ウ	1	1
	84 イ	48	4	103 ア	21		123 ア	1	5	135 ウ	4	
	84 イ	48	5	103 ア	21	1	123 ア	1	6	135 ウ	4	1
	84 イ	48	6	103 ア	21	2	130 ア	50	4	135 ウ	4	2
	85 ア	14		104 ア	4	1	131 ア	1		135 ウ	4	3
	85 ア	14	1	104 ア	4	2	131 ア	1	1	135 ウ	4	4
	85 ア	15		104 ア	4	3	131 ア	1	2	135 ウ	4	5
	85 ア	15	1	104 ア	4	5	131 ア	2		135 ウ	4	6
	85 ア	16		104 ア	4	6	131 ア	2	1	135 ウ	4	7
	85 ア	16	1	104 ア	4	7	131 ア	2	2	135 ウ	4	8
	85 ウ	28	1	106 ウ	3	2	131 ア	3		135 ウ	4	9
	85 ウ	28	1	106 ウ	3	3	131 ア	4	1	135 ウ	4	10
	85 ウ	28	2	114 ア	5		131 ア	5		135 ウ	4	11
	98 ア	1		114 ア	5	1	131 ア	5	1	135 ウ	4	12
	98 ア	2		117 イ	1		131 ア	5	3	136 ア	13	
	98 ア	3		117 イ	1		131 ア	6		136 ア	14	
	98 ア	4		117 イ	1	1	131 ア	7		136 ア	15	
	98 ア	5		117 イ	2		131 ア	7	1	136 ア	16	
	98 ア	5		117 イ	3		131 ア	8		136 ア	17	
	98 ア	6		117 イ	5		131 ア	9		136 ア	18	
	98 ア	7		117 イ	6		131 ア	9	1	137 ア	10	
	98 ア	8		117 イ	7		131 ア	10		137 イ	1	1
	98 ア	8		117 イ	8		131 ア	10	1	137 イ	1	2
	98 ア	9		117 イ	9		131 ア	10	2	137 イ	2	
	98 ア	10		117 イ	11		131 ア	10	3	137 イ	3	
	98 ア	11		117 イ	13		131 ア	10	4	137 イ	4	2
	98 ア	12		117 イ	15		132 ア	1		137 イ	5	
	98 ア	13		117 イ	16		132 ア	1	1	137 イ	5	1
	98 ア	14		117 イ	17		132 ア	1	2	137 イ	5	2
	99 エ	1		117 イ	17	1	132 ア	1	3	137 イ	5	3
	99 エ	2		117 イ	17	2	133 エ	1		137 イ	8	
	99 エ	3	1	117 イ	18		133 エ	3		137 イ	9	
	99 エ	4	2	117 イ	18	1	133 エ	3	1	137 イ	11	
	99 エ	45		117 イ	18	2	133 エ	3	2	137 イ	18	2
	99 エ	46		117 イ	19		133 エ	3	3	137 イ	20	
	102 イ	3		117 イ	23		133 エ	3	4	137 イ	31	
	102 イ	3	2	117 イ	24		133 エ	3	5	137 イ	32	
	102 イ	3	3	117 イ	25		133 オ	2		138 ア	29	1
	102 イ	3	4	117 イ	26		133 オ	3		138 ア	29	1
	102 イ	3	5	117 イ	26		133 オ	4		138 イ	2	
	102 イ	3	6	117 イ	27		133 オ	5		138 イ	4	1
	102 イ	3	7	117 イ	27	1	133 オ	5		138 イ	11	
	102 イ	4		117 イ	28		133 オ	5	1	138 ウ	1	
	102 イ	5		117 イ	31		133 オ	5	4	138 ウ	2	

別表2 森林の区分

【北川地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域									
(水源涵養機能維持増進森林)	138 ウ 3		150 イ 17		164 ア 7		175 ア 13	1		
	138 ウ 4		150 イ 17	1	164 ア 8		175 ア 14			
	138 ウ 5		150 イ 17	2	164 ア 8	2	175 ア 15			
	138 ウ 6		150 イ 18		164 ア 8	3	175 ア 39	3		
	138 ウ 7		150 イ 19		164 ア 8	4	175 ア 41			
	138 ウ 8		150 イ 21	1	164 ア 8	5	175 ア 44			
	138 ウ 9		150 イ 21	2	165 ア 9		175 ア 45			
	138 ウ 9	1	151 イ 21	1	165 ア 9	1	175 ア 45	1		
	138 ウ 12		151 イ 22	1	165 イ 1		175 ア 45	2		
	138 ウ 13		151 イ 22	2	165 イ 1	1	176 ウ 35			
	138 ウ 14		151 イ 22	5	165 イ 1	2	176 ウ 35	1		
	138 ウ 14	1	151 イ 28		165 イ 1	3	176 ウ 35	2		
	138 ウ 18		151 イ 28	1	165 イ 5		176 ウ 35	3		
	138 ウ 19		151 イ 40		165 イ 6		176 ウ 36			
	138 ウ 21		151 イ 40	2	165 イ 6	1	176 ウ 37			
	138 ウ 22		151 イ 40	3	166 ア 5	2	176 ウ 37	1		
	138 ウ 22	1	151 イ 40	4	166 ア 5	9	176 ウ 37	2		
	138 ウ 23		151 イ 41		166 ア 6	8	176 ウ 37	3		
	138 ウ 24		151 イ 41	1	166 ア 6	11	177 ウ 1			
	138 ウ 25		151 イ 43		166 ウ 9		177 ウ 2			
	138 ウ 26		151 イ 44		166 ウ 9	1	177 ウ 2	1		
	138 ウ 27		151 イ 45		166 ウ 9	2	177 ウ 2	2		
	138 ウ 28		151 イ 45	1	166 ウ 9	3	177 ウ 2	4		
	138 ウ 29		153 ア 43	3	166 ウ 9	4	177 ウ 2	5		
	139 ア 1		153 ア 43	3	166 ウ 9	5	177 ウ 2	6		
	139 ア 2		153 ア 44	6	167 ア 45	2	177 ウ 3			
	139 ア 3		153 ア 44	6	167 ア 45	3	177 ウ 3	1		
	139 ア 4		153 ア 48		167 ア 47	1	177 エ 7	2		
	139 ア 5		153 ア 48	4	167 ア 47	2	177 エ 7	2		
	139 ア 6		153 ア 54		167 ア 47	4	183 ア 3			
	139 イ 5		153 ア 99	3	167 ア 47	5	183 イ 24			
	140 ア 8		153 ア 99	4	167 ア 47	7	183 イ 25			
	140 ア 8	1	154 ア 1	6	167 ア 47	9	183 イ 26			
	140 ア 8	2	154 ア 1	7	167 ア 47	11	183 イ 26	1		
	140 ア 8	3	154 ア 1	8	174 ウ 8		183 イ 27			
	140 ア 8	4	154 ア 1	9	175 ア 1		183 イ 28			
	140 ア 8	5	154 ア 1	10	175 ア 2		183 イ 28	1		
	140 ア 8	6	154 ア 1	11	175 ア 3		183 イ 29			
	140 ア 8	7	154 ア 1	12	175 ア 4		183 イ 30			
	140 イ 23	2	155 ア 48	2	175 ア 4	1	184 イ 21			
	141 ア 18	2	155 ア 48	3	175 ア 5		184 イ 22			
	141 ウ 2		155 ア 75		175 ア 6		184 イ 23			
	141 ウ 3		162 ア 1		175 ア 7		187 ア 41			
	141 ウ 5		163 ア 2		175 ア 7	1	187 ア 41	1		
	141 ウ 5	1	163 ア 3		175 ア 8		187 イ 19			
	142 ア 3	1	163 ア 3	1	175 ア 8	2	187 イ 19	2		
	148 ア 33		163 ア 3	2	175 ア 8	3	187 イ 20			
	148 ア 33	2	163 ア 4		175 ア 8	4	187 イ 20	1		
	148 ア 33	2	164 ア 2		175 ア 8	5	187 イ 21			
	148 ア 33	3	164 ア 3		175 ア 9		187 イ 22			
	148 ア 35		164 ア 4		175 ア 9	1	187 イ 23			
	148 ア 35	2	164 ア 6		175 ア 10		187 イ 23	1		
	148 ア 35	2	164 ア 6	1	175 ア 11		187 イ 24			
	150 イ 8	1	164 ア 6	2	175 ア 11	1	187 イ 24	1		
	150 イ 8	2	164 ア 6	4	175 ア 12		187 イ 25			
	150 イ 9	1	164 ア 6	6	175 ア 12	1	188 ア 23	3		
	150 イ 9	2	164 ア 6	7	175 ア 13		188 ア 23	4		

別表2 森林の区分

【北川地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域															
(水源涵養機能維持増進森林)	188	ア	23	5	199	イ	5		215	イ	11		241	ア	50	2
	188	ア	32	1	199	イ	57	1	218	イ	16		241	ア	50	3
	188	ア	33	2	199	ウ	52	1	218	ウ	2		241	ア	50	4
	188	ア	35	1	205	イ	2		218	ウ	2	1	241	ウ	50	
	188	ア	35	2	205	イ	3		218	ウ	3					
	188	ア	36	2	205	イ	3	1	218	ウ	3	1				
	188	ア	36	3	205	イ	3	3	218	ウ	3	4				
	188	ア	37	2	205	イ	4		218	ウ	4					
	188	ア	37	3	205	イ	5		218	ウ	5					
	188	ア	37	4	205	イ	6	1	218	ウ	5	1				
	188	ア	37	5	205	イ	7	1	218	ウ	5	3				
	191	ア	1		205	イ	8	1	218	ウ	6					
	191	ア	2		205	イ	9	1	218	ウ	6	1				
	191	ア	3		206	ア	1		218	ウ	6	2				
	191	ア	3	1	206	ア	2		218	ウ	6	3				
	191	ア	3	2	206	ア	3		221	ア	16	1				
	191	ア	4		206	ア	4		223	ア	1					
	191	ア	5		206	ア	5		223	ア	1					
	191	ア	5	1	207	ア	1		223	ア	1	1				
	191	ア	6		207	ア	2		223	ア	2					
	191	ア	11	2	207	ア	3		223	ア	2	1				
	191	ア	11	4	207	ア	4		223	ア	3					
	191	ア	12		207	ア	5		223	ア	4					
	191	ア	12	1	207	ア	6		223	ア	4	1				
	191	ア	13		207	ア	7		223	ア	4	2				
	191	ア	13	1	207	ア	8		223	ア	5					
	191	ア	14		207	ア	9		223	ア	5	1				
	191	ア	16		207	ア	10		223	ア	5	2				
	191	ア	17		208	ア	1		232	ア	31	2				
	191	ア	18		208	ア	2		232	ア	31	6				
	191	ア	18	2	208	ア	2	1	232	ア	31	7				
	191	ア	18	3	208	ア	3		232	ア	31	8				
	191	ア	20		208	ア	4		234	イ	50					
	191	ア	22		209	ア	1		234	イ	50	1				
	191	ア	24		209	ア	1	1	235	イ	43					
	191	ア	25		209	ア	2		235	イ	43	3				
	191	ア	26		209	ア	2	1	235	ウ	21	1				
	191	ア	28	5	209	ア	2	2	239	イ	45					
	191	ア	28	6	209	ア	2	3	239	イ	47					
	191	ア	28	7	209	ア	2	4	240	ア	39					
	191	ア	28	8	209	ア	3		240	ア	40					
	191	ア	28	9	210	ア	1		240	ア	41					
	191	ア	28	12	210	ア	1	1	240	ア	42					
	191	ア	28	13	210	ア	1	3	240	ア	46					
	191	ア	28	14	210	ア	2		240	ウ	1					
	191	ア	28	15	210	ア	2	1	240	ウ	1	1				
	191	ア	28	16	211	ア	1	1	240	ウ	1	2				
	191	ア	28	17	211	ア	1	2	240	ウ	1	4				
	191	ア	28	18	211	ア	1	4	240	エ	1	1				
	191	ア	28	19	211	ア	1	5	240	エ	1	2				
	191	ア	28	20	211	ア	1	6	240	エ	1	3				
	191	ア	28	21	212	ア	56		240	エ	2					
	193	イ	10	1	215	イ	9		240	エ	3					
	193	イ	10	2	215	イ	9	1	241	ア	31	2				
	193	イ	10	4	215	イ	9	2	241	ア	31	3				
	197	エ	7		215	イ	10		241	ア	31	7				
	197	エ	7	1	215	イ	10	1	241	ア	50	1				

別表2 森林の区分

【北川地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域											
土地に関する災害 の防止及び土壌の 保全の機能の維持 増進を図るための 森林施業を推進す べき森林 (山地災害防止／ 土壌保全機能維 持増進森林)	18	ア	3		103	ア	4	1	135	ア	8	1
	18	ア	3	1	103	ア	6		136	ア	3	2
	18	ア	4		105	イ	9		136	ア	3	5
	18	ア	4	1	105	イ	9	2	150	ア	12	1
	18	ア	4	2	105	イ	9	3	166	ア	3	
	56	イ	19		105	イ	10		175	ア	32	
	56	イ	19	1	105	イ	10	2	175	ア	32	1
	56	イ	19	2	105	イ	29	1	175	ア	33	
	56	イ	19	3	121	ア	3		175	ア	33	1
	56	イ	25		121	ア	20		175	ア	36	
	56	イ	25	1	121	ア	20	7	175	ア	36	1
	56	イ	25	2	121	ア	21		175	ア	37	
	56	イ	25	3	122	ア	5	1	175	ア	37	1
	56	イ	25	4	122	ア	5	2	175	ア	38	
	56	イ	28	3	122	ア	6	1	175	ア	38	1
	56	ウ	16		122	ア	7		175	ア	39	
	56	ウ	16	1	122	ア	7	1	175	ア	39	2
	56	ウ	19	2	122	ア	8		175	ア	40	
	56	ウ	19	3	122	ア	8	2	175	ア	40	1
	57	ア	10	1	122	ア	8	3	175	ア	41	1
	57	ア	10	2	122	ア	8	4	175	ア	41	2
	57	ア	11		122	ア	8	5	175	ア	41	3
	57	ア	11	1	122	ア	9		177	イ	5	
	57	ア	11	2	122	ア	9	1	177	イ	11	
	57	ア	12		122	ア	9	7	177	イ	11	1
	57	ア	12	1	123	ア	2		177	イ	11	3
	59	イ	10	1	123	ア	3		177	ウ	2	3
	59	イ	30		123	ア	3	1	185	ア	3	
	59	イ	30	1	123	ア	3	4	185	ア	3	1
	60	ア	15		123	ア	3	7	185	ア	3	2
	60	ア	20	2	123	ア	3	8	185	ア	3	3
	87	ア	2		123	ア	4		185	ア	3	4
	87	ア	2	1	123	ア	4	1	185	ア	3	6
	87	ア	3		123	ア	4	2	185	ア	3	7
	87	ア	4		123	ア	4	4	185	ア	4	
	87	ア	4	1	123	ア	4	6	211	ア	1	7
	87	ア	10		123	ア	4	7	222	ア	1	
	88	ア	3	2	123	ア	5		222	ア	1	1
	88	ア	3	3	123	ア	5	1	222	ア	1	2
	97	イ	4		123	ア	5	5	222	ア	2	
	97	イ	4	1	123	ア	5	6	222	ア	3	
	97	イ	5		123	ア	6		222	イ	1	
	97	イ	5	1	123	ア	6	1	222	イ	2	
	97	イ	5	2	123	ア	7		222	イ	2	1
	97	イ	7		124	イ	29		222	イ	2	2
	97	イ	7	1	124	イ	29	1	222	イ	3	
	97	イ	10	1	124	イ	30		222	イ	3	1
	102	ア	13		124	イ	30	2	222	イ	4	
	102	ア	16		124	イ	33		222	イ	4	1
	102	ア	16	1	124	イ	33	1	222	イ	4	2
	102	ア	16	2	124	イ	42		222	イ	4	3
	102	ア	16	3	125	ア	9		222	イ	4	4
	102	ア	17	2	125	ア	9	1	222	イ	4	5
	102	ア	17	8	131	ア	4		222	イ	5	
	102	ア	28		131	ア	6	1	222	イ	6	
	102	イ	24		131	ア	7	2	222	ウ	1	
	103	ア	4		131	ア	7	3	222	ウ	1	1

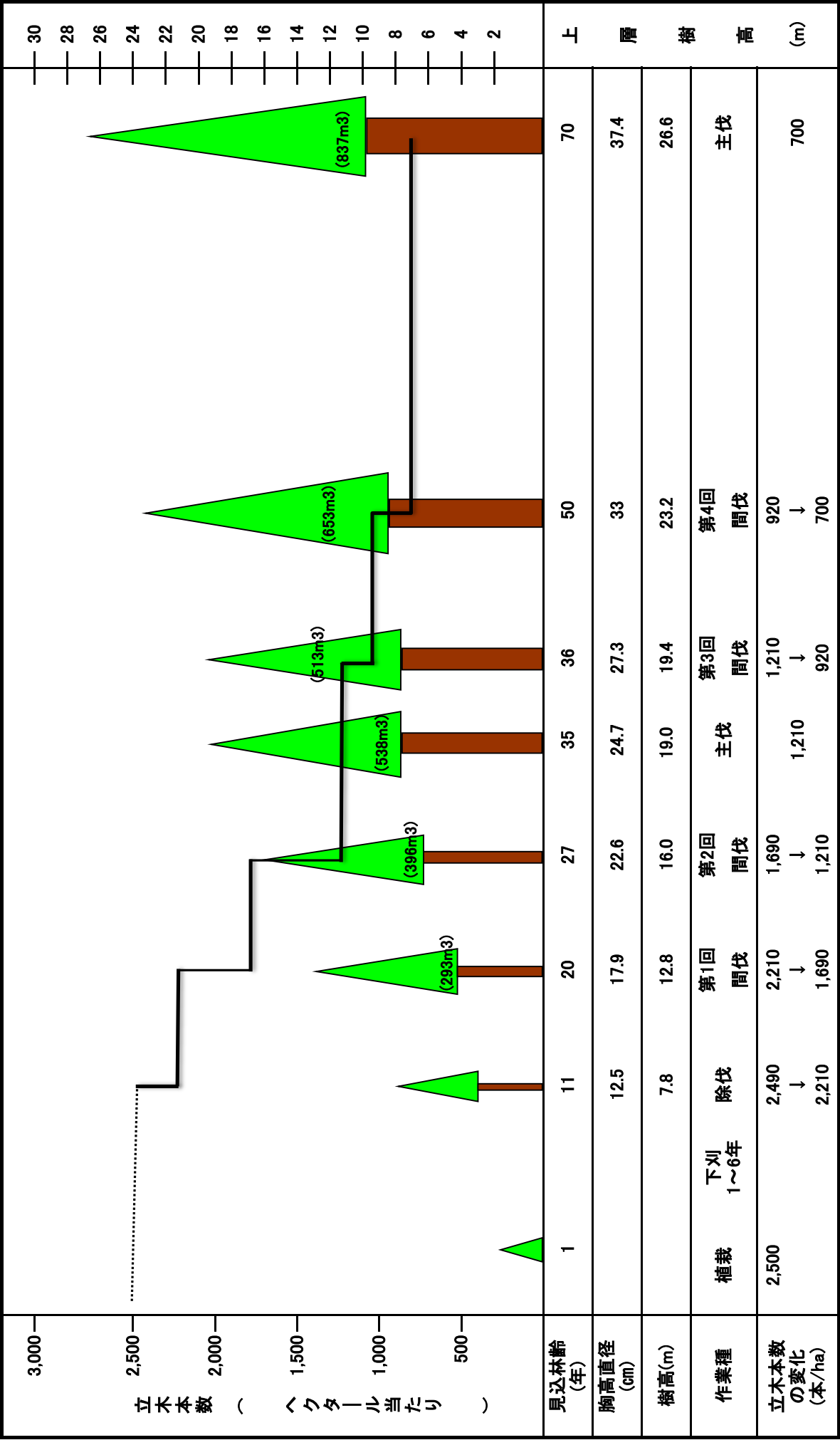
別表2 森林の区分

【北川地域】

機能別の区域	森 林 の 区 域															
水源の涵養機能維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林に準ずる森林 (準水源涵養機能維持増進森林)	39	イ	2	4	61	ア	2	2	148	ア	33	1	191	ア	11	
	39	イ	2	5	61	ア	5	1	148	ア	36		191	ア	11	1
	39	イ	3	1	61	ア	10		148	ア	36	1	191	ア	11	3
	39	イ	3	3	102	イ	1		151	イ	20		191	ア	15	
	45	ア	3		102	イ	6		151	イ	21		191	ア	16	1
	45	ア	4	3	102	イ	7		151	イ	21	2	191	ア	16	2
	45	ア	4	9	103	ア	11		151	イ	22	3	191	ア	19	
	45	ア	4	10	103	ア	13		151	イ	23		191	ア	21	
	45	ア	4	11	103	ア	22		153	ア	99	1	191	ア	23	
	45	ア	4	13	122	ア	1	2	162	ア	2		191	ア	23	1
	45	ア	4	14	122	ア	4	1	162	ア	3		191	ア	26	1
	45	ア	4	15	123	ア	1	1	162	ア	4		191	ア	27	
	45	ア	6		123	ア	1	2	162	ア	4	1	191	ア	27	1
	46	ア	1	5	123	ア	2	1	162	ア	5		191	ア	27	2
	46	ア	1	6	133	エ	2		164	ア	6	3	191	ア	28	
	46	ア	1	7	133	エ	2	1	164	ア	6	5	191	ア	28	1
	46	ア	1	8	137	イ	1		165	イ	7		191	ア	28	2
	46	ア	1	9	137	イ	1	3	166	ア	5	1	191	ア	28	3
	46	ア	1	10	137	イ	4		166	ア	6	7	191	ア	28	4
	46	ア	2		137	イ	4	1	183	ア	3	1	199	イ	4	
	46	ア	2	13	137	イ	4	3	183	ア	3	2	199	イ	5	1
	46	ア	2	15	137	イ	4	4	188	ア	23	1	199	イ	57	2
	46	イ	6	4	137	イ	4	4	188	ア	23	2	241	ア	31	4
	46	イ	6	7	137	イ	4	5	188	ア	33	3	241	ア	31	5
	47	ア	4		137	イ	4	6	188	ア	34	1	241	ア	31	9
	49	ウ	14	1	137	イ	17	1	188	ア	35					
	50	ア	1	7	137	イ	17	2	188	ア	36	4				
	50	ア	4	3	137	イ	25		188	ア	36	5				
	50	ア	5	2	137	イ	26		188	ア	37	6				
	51	イ	1	2	137	イ	26	1	188	ア	37	7				
	51	イ	2	4	137	イ	26	2	188	ア	37	8				
	51	イ	4		137	イ	28		191	ア	7					
	51	ウ	5	2	137	イ	37		191	ア	7	1				
	51	ウ	10		137	イ	37	1	191	ア	8					
	51	ウ	13		138	ア	8	1	191	ア	8	1				
	51	ウ	13	1	138	ア	15	1	191	ア	9					
	61	ア	1		141	ウ	2	3	191	ア	9	1				
	61	ア	1	1	141	ウ	4		191	ア	10					
生物多様性の維持増進を図るために森林施業を推進すべき森林 (生物多様性機能維持増進森林)	2	ア	1	～	3	ア	11	1								
	5	ア	1	～	7	ア	5									
	9	ア	1	～	15	ウ	4									
	229	ア	1	～	236	ア	62									

図2 育林体系図

35年伐期-70年伐期



宮崎県天然更新完了基準

改正 平成 24 年 2 月
平成 19 年 10 月

1 目 的

天然力を活用した更新の完了を判断する基準を作成し、地域森林計画等に規定する適切な更新を図ることを目的とする。

2 天然更新対象地

本基準の対象となる森林は、更新を行う箇所のほか、気象害等による更新不成績地等とする。

3 天然更新対象樹種

天然更新対象樹種は、針葉樹及びアカメガシワ、カラスザンショウ等の先駆性樹種、ブナ科、ニレ科、クスノキ科等の広葉樹であって、将来高木となりうる樹種（以下「更新対象樹種」という。）を 対象とする。（別紙「宮崎県天然更新完了基準 主要更新対象樹種一覧表」参照。）
なお、タケ類が優先する箇所は、竹林として取り扱う。

4 天然更新完了の基準

- （1）更新対象地において、概ね均等に、樹高 0.5m 以上の更新対象樹種が ha 当たり約 3,000 本以上（立木度 3 以上）生育していること。

なお、ぼう芽により一株当たり 3 本以上発生した更新対象樹種については、3 本として計上する。

$\text{立木度（十分率）} = \frac{\text{現在の林分本数}}{\text{当該林分の林齢に対応する期待成立本数}}$
--

※期待成立本数は、ha 当たり 10,000 本とする。

- （2）（1）の条件を満たさない場合は、補植等を実施し、確実な更新を図るものとする。
（3）（1）の条件を満たす場合であっても、獣害により健全な生育が期待できないおそれがある場合や作業路の開設等の影響により土砂流出や林地の荒廃が見られる場合は、速やかに防除対策又は土砂流出防止対策等、適切な対策を実施する。

5 更新調査の方法

（1）調査の時期

更新調査は、伐採後おおむね 4 年を経過した時点で実施する。

（2）調査方法

調査の方法は、原則として標準地調査とする。ただし、現地の状況から明らかに更新完了の確認ができる場合は目視とすることができる。

（3）標準地調査プロットの設定

調査プロットは、植生の繁茂状況及び地形等を勘案し標準的な箇所を選定することとし、調査プロット数は次のとおりとする。

- ① 対象地が 1 ha 未満の場合は、1 箇所以上
- ② 対象地が 1 ha 以上～5 ha 未満の場合は、2 箇所以上
- ③ 対象地が 5 ha 以上～10ha 未満の場合は、3 箇所以上
- ④ 対象地が 10ha 以上の場合は、10ha から 5 ha 増すごとに 4 箇所に 1 を加算した箇所以上

(4) 標準地調査プロットの大きさ

1 プロットは 25 m²とし、5 m×5 mの方形又は半径 2.8mの円形で設定する。

(5) 添付書類

調査箇所毎に、野帳（目視の場合は除く。）及び全景、近景の写真を各 1 部ずつ添付する。

(6) その他

補植以外の更新補助作業を実施した場合は、一定の経過観察期間において、再度、天然更新完了を判断する調査を実施すること。

6 その他

今後、天然更新の状況調査を踏まえ、必要に応じて当該基準の見直しを検討する。

(参考資料)

宮崎県天然更新完了基準 主要更新対象樹種一覧表（高木性樹種）

樹種名	科名	樹高別	常緑/落葉	先駆種	備考	樹種名	科名	樹高別	常緑/落葉	先駆種	備考
ア アオギリ	アオギリ	高木	落葉	○		シ ショウ	モクセイ	高木	落葉		*
ア オダモ	モクセイ	高木	落葉		*	シ シナノキ	カキノキ	高木	落葉		*
ア オハダ	モチノキ	高木	落葉			シ シナノキ	シナノキ	高木	落葉		
ア アカガシ	フナ	高木	常緑		*	シ シュロ	ヤシ	高木	常緑		
ア アカシ	カバノキ	高木	落葉		*	シ シラカシ	フナ	高木	常緑		*
ア アカマツ	マツ	高木	常緑	○		シ シリフカガシ	フナ	高木	常緑		*
ア アカメガシ	トウダイグサ	高木	落葉	○	*	シ シロダモ	クスノキ	高木	常緑		*
ア アカメヤナギ	ヤナギ	高木	落葉		*	ス スギ	スギ	高木	常緑		*
ア アキニレ	ニレ	高木	落葉		*	ス スダジイ	フナ	高木	常緑		*
ア アサガラ	エゴノキ	高木	落葉		*	セ センダン	センダン	高木	落葉		*
ア アサダ	カバノキ	高木	落葉		*	タ タブノキ	クスノキ	高木	常緑		*
ア アスキナシ	バラ	高木	落葉		*	タ タマミズキ	モチノキ	高木	落葉		*
ア アシナロ（ヒバ）	ヒノキ	高木	常緑			タ タラヨウ	モチノキ	高木	常緑		*
ア アスキナシ	バラ	高木	落葉		*	チ チシヤノキ	ムラサキ	高木	常緑		*
ア アベマキ	フナ	高木	落葉		*	チ チドリノキ	カエデ	高木	落葉		*
ア アラカシ	フナ	高木	常緑		*	ツ ツグ	マツ	高木	常緑		*
ア アワフキ	アワフキ	高木	落葉			ツ ツクバネガシ	フナ	高木	常緑		*
イ イイギリ	イイギリ	高木	落葉	○		ト トチノキ	トチノキ	高木	落葉		
イ イヌノキ	マンサク	高木	常緑			ナ ナギ	マキ	高木	常緑		*
イ イタヤカエデ	カエデ	高木	落葉		*	ナ ナタオレノキ	モクセイ	高木	常緑		*
イ イチイ	イチイ	高木	常緑		*	ナ ナツツバキ	ツバキ	高木	落葉		*
イ イチイガシ	フナ	高木	常緑		*	ナ ナナカマド	バラ	高木	落葉		*
イ イチヨウ	イチヨウ	高木	落葉			ナ ナナノキ	モチノキ	高木	常緑		*
イ イヌエンジュ	マメ	高木	落葉		*	ナ ナラガシ	フナ	高木	落葉		*
イ イヌガシ	クスノキ	高木	常緑		*	ナ ナンキンハゼ	トウダイグサ	高木	落葉	○	
イ イヌガヤ	イヌガヤ	高木	常緑		*	ニ ニガキ	ニガキ	高木	落葉		*
イ イヌザクラ	バラ	高木	落葉		*	ニ ニワウルシ	ニガキ	高木	落葉		*
イ イヌシ	カバノキ	高木	落葉		*	ネ ネコノチ	クロウメモドキ	高木	落葉		*
イ イヌフナ	フナ	高木	落葉		*	ネ ネムノキ	マメ	高木	落葉	○	*
イ イヌマキ	マキ	高木	常緑		*	ノ ノグロミ	クルミ	高木	落葉	○	*
イ イロハモミジ	カエデ	高木	落葉		*	ハ ハクワンボク	エゴノキ	高木	落葉		*
ウ ウバメガシ	フナ	高木	常緑		*	ハ ハクチノキ	バラ	高木	常緑		*
ウ ウラジロガシ	フナ	高木	常緑		*	ハ ハゼノキ	ウルシ	高木	落葉	○	*
ウ ウラジロノキ	バラ	高木	落葉		*	ハ ハナガシ	フナ	高木	常緑		*
ウ ウルミカエデ	カエデ	高木	落葉		*	ハ ハネミヌエンジュ	マメ	高木	落葉		*
ウ ウラミザクラ	バラ	高木	落葉		*	ハ ハマセンダン	ミカン	高木	常緑		*
エ エノノキ	ニレ	高木	落葉	○	*	ハ ハマビワ	クスノキ	高木	常緑		*
エ エトガン	バラ	高木	落葉		*	ハ ハリエンジュ	マメ	高木	落葉	○	*
エ エノキ	ニレ	高木	落葉		*	ハ ハリギリ	ウコギ	高木	落葉		*
オ オオバサガラ	エゴノキ	高木	落葉		*	ハ ハリハミ	クスノキ	高木	常緑		*
オ オオモミジ	カエデ	高木	落葉		*	ハ ハルニレ	マツ	高木	常緑		*
オ オガタマノキ	モクレン	高木	常緑		*	ハ ハルノキ	カバノキ	高木	落葉		*
オ オニグルミ	クルミ	高木	落葉		*	ヒ ヒノキ	ヒノキ	高木	常緑		*
カ カキノキ	カキノキ	高木	落葉		*	ヒ ヒメシヤラ	ツバキ	高木	落葉		*
カ カゴノキ	クスノキ	高木	常緑		*	ヒ ヒメユズリハ	トウダイグサ	高木	常緑		*
カ カシカエデ	カエデ	高木	落葉		*	フ フサザクラ	フサザクラ	高木	落葉		*
カ カシノキ	クワ	高木	落葉		*	フ フナ	フナ	高木	落葉		*
カ カシワ	フナ	高木	落葉		*	ヘ ヘラノキ	シナノキ	高木	落葉		*
カ カツラ	カツラ	高木	落葉		*	ホ ホノノキ	モクレン	高木	落葉		*
カ カナクギノキ	クスノキ	高木	落葉		*	ホ ホンバタ	クスノキ	高木	常緑		*
カ カヤ	イチイ	高木	常緑		*	ホ ホルトノキ	ホルトノキ	高木	常緑		*
カ カラザンショウ	ミカン	高木	落葉	○	*	マ マテバシイ	フナ	高木	常緑		*
キ キハダ	ミカン	高木	落葉		*	マ マルバオダモ	モクセイ	高木	落葉		*
キ キリ	ノウゼンカズラ	高木	落葉		*	ミ ミズキ	ミズキ	高木	落葉		*
ク クスノキ	クスノキ	高木	常緑		*	ミ ミズナラ	フナ	高木	落葉		*
ク クヌギ	フナ	高木	落葉		*	ミ ミズメ	カバノキ	高木	落葉		*
ク クマシ	カバノキ	高木	落葉		*	ミ ミツデカエデ	カエデ	高木	落葉		*
ク クマノミズキ	ミズキ	高木	落葉		*	ム ムクノキ	ニレ	高木	落葉		*
ク クリ	フナ	高木	落葉		*	ム ムクロジ	ムクロジ	高木	落葉		*
ク クロガネモチ	モチノキ	高木	常緑		*	モ モチノキ	モチノキ	高木	常緑		*
ク クロキ	ハイノキ	高木	常緑		*	モ モツコク	ツバキ	高木	常緑		*
ク クロバ	ハイノキ	高木	常緑		*	モ モミ	マツ	高木	常緑		*
ク クロマツ	マツ	高木	常緑		*	ヤ ヤブツバキ	ツバキ	高木	常緑		*
ケ ケヤキ	ニレ	高木	落葉		*	ヤ ヤブニッケイ	クスノキ	高木	常緑		*
ケ ケヤマハンノキ	カバノキ	高木	落葉	○	*	ヤ ヤマグルマ	ヤマグルマ	高木	常緑		*
ケ ケンボナシ	クロウメモドキ	高木	落葉			ヤ ヤマザクラ	バラ	高木	落葉		*
コ コウヤマキ	コウヤマキ	高木	常緑		*	ヤ ヤマナシ	バラ	高木	落葉		*
コ コシアブラ	ウコギ	高木	落葉		*	ヤ ヤマハンノキ	カバノキ	高木	落葉	○	*
コ コジイ（ツブラジイ）	フナ	高木	常緑		*	ヤ ヤマボウシ	ミズキ	高木	落葉		*
コ コナラ	フナ	高木	落葉		*	ヤ ヤマモガシ	ヤマモガシ	高木	常緑		*
コ コハクチワカエデ	カエデ	高木	落葉		*	ヤ ヤマモモ	ヤマモモ	高木	常緑		*
コ コバノチョウセンエノキ	ニレ	高木	落葉		*	ユ ユクノキ	マメ	高木	落葉		*
コ コバンモチ	ホルトノキ	高木	落葉		*	ユ ユズリハ	トウダイグサ	高木	常緑		*
コ コブシ	モクレン	高木	落葉		*	リ リョウブ	リョウブ	高木	落葉		
コ ゴヨウマツ	マツ	高木	常緑		*						
コ ゴンズイ	ミツバウツギ	高木	落葉		*						
サ サイカチ	マメ	高木	落葉		*						
サ サウグルミ	クルミ	高木	落葉		*						
サ サワラ	ヒノキ	高木	常緑								

注) 備考の欄の「*」は、ぼう芽の樹種を示す。

(参考資料)

天然更新完了確認調査票(野帳)※一調査対象地ごとに作成

NO

市町村名

①調査年月日	平成 年 月 日									
②調査者	所属名									
	氏名									
③調査地	林班	小班			面積(ha)	更新対象 面積(ha)	伐採年	伐採後 経過年数	プロット 番号	
		記号	番号	枝番						
④調査結果	プロット1			プロット2			プロット3			
	樹種名	本数	樹高(cm)	樹種名	本数	樹高(cm)	樹種名	本数	樹高(cm)	
	⑤判定 (複数項目を選択し判定して下さい)	A・B・C・D	A 天然更新が完了							
			B 天然更新が一部完了(面積 ha)							
C 天然更新補助作業(面積 ha、作業内容:)の実施が必要										
D 人工造林(面積 ha)の実施が必要										
⑥添付 するもの	森林計画図(調査地を図示したもの)									
	全景写真(1部)									
	近景写真(1部、樹高が推定できるもの)									

附属資料

4 参考資料

(1) 人口及び産業構成

ア 年齢層別人口動態

区分	年次	総 計			0 ～ 14歳		
		計	男	女	計	男	女
人口	平成22年	131,182	61,457	69,725	18,294	9,501	8,793
	平成27年	125,159	73,399	68,846	13,403	2,650	10,753
	令和2年	118,394	56,100	62,294	14,531	7,483	7,048
比率	平成22年	100.0	49.1	55.7	14.6	7.6	7.0
	平成27年	100.0	58.6	55.0	10.7	2.1	8.6
	令和2年	100.0	47.4	52.6	12.3	6.3	6.0

区分	年次	15 ～ 29歳			30 ～ 44歳		
		計	男	女	計	男	女
人口	平成22年	17,443	8,742	8,701	22,273	10,913	11,360
	平成27年	15,618	8,076	7,542	21,118	10,449	10,669
	令和2年	14,225	7,665	6,560	18,222	9,132	9,090
比率	平成22年	13.9	7.0	7.0	17.8	8.7	9.1
	平成27年	12.5	6.5	6.0	16.9	8.3	8.5
	令和2年	12.0	6.5	5.5	15.4	7.7	7.7

区分	年次	45 ～ 64歳			65歳 以上		
		計	男	女	計	男	女
人口	平成22年	37,288	17,895	19,393	35,884	14,406	21,478
	平成27年	32,640	15,639	17,001	38,904	16,023	22,881
	令和2年	30,334	14,750	15,584	41,082	17,070	24,012
比率	平成22年	28.4	13.6	14.8	27.4	11.0	16.4
	平成27年	26.1	12.5	13.6	31.1	12.8	18.3
	令和2年	25.6	12.5	13.2	34.7	14.4	20.3

※総数には年齢不詳を含む。

(国勢調査)

イ 産業部門別就業者数等

区分	年次	総 数	第1次産業			
			小計	農業	林業	漁業
就業者数	平成22年	56,959	3,113	1,845	383	885
	平成27年	55,997	3,017	1,879	352	786
	令和2年	56,864	2,900	1,632	441	827
比率	平成22年	100.0	5.5	3.2	0.7	1.6
	平成27年	100.0	5.4	3.4	0.6	1.4
	令和2年	100.0	5.1	2.9	0.8	1.5

区分	年次	第2次産業	第3次産業	分類不能産業
就業者数	平成22年	16,091	36,203	1,552
	平成27年	15,279	36,739	962
	令和2年	16,131	37,833	(データなし)
比率	平成22年	28.3	63.6	2.7
	平成27年	27.3	65.6	1.7
	令和2年	28.4	66.5	(データなし)

(国勢調査)

(2) 土地利用状況の推移

単位：面積：h a、構成比：%

年次	区分	総土地 面積	森林			耕地	その他
			総数	国有林	民有林		
平成25年	面積	86,800	73,387	9,382	64,005	2,880	10,533
	構成比	100.0	84.5	10.8	20835.3	3.3	12.1
平成30年	面積	86,802	73,409	9,370	64,039	2,790	10,603
	構成比	100.0	84.6	10.8	73.8	3.2	12
令和5年	面積	86,802	73,399	9,376	64,023	2,650	10,753
	構成比	100.0	84.6	10.8	73.8	3.1	12

注1：土地面積は各年の前年の10月1日現在

注2：森林面積は森林法第2条で定義された森林で各年の3月31日現在（出典：五ヶ瀬川地域森林計画）

注3：耕地面積は各年の前年の数値（出典：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」）

(3) 所有形態別森林面積の推移

単位：面積：h a、構成比：%

年次	区分	森林 面積	国有林	県	市町村	森林整備 センター	県林業 公社	その他
平成25年	面積	73,387	9,382	1,715	6,242	6,283	2,743	47,022
	構成比	100.0	12.8	2.3	8.5	8.6	3.7	64.1
平成30年	面積	73,697	9,693	3,857	6,220	2,757	3,210	47,960
	構成比	100.0	13.2	5.2	8.4	3.7	4.4	65.1
令和5年	面積	63,993	9,376	3,726	5,449	3,307	2,758	39,377
	構成比	100.0	14.7	5.8	8.5	5.2	4.3	61.5

注1：出典：宮崎県林業統計要覧

(4) 森林資源の推移

単位：面積：h a、蓄積：m³

年 次	区 分	総計	人 工 林							
			計	針葉樹				広葉樹		
				小 計	ス ギ	ヒノキ	その他	小 計	クヌギ	その他
平成25年	面 積	62,018	33,085	30,673	17,979	8,353	4,341	2,412	2,147	265
	蓄 積	16,301,213	11,043,345	10,689,265	6,858,105	2,312,967	1,518,193	354,080	331,121	22,959
平成30年	面 積	61,301	32,672	30,314	17,863	8,152	4,299	2,358	2,098	260
	蓄 積	20,554,844	15,103,845	14,717,309	10,682,916	2,522,858	1,511,535	386,536	359,378	27,158
令和5年	面 積	61,085	32,891	30,568	18,370	8,002	4,196	2,323	2,065	258
	蓄 積			15,149,115						

天 然 林		
計	針葉樹	広葉樹
28,933	535	28,398
5,257,868	177,848	5,080,020
28,629	533	28,096
5,450,999	179,475	5,271,524

(5) 森林資源の現況

ア 保有者形態別森林面積（五ヶ瀬川流域区）

(単位：ha, %)

保有形態		総面積		立木地		
		面積 (A)	比率	計	人工林(B)	天然林
総 数		64,005	10,533	108,036	57,921	50,115
国 有 林		20,835	32.6	19,538	7,129	12,410
公有林	計	7,936	12	7,816	5,612	2,204
	県 有 林	910	1	907	601	307
	市 有 林	7,026	11	6,909	5,012	1,897
森林整備センター		4,673	7	4,644	3,751	893
県林業公社		3,519	5.5	3,475	3,089	386
会 社		6,585	10.3	6,356	4,539	1,816
個 人 等		79,909	124.8	76,501	35,326	41,175

令和5年3月31日現在（五ヶ瀬川地域森林計画）

イ 民有林の齢級別面積（森林計画対象面積のみ）

(単位：ha)

区分		齢級別	総計	1・2齢級	3・4齢級	5・6齢級	7・8齢級	9・10齢級	11齢級以上
民有林	針葉樹	針葉樹	61,918	2,549	1,933	1,657	5,054	10,703	40,022
		針葉樹	31,093	1,894	1,410	1,267	1,677	6,362	18,482
		広葉樹	30,825	656	523	390	3,376	4,340	21,539
人工林	計	計	32,887	1,919	1,510	1,323	2,175	7,147	18,812
		小計	30,563	1,894	1,410	1,266	1,671	6,351	17,971
		スギ	18,359	1,877	1,222	650	824	3,637	10,149
		ヒノキ	8,001	15	188	611	813	2,703	3,670
	広葉樹	その他	4,204	1	1	6	33	11	4,151
		小計	2,324	26	100	57	504	796	841
		クヌギ	2,060	11	23	23	466	759	778
		その他	264	15	77	34	37	37	64
	天然林	計	29,031	630	423	334	2,879	3,555	21,209
		針葉樹	530	0	0	1	6	11	511
		広葉樹	28,501	630	423	333	2,872	3,544	20,698

(出典：五ヶ瀬川地域森林計画)

ウ 保有山林面積規模別経営体数

規模面積	0～5ha	5～10ha	10～20ha	20～30ha	30～50ha	50～100ha	100ha以上	計
林 家 数	31	43	41	32	39	17	24	227

(出典：2015年世界農林業センサス)

エ 作業路網の状況

(ア) 基幹路網の現況

区 分	路 線 数	延 長 (km)	備 考
基幹路網	248	912.0	
うち林業専用道	3	7	

令和5年3月31日現在

イ) 細部路網の現況

区 分	1552	延 長 (km)	備 考
森林作業路	962	1,205.6	

平成29年3月31日現在